

光市介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査報告書

平成 29 年 3 月
山口県光市

目 次

1. 調査方法	1
2. 調査結果	2
問1 あなたのご家族や生活状況について	2
問2 からだを動かすことについて	10
問3 食べることについて	21
問4 毎日の生活について	31
問5 地域での活動について	41
問6 たすけあいについて	48
問7 健康について	57
問8 その他	70
3. 生活支援に関する指標評価	97
■運動器の機能低下	97
■転倒リスク	99
■閉じこもり傾向	101
■咀嚼機能の低下	103
■認知機能の低下	105
■うつ傾向	107

1. 調査方法

調査対象者	光市内にお住まいで 65 歳以上の住民から無作為抽出		
調査数	2,000 名		
調査方法	郵送による配布、郵送による回収		
調査票回収数	1,577 件	回収率	78.9%
調査票有効回収数	1,574 件	有効回収率	78.7%

調査集計にあたっての留意事項

- 回答結果は小数点第 2 桁目を四捨五入しています。この関係で、単回答（複数の選択肢からひとつだけを選ぶ形式）の合計値がちょうど「100.0」にならない場合があります。
- 複数回答（2 つ以上の回答を選ぶ形式）における割合についての単位はパーセントとしています。この場合、回答は有効標本数全体に対して各々の割合を示すものであり、各選択肢の回答を合計しても「100.0」とはなりません。
- 本報告書における「N」「SA」「MA」「数量」は、それぞれ
「N」 = サンプル数のこと
「SA」 = 単回答のこと（Single Answer の略）
「MA」 = 複数回答のこと（Multiple Answer の略）
「数量」 = 数量回答のこと
を示します。
- 本報告書においてクロス集計は、無回答がある為、合計人数は全体の人数と合致しません。
- 本報告書においてクロス集計は、グラフ表示が煩雑になるため、比率の極めて低いもの（4.0%未満）は数値の表示を省略しております。

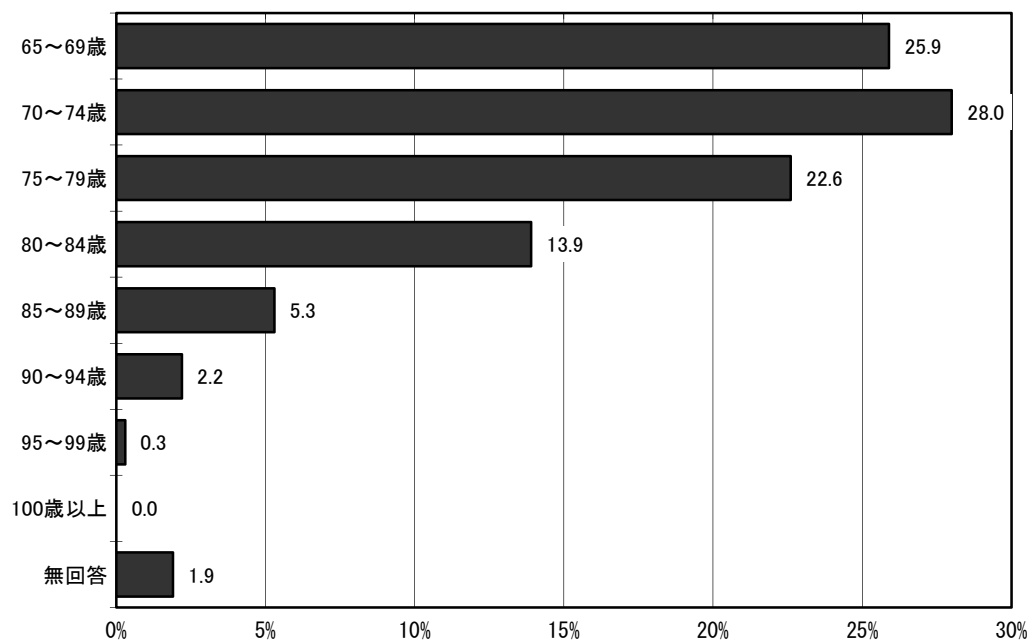
2. 調査結果

問1 あなたのご家族や生活状況について

Q1-1 年齢をお教えてください。(SA)

「70～74歳」が28.0%で最も高くなっています。次いで「65～69歳」が25.9%、「75～79歳」が22.6%で続いています。

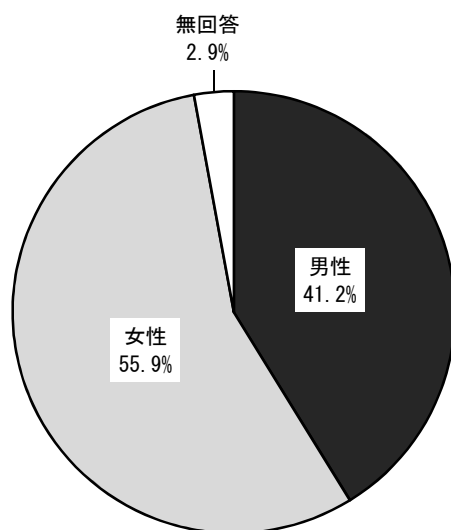
(SA) N=1,574



Q 1 - 2 性別をお教えてください。(SA)

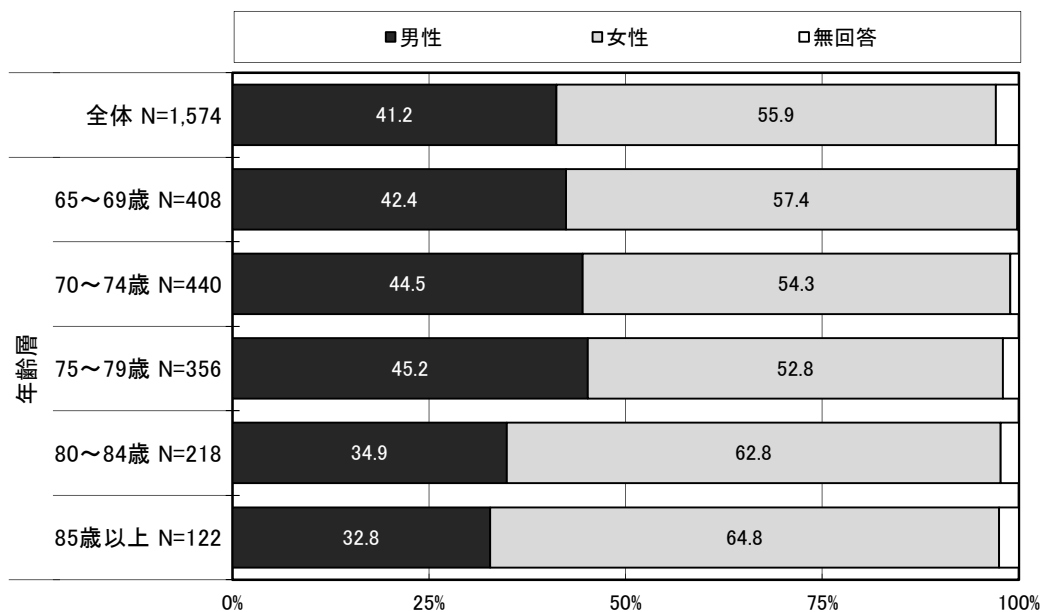
「男性」が41.2%、「女性」が55.9%となっています。

(SA) N=1,574



<問1 Q 1 - 2 と年齢層別のクロス>

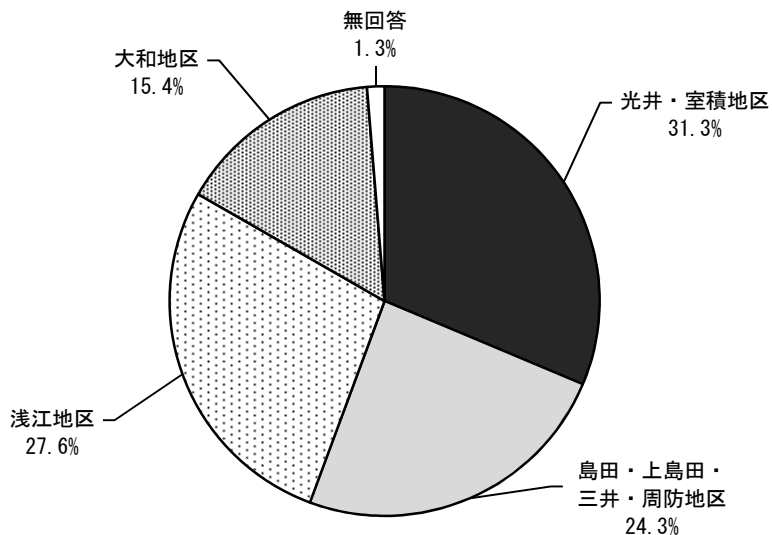
全ての年齢層において「女性」の割合が「男性」の割合より高くなっています。



Q 2 お住まいの地域をお教えてください。(SA)

「光井・室積地区」が 31.3%で最も高く、次いで「浅江地区」が 27.6%、「島田・上島田・三井・周防地区」が 24.3%、「大和地区」が 15.4%となっています。

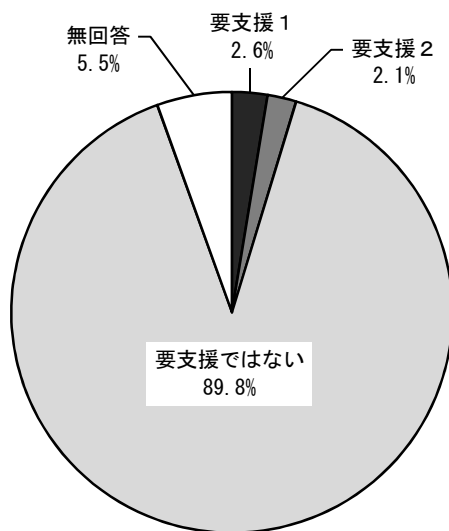
(SA) N=1,574



Q 3 あなたの介護状態をお教えてください。(SA)

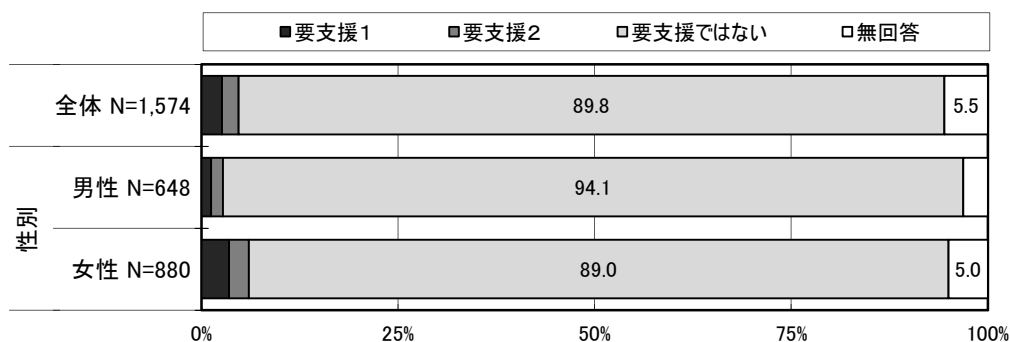
「要支援ではない」が 89.8%を占めています。

(SA) N=1,574



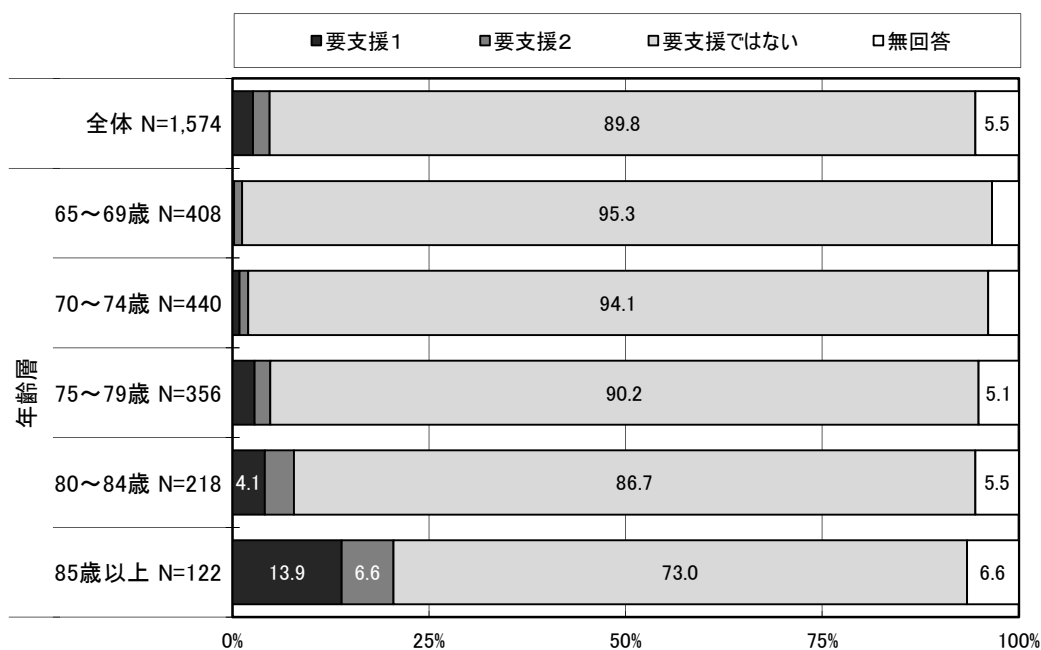
<問1 Q3 と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「要支援ではない」の割合が若干高くなっています。



<問1 Q3 と年齢層別のクロス>

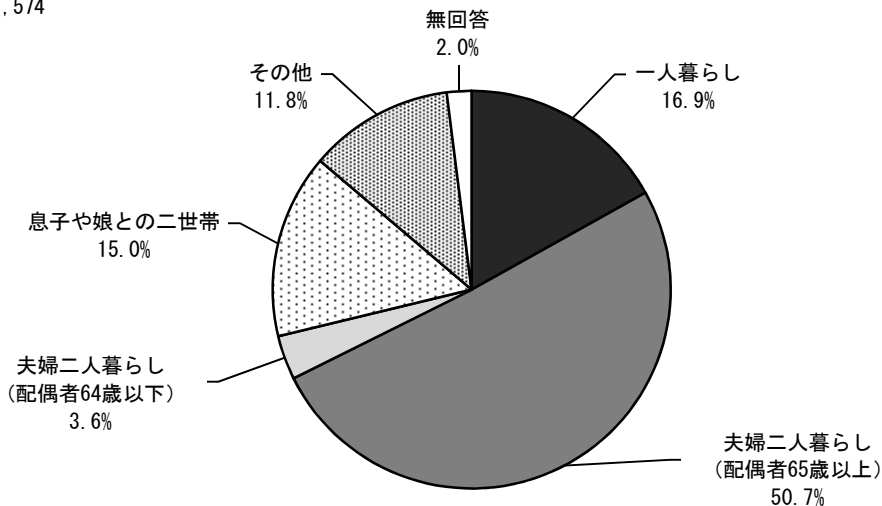
『65～74 歳』では他の年齢層に比べて「要支援ではない」の割合が高くなっています。『85 歳以上』では「要支援1」、「要支援2」の割合が高くなっています。年齢層が高くなるほど「要支援」（「要支援1」＋「要支援2」）の割合が高くなっています。



Q 4 家族構成をお教えてください。(SA)

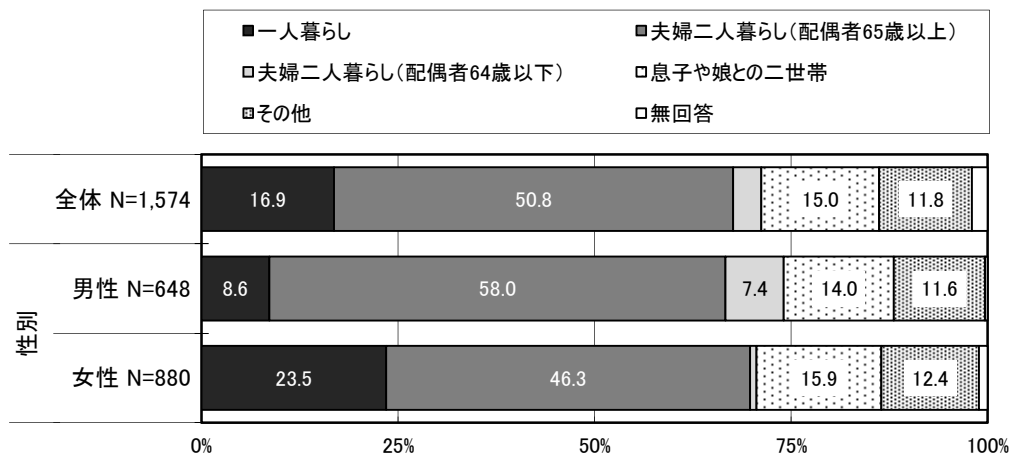
「夫婦二人暮らし（配偶者 65 歳以上）」が 50.7%で突出しています。「一人暮らし」が 16.9%、「息子や娘との二世帯」が 15.0%で続いています。

(SA) N=1,574



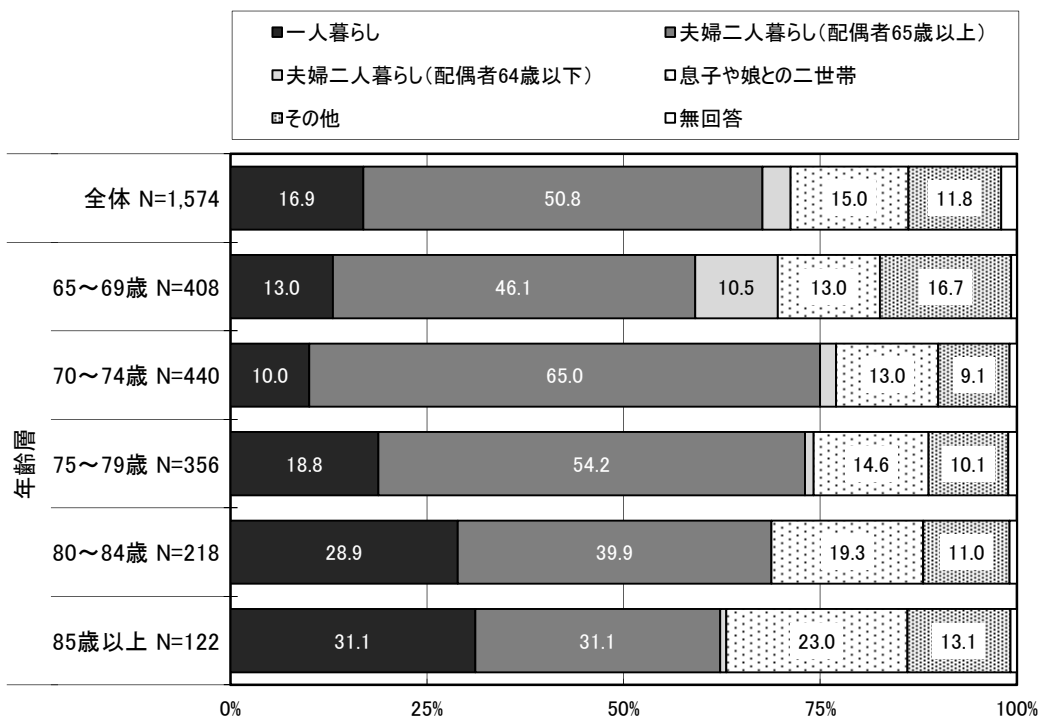
<問1 Q 4 と性別のクロス>

『男性』では『女性』に比べて「夫婦二人暮らし（配偶者 65 歳以上）」と「夫婦二人暮らし（配偶者 64 歳以下）」の割合が高くなっています。『女性』では『男性』に比べて「一人暮らし」の割合が高くなっています。



<問1 Q4 と年齢層別のクロス>

年齢層が高くなるほど「一人暮らし」の割合が高くなる傾向にあります。



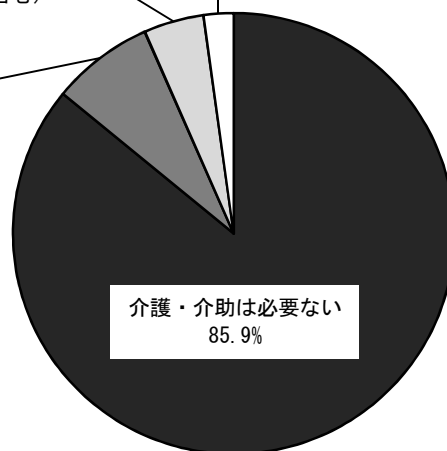
Q5 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(SA)

「介護・介助は必要ない」が85.9%を占めています。

(SA) N=1,574 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの
介護を受けている場合も含む)
4.4%

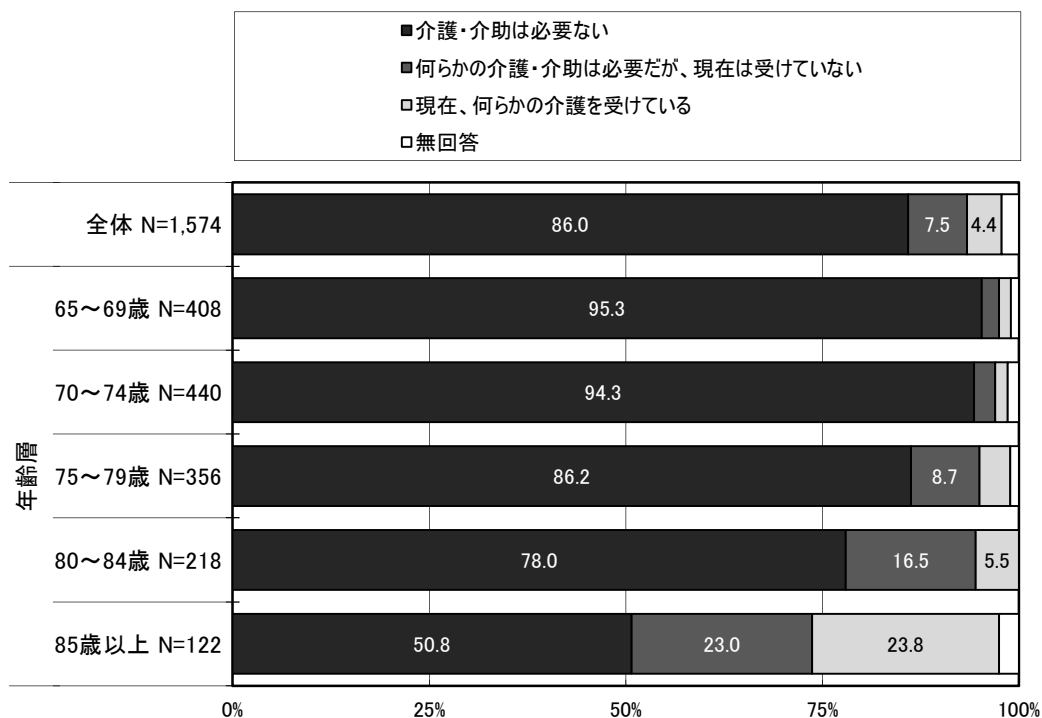
何らかの介護・介助は必要だが、
現在は受けていない
7.5%

無回答
2.2%



<問1 Q5と年齢層別のクロス>

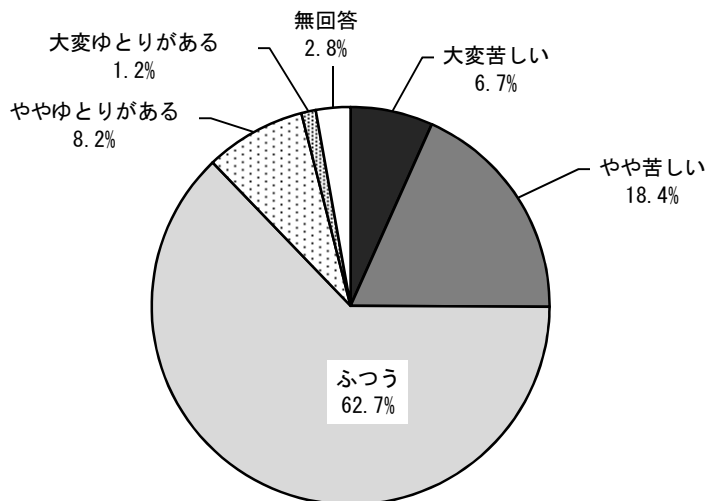
『80歳以上』では他の年齢層に比べて「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が高くなっており、『85歳以上』では「現在、何らかの介護を受けている」の割合が高くなっています。年齢層が高くなるほど「介護・介助が必要な人」（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」+「現在、何らかの介護を受けている」）の割合が高くなっています。



Q 6 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(SA)

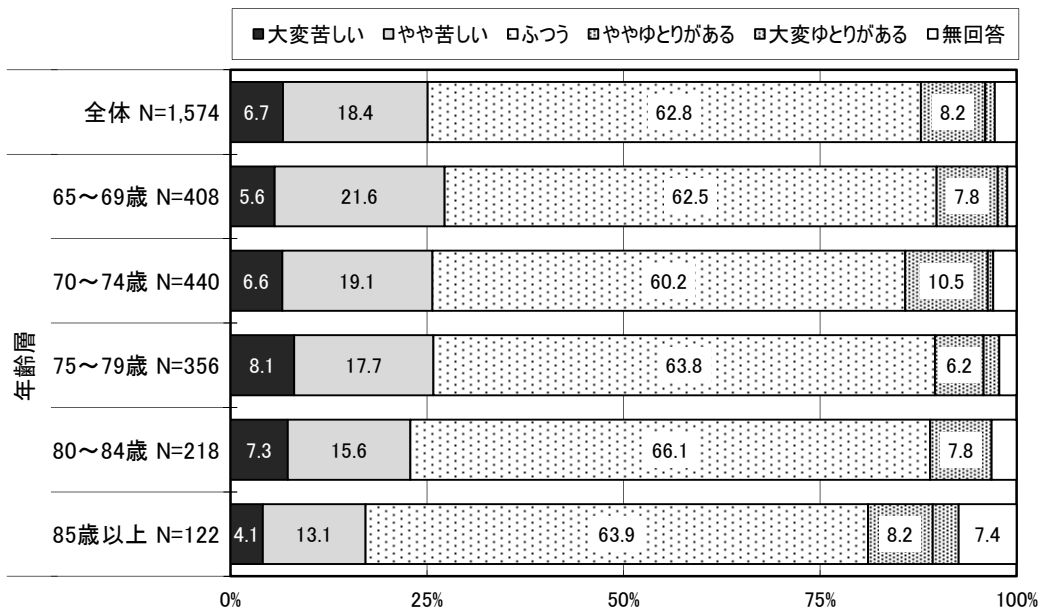
「ふつう」が 62.7%で突出しています。「やや苦しい」が 18.4%、「ややゆとりがある」が 8.2%で続いています。

(SA) N=1,574



<問1 Q 6 と年齢層別のクロス>

年齢層が高くなるほど「苦しいと思う人」(「大変苦しい」+「やや苦しい」)の割合が低くなる傾向にあります。

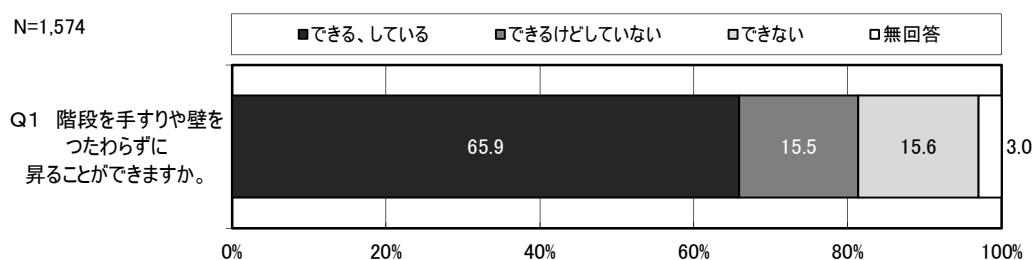


問2 からだを動かすことについて

Q1 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができますか。(SA)

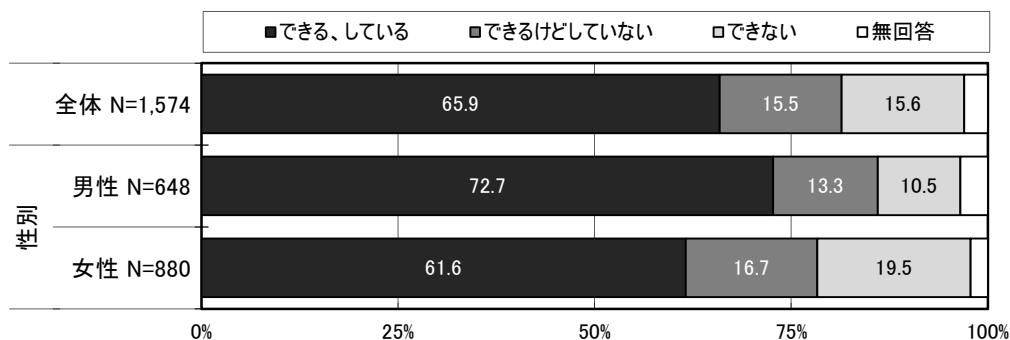
「できる、している」が65.9%を占めています。

(SA) N=1,574



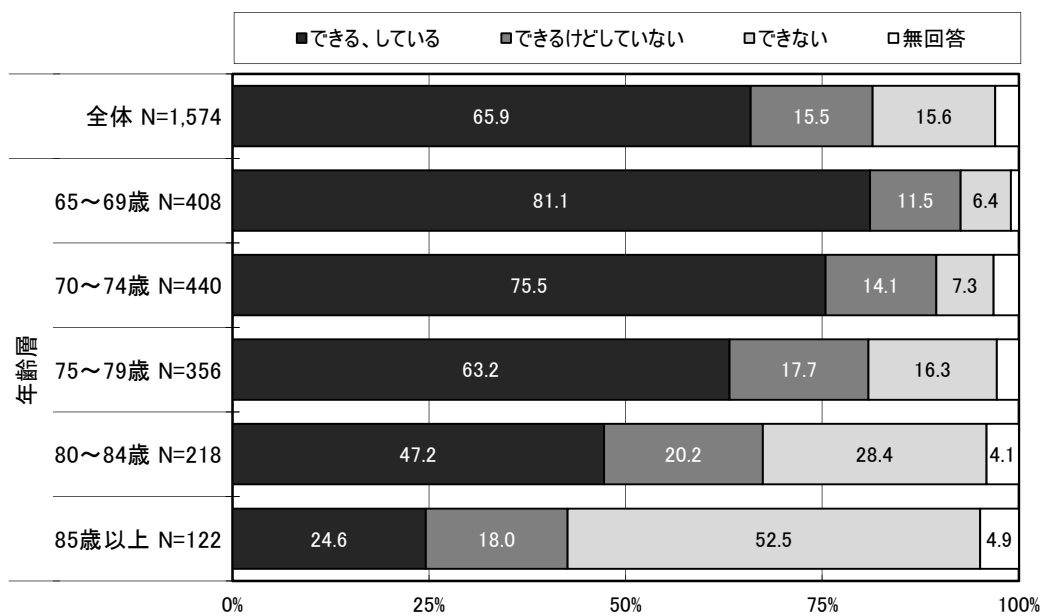
<問2 Q1 と性別のクロス>

『男性』では『女性』に比べて「できる、している」の割合が高くなっています。



<問2 Q1と年齢層別のクロス>

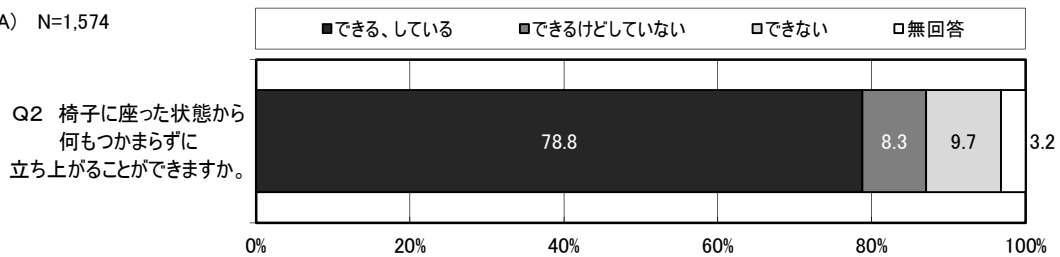
年齢層が高くなるほど「できる、している」の割合が低くなっています。『85歳以上』では「できない」が半数以上となっています。



Q 2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができますか。
(SA)

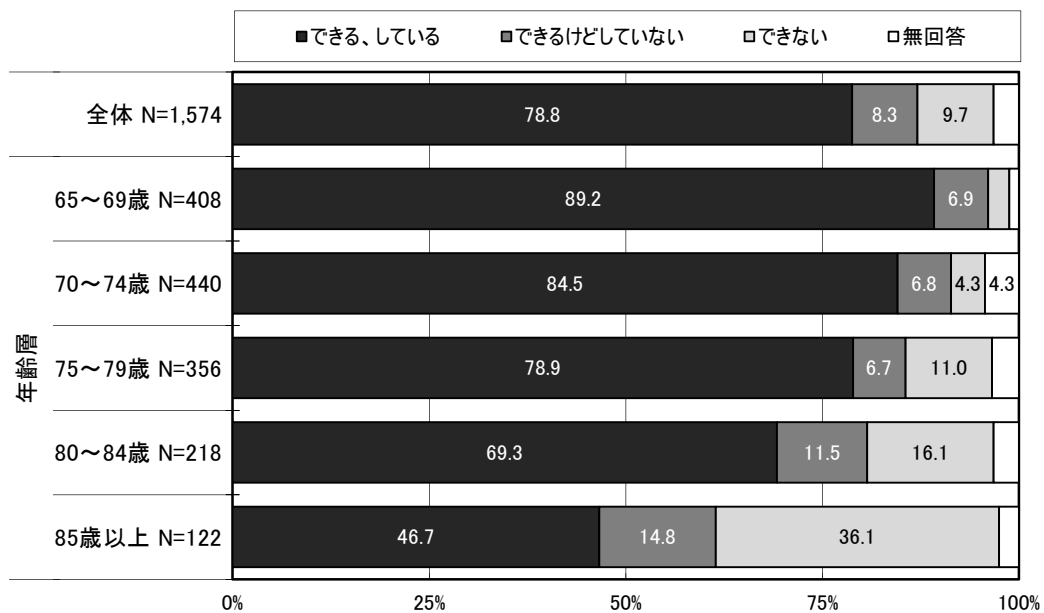
「できる、している」が78.8%を占めています。

(SA) N=1,574



<問2 Q 2 と年齢層別のクロス>

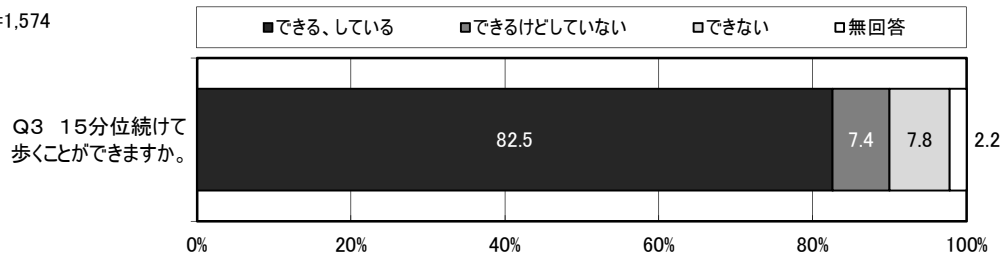
年齢層が高くなるほど「できる、している」の割合が低くなっています。『85歳以上』では「できない」が3分の1以上となっています。



Q3 15分位続けて歩くことができますか。(SA)

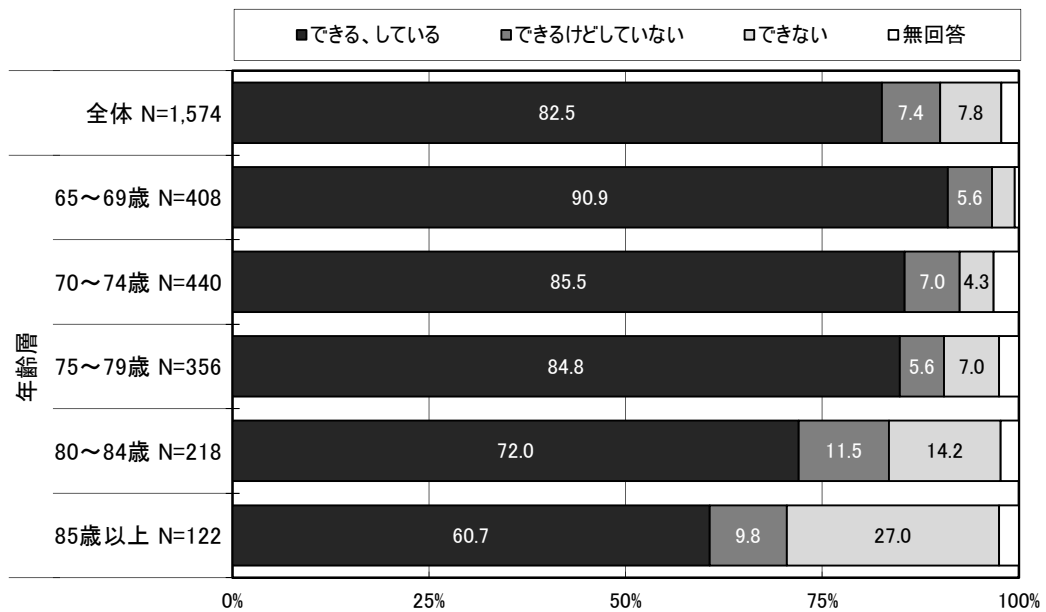
「できる、している」が82.5%を占めています。

(SA) N=1,574



<問2 Q3 と年齢層別のクロス>

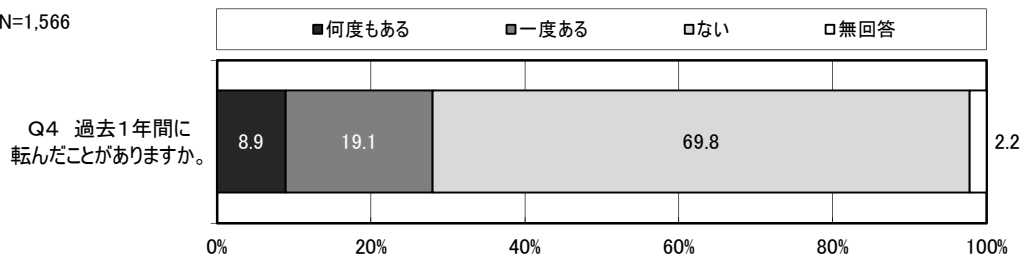
年齢層が高くなるほど「できる、している」の割合が低くなっています。『85歳以上』では「できない」が4分の1以上となっています。



Q 4 過去1年間に転んだことがありますか。(SA)

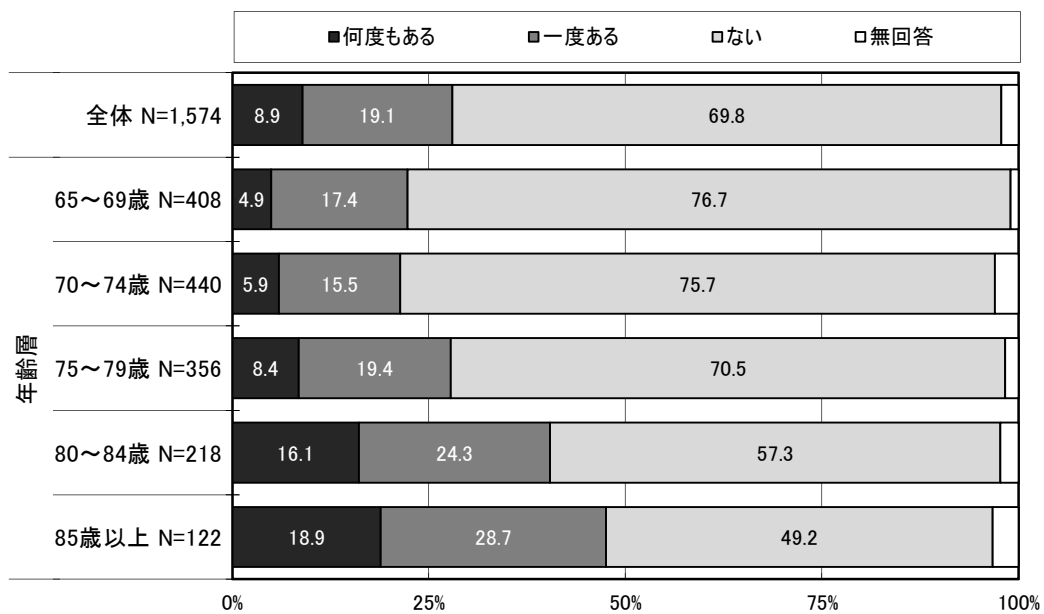
「ない」が69.8%を占めています。

(SA) N=1,566



<問2 Q 4 と年齢層別のクロス>

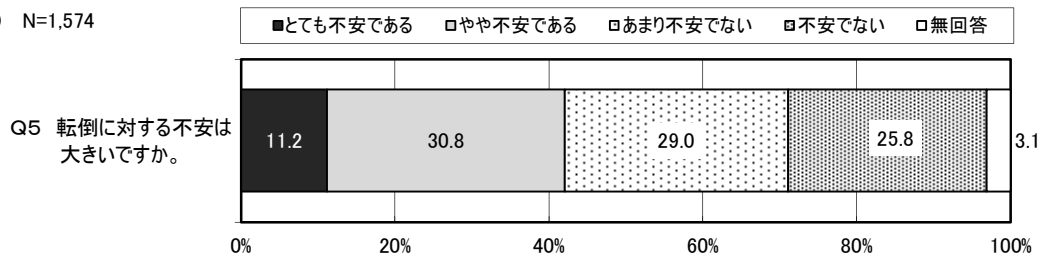
年齢層が高くなるほど「ない」の割合が低くなっています。『85歳以上』では「ある」（「何度もある」＋「一度ある」）と「ない」が拮抗しています。



Q 5 転倒に対する不安は大きいですか。(SA)

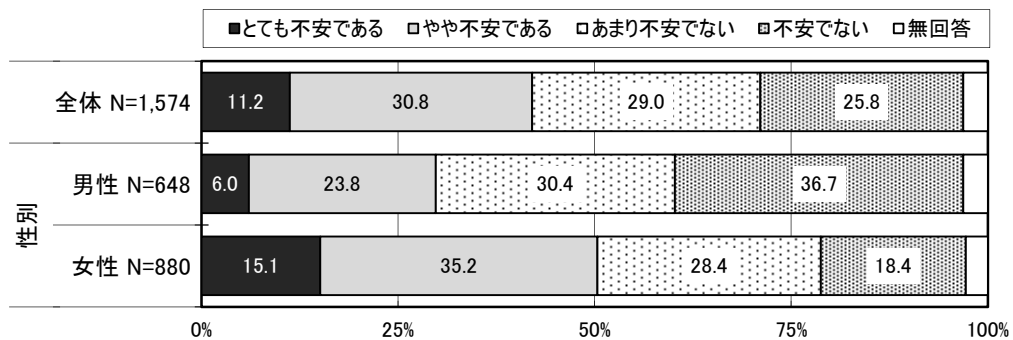
「やや不安である」が 30.8%で最も高く、次いで「あまり不安でない」が 29.0%、「不安でない」が 25.8%で続いています。

(SA) N=1,574



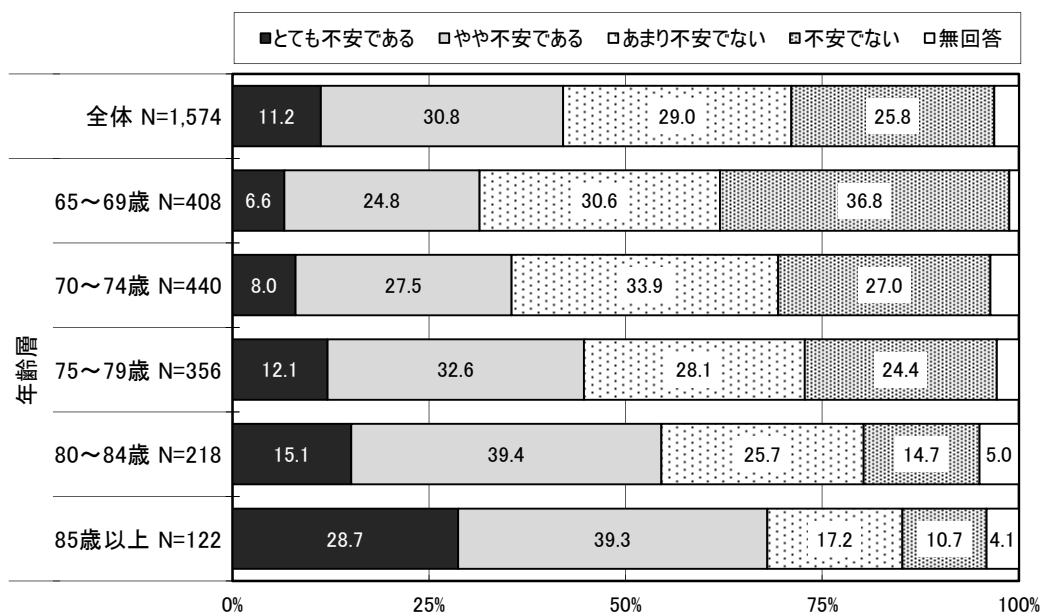
<問2 Q 5 と性別のクロス>

『女性』では『男性』に比べて「不安であると感じる人」（「とても不安である」 + 「やや不安である」）の割合が高く、半数以上となっています。



<問2 Q5と年齢層別のクロス>

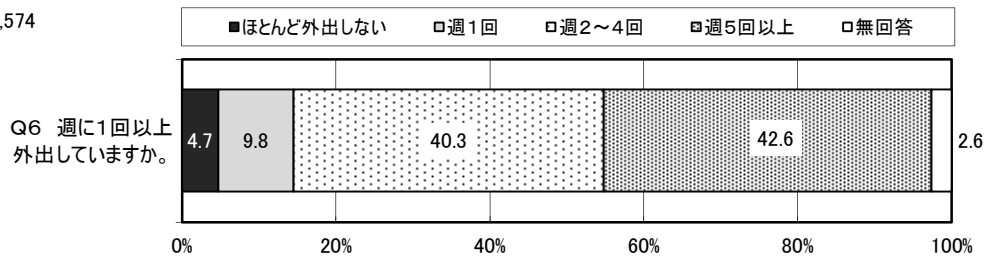
年齢層が高くなるほど「不安であると感じる人」（「とても不安である」と「やや不安である」）の割合が高くなっています。



Q 6 週に1回以上外出していますか。(SA)

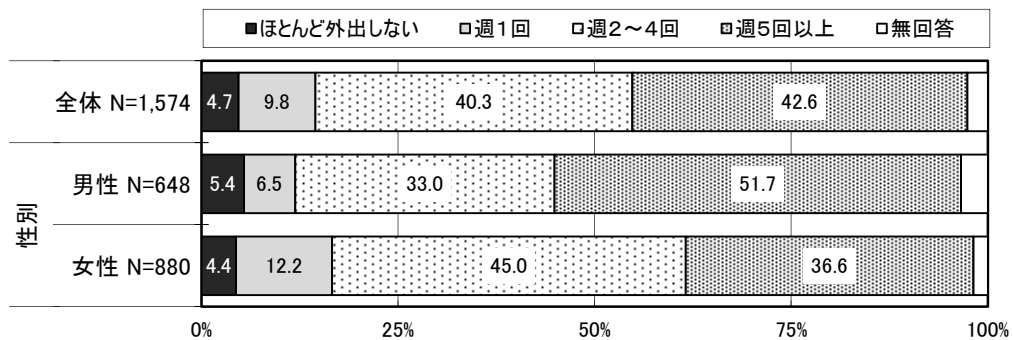
「週5回以上」が42.6%で最も高く、次いで「週2～4回」が40.3%、「週1回」が9.8%で続いています。

(SA) N=1,574



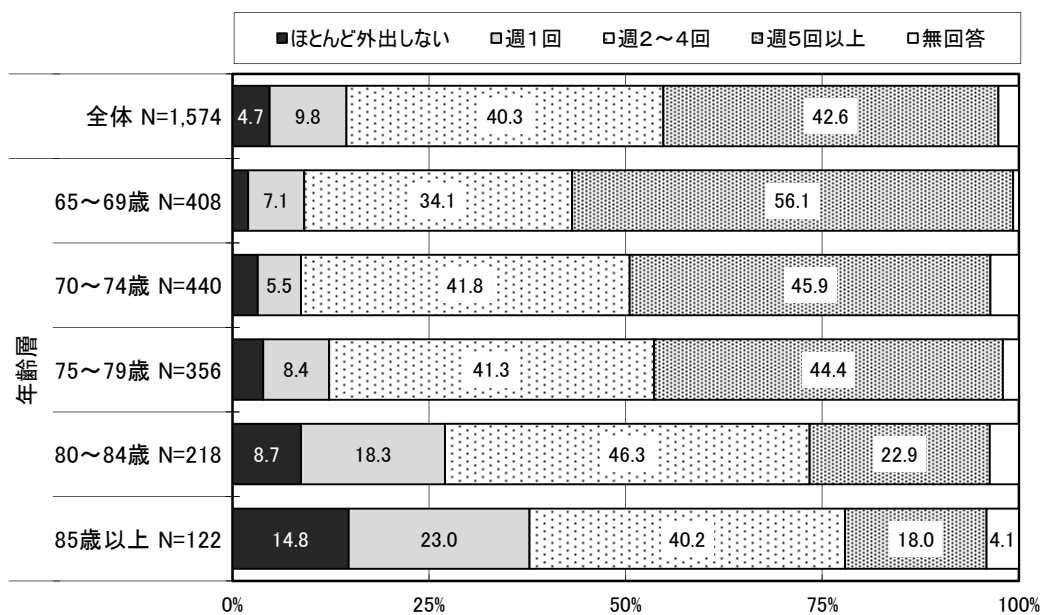
<問2 Q 6 と性別のクロス>

『男性』では『女性』に比べて「週5回以上」の割合が高くなっています。『女性』では『男性』に比べて「週2～4回」の割合が高くなっています。



<問2 Q6 と年齢層別のクロス>

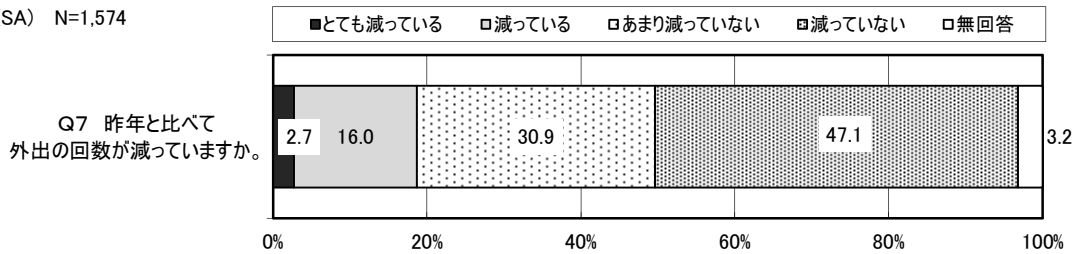
年齢層が高くなるほど「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。



Q7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(SA)

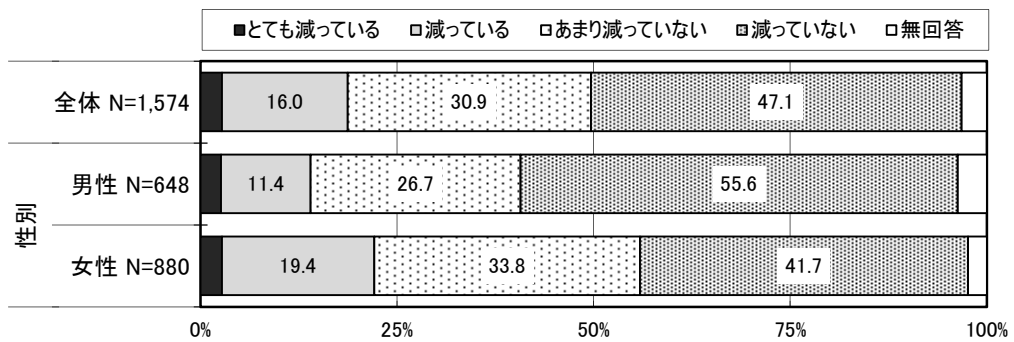
「減っていない」が47.1%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が30.9%、「減っている」が16.0%で続いています。

(SA) N=1,574



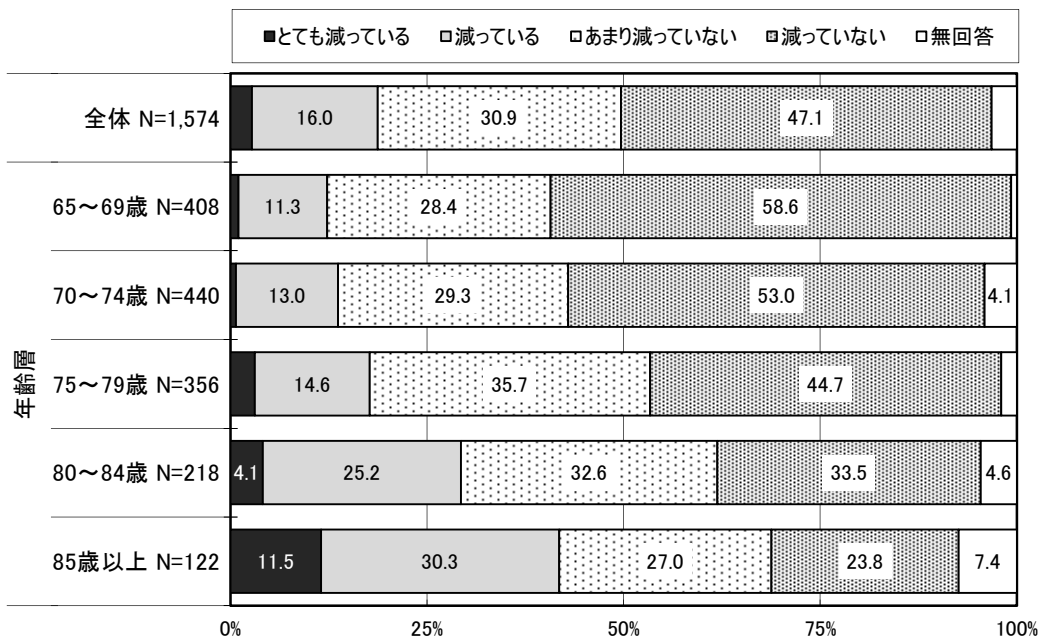
<問2 Q7と性別のクロス>

『女性』では『男性』とくらべて「減っていると感じる人」（「とても減っている」+「減っている」）の割合が高くなっています。



<問2 Q7と年齢層別のクロス>

年齢層が高くなるほど「減っていると感じる人」（「とても減っている」＋「減っている」）の割合が高くなっています。

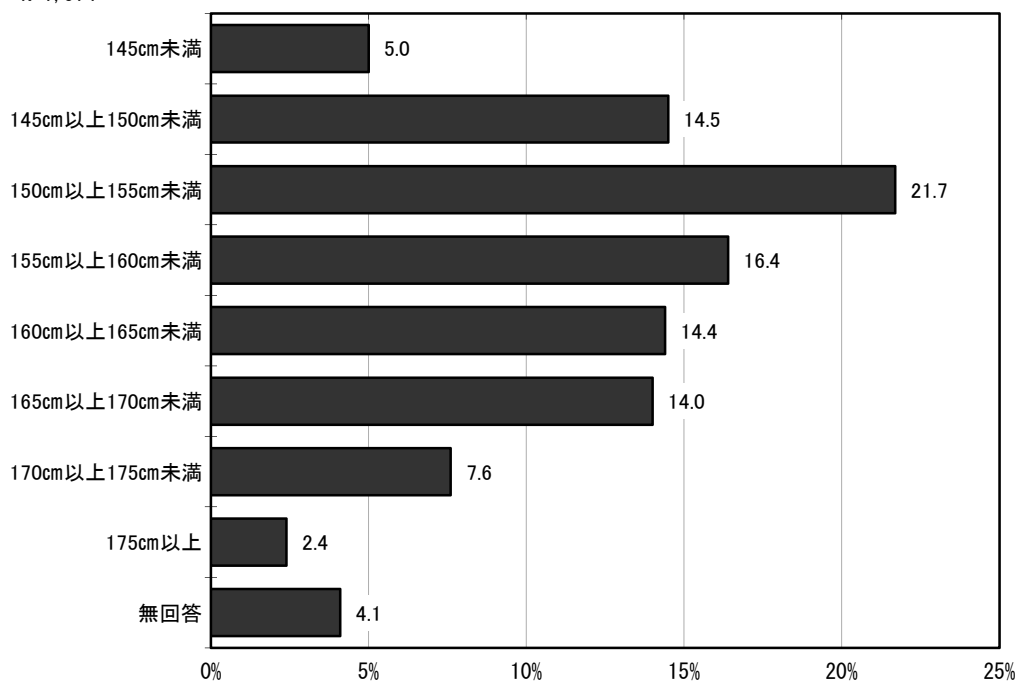


問3 食べることについて

Q1 身長は何cmですか (数量)

「150 cm以上 155 cm未満」が 21.7%で最も高くなっています。次いで「155 cm以上 160 cm未満」が 16.4%、「145 cm以上 150 cm未満」が 14.5%、「160 cm以上 165 cm未満」が 14.4%で続いています。

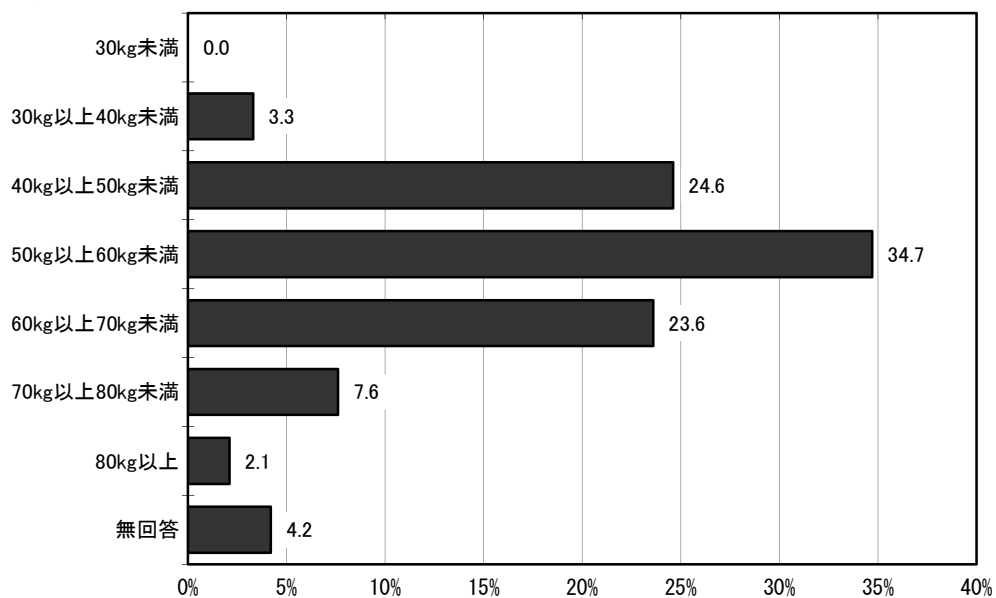
(数量) N=1,574



Q 1 体重は何kgですか (数量)

「50kg 以上 60kg 未満」が 34.7%で最も高くなっています。次いで「40kg 以上 50kg 未満」が 24.6%、「60kg 以上 70kg 未満」が 23.6%で続いています。

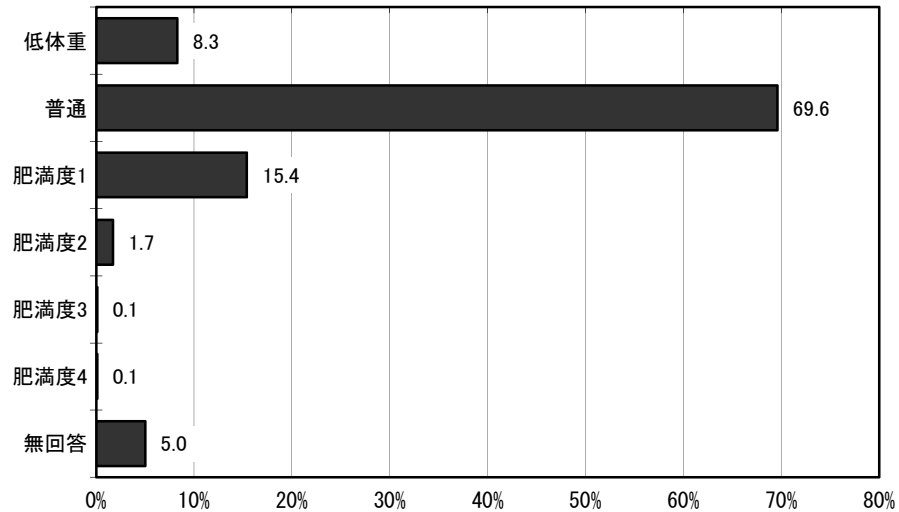
(数量) N=1,574



BMI（数量）

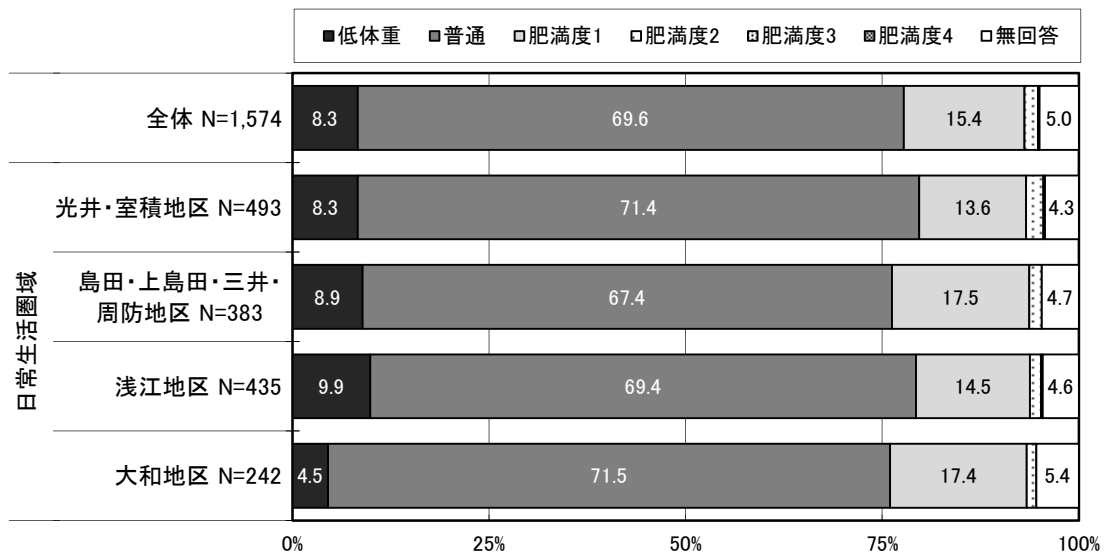
「普通」が69.6%で突出しています。「肥満度1」が15.4%、「低体重」が8.3%が続いています。「肥満度3」及び「肥満度4」は共に該当者が1件ずつありました。

（数量） N=1,574



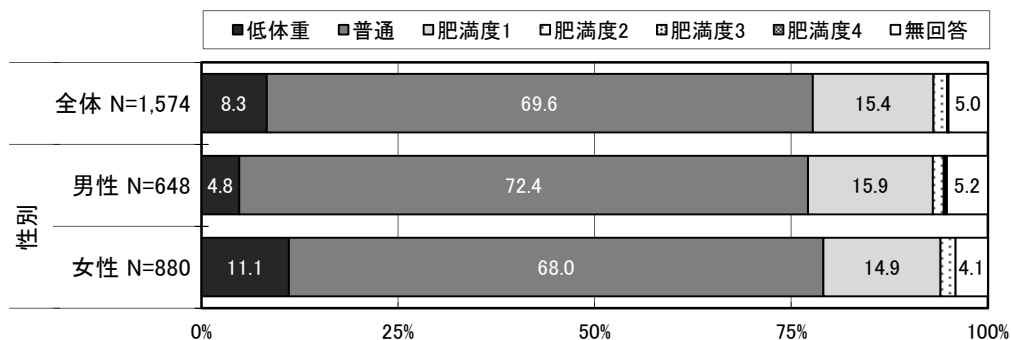
< BMI と日常生活圏域別のクロス >

『大和地区』では他の圏域と比べて「低体重」の割合が若干低くなっています。『島田・上島田・三井・周防地区』と『大和地区』では他の圏域と比べて「肥満度1」の割合が若干高くなっています。



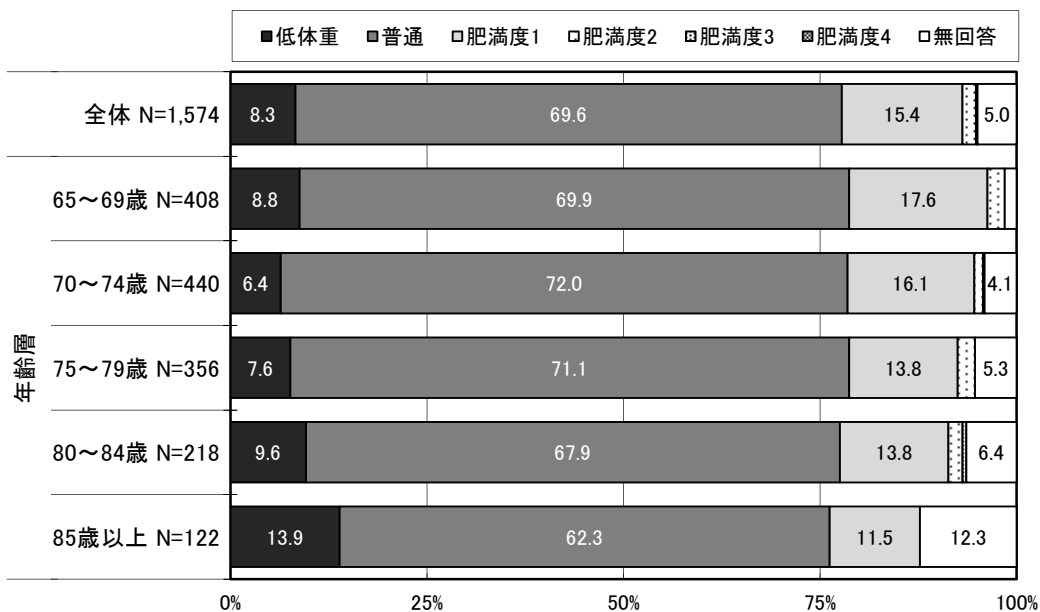
< BMI と性別のクロス >

『女性』では『男性』と比べて「低体重」の割合が高くなっています。



< BMI と年齢層別のクロス >

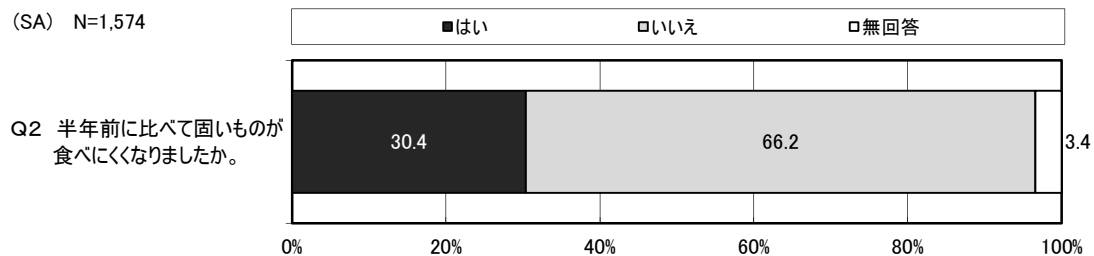
年齢層が高くなるほど「低体重」の割合が高くなる傾向にあります。特に『85歳以上』では他の年齢層と比べて「低体重」の割合が高くなっています。



Q 2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(SA)

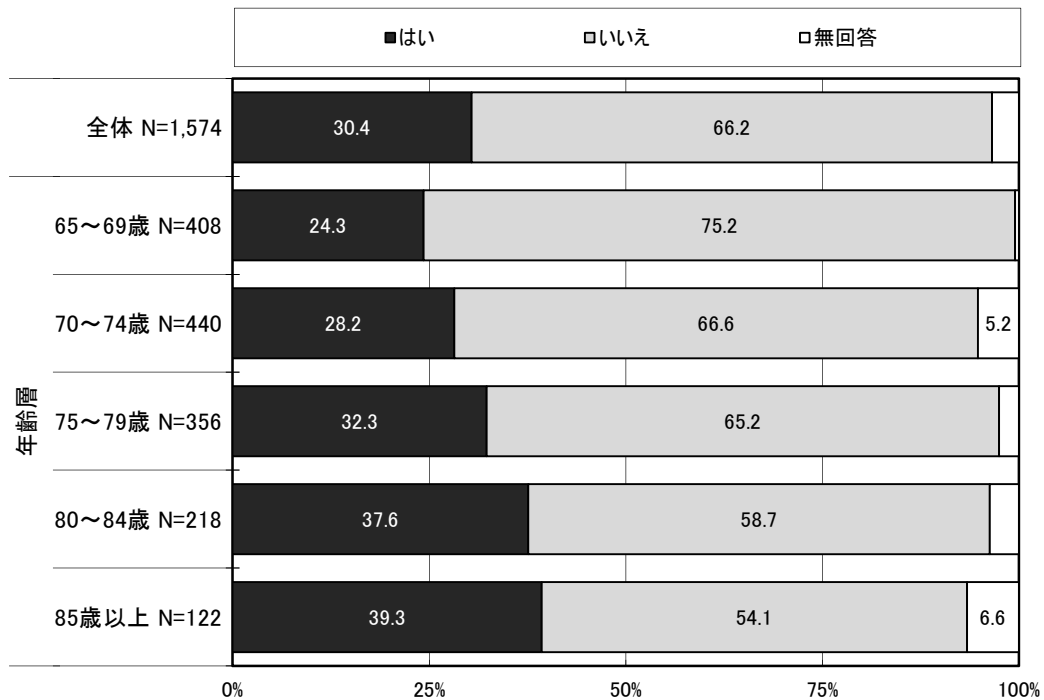
「いいえ」が66.2%を占めています。

(SA) N=1,574



<問3 Q 2 と年齢層別のクロス>

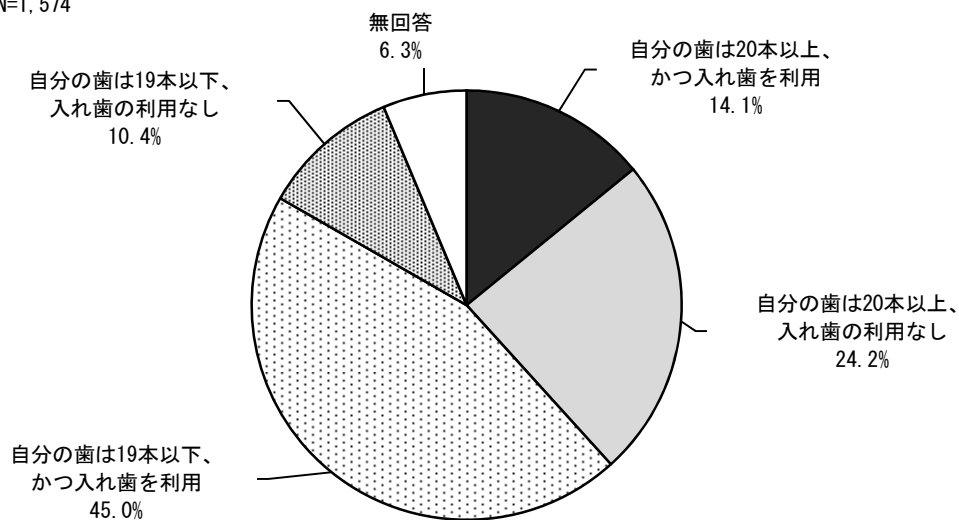
年齢層が高くなるほど「はい」の割合が高くなっています。



Q 3 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(SA)

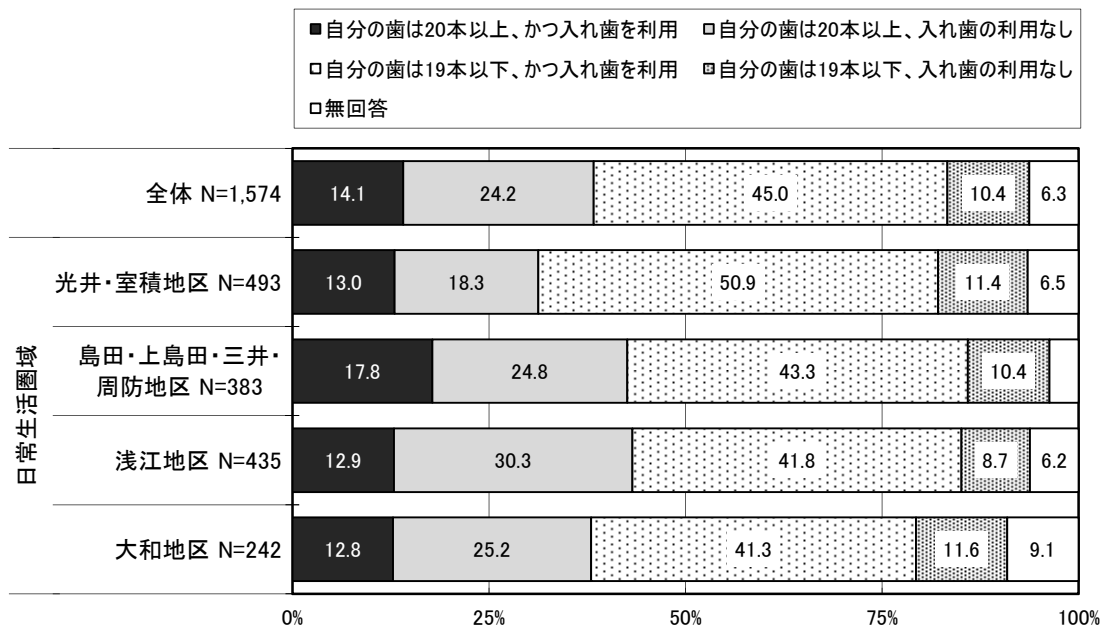
「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が45.0%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が24.2%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が14.1%で続いています。入れ歯使用率(入れ歯を利用している人/(入れ歯を利用している人+入れ歯を利用していない人))は、63.1%でした。

(SA) N=1,574



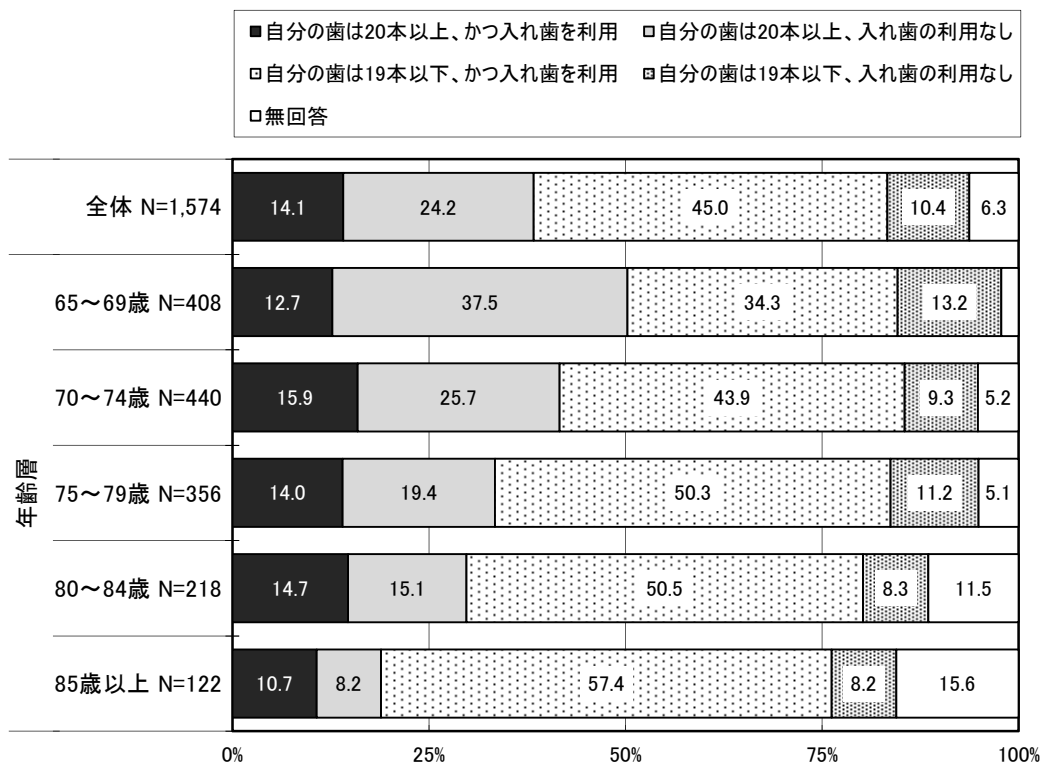
＜問3 Q3 と日常生活圏域別のクロス＞

『島田・上島田・三井・周防地区』では他の圏域に比べて「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が若干高くなっています。『光井・室積地区』では他の圏域に比べて「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。



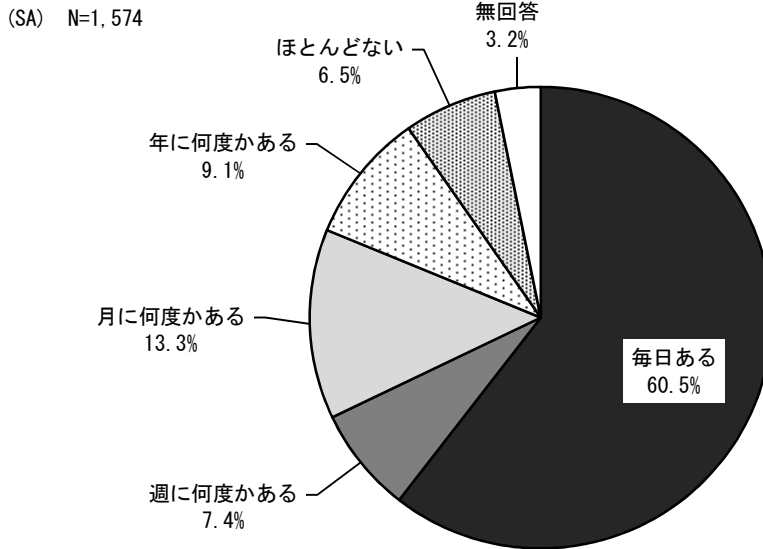
<問3 Q3 と年齢層別のクロス>

年齢層が高くなるほど「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。



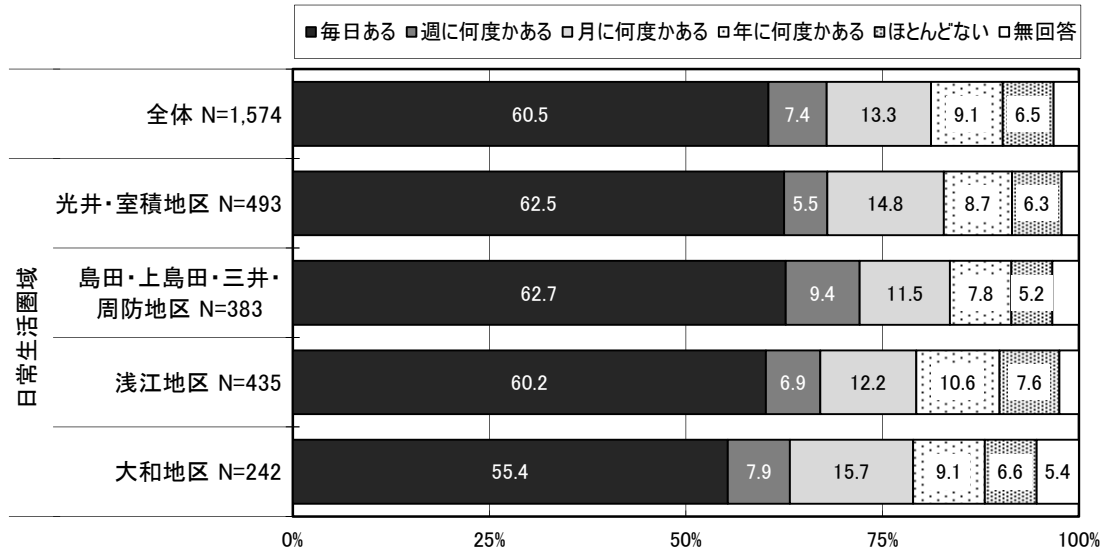
Q 4 どなたかと食事をいっしょにする機会がありますか。(SA)

「毎日ある」が60.5%で突出しています。「月に何度かある」が13.3%、「年に何度かある」が9.1%が続いています。



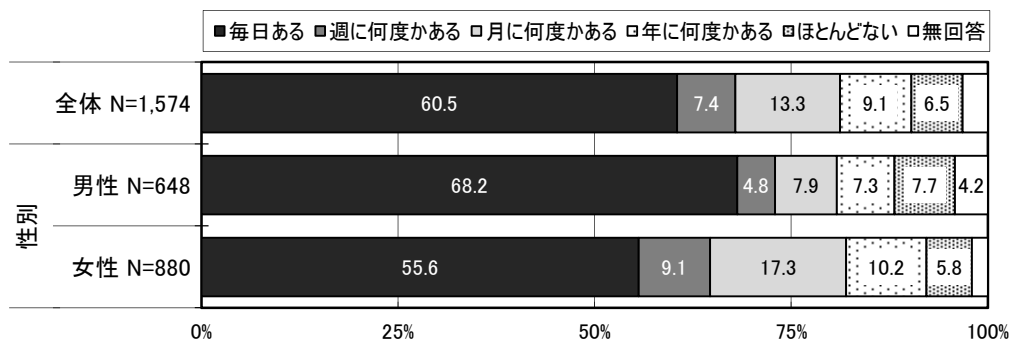
<問3 Q 4 と日常生活圏域別のクロス>

『大和地区』では他の圏域と比べて「毎日ある」の割合が低くなっています。



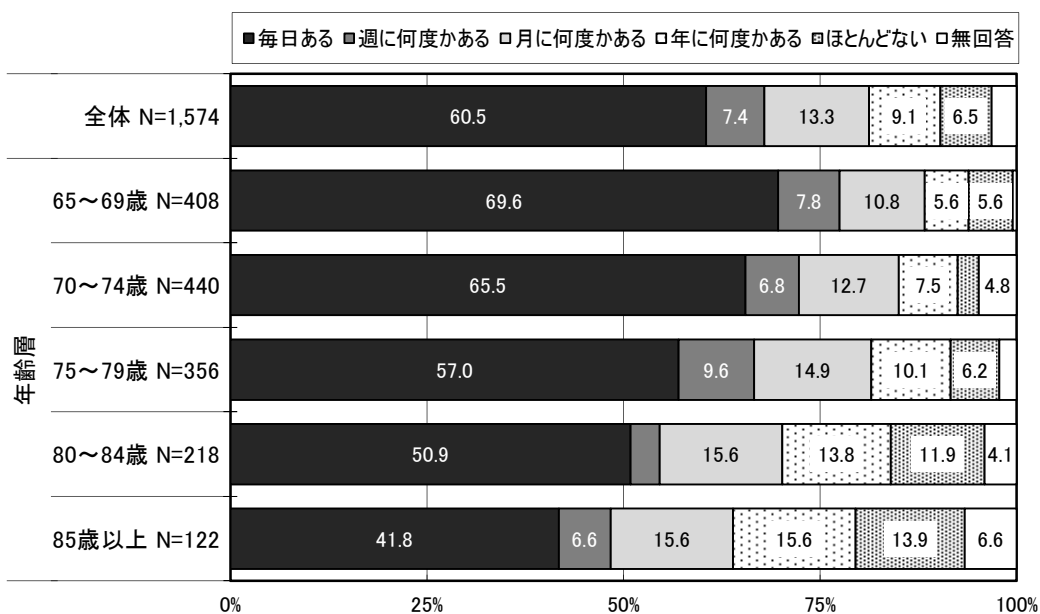
<問3 Q4 と性別のクロス>

『女性』では『男性』と比べて「毎日ある」の割合が低くなっています。



<問3 Q4 と年齢層別のクロス>

年齢層が高くなるほど「毎日ある」の割合が低くなっています。『85歳以上』では「毎日ある」の割合が半数以下になっています。

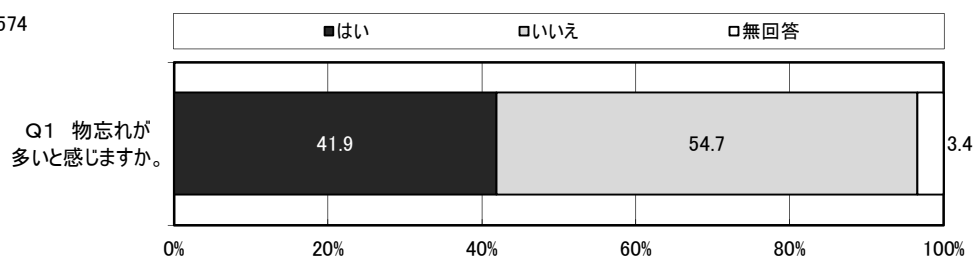


問4 毎日の生活について

Q1 物忘れが多いと感じますか。(SA)

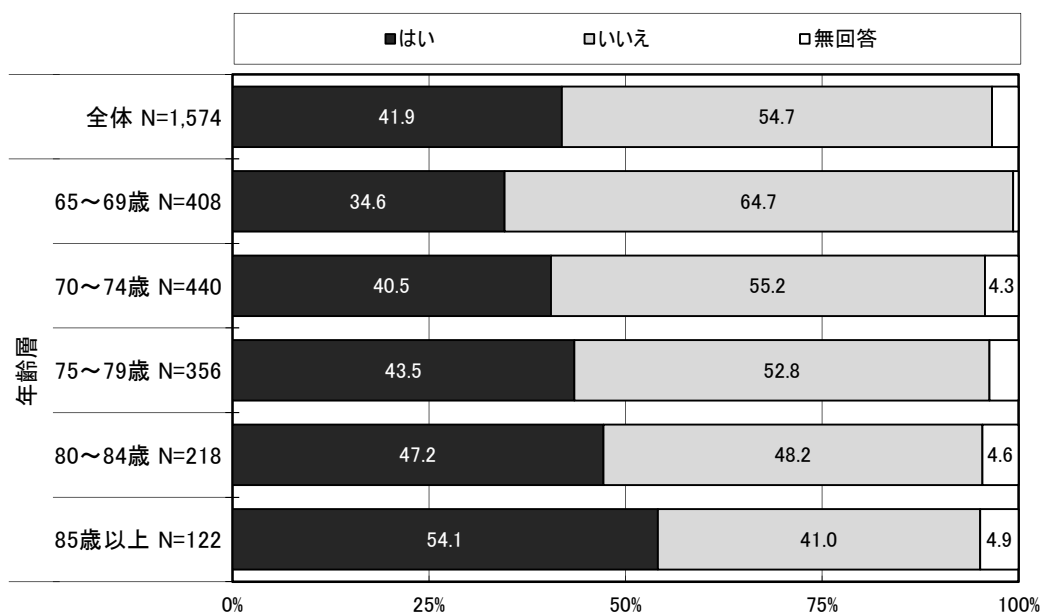
「いいえ」が54.7%を占めています。

(SA) N=1,574



<問4 Q1と年齢層別のクロス>

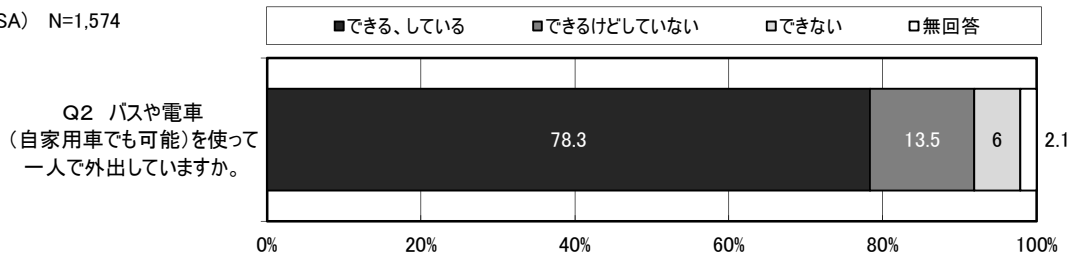
年齢層が高くなるほど「はい」の割合が高くなっています。『85歳以上』では「はい」の割合が半数以上となっています。



Q2 バスや電車（自家用車でも可能）を使って一人で外出していますか。（SA）

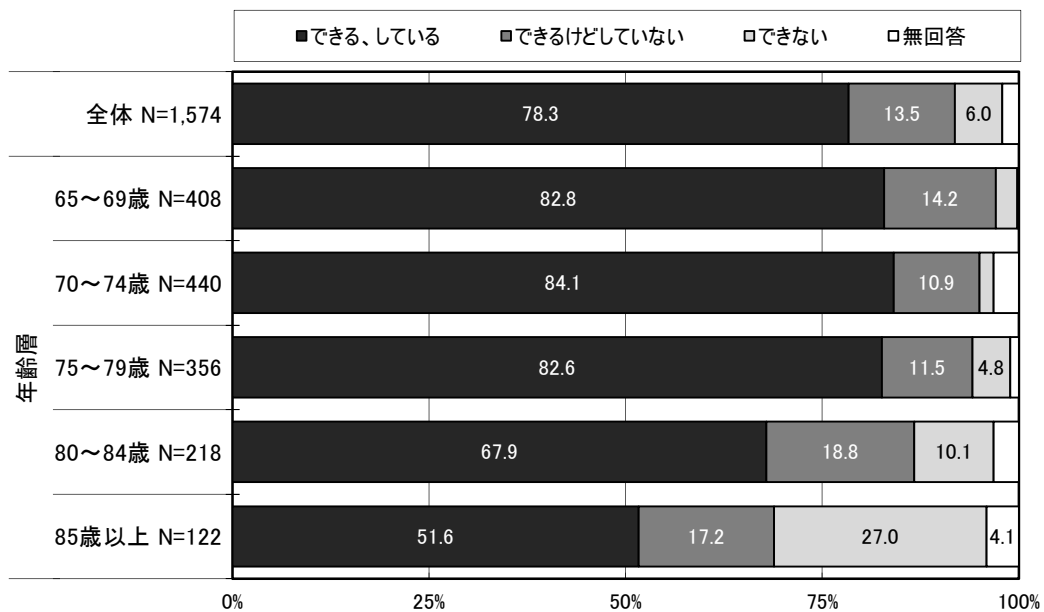
「できる、している」が78.3%を占めています。

(SA) N=1,574



<問4 Q2 と年齢層別のクロス>

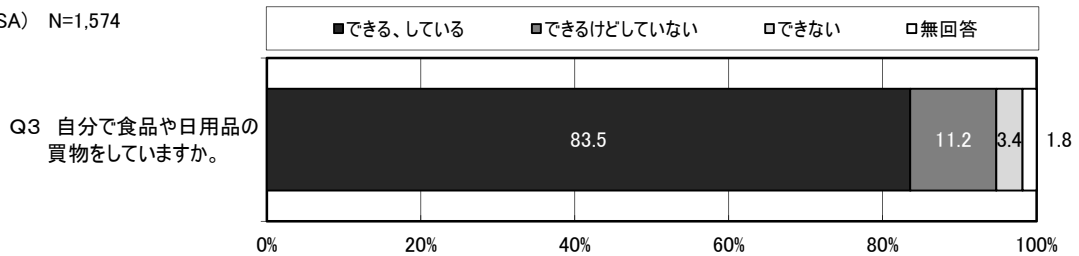
年齢層が高くなるほど「できる、している」の割合が低くなる傾向にあります。『80歳以上』では「できるけどしていない」の割合が高く、『85歳以上』では「できない」の割合が高くなり、「できる、している」の割合は半数程度になっています。



Q 3 自分で食品や日用品の買物をしていますか。(SA)

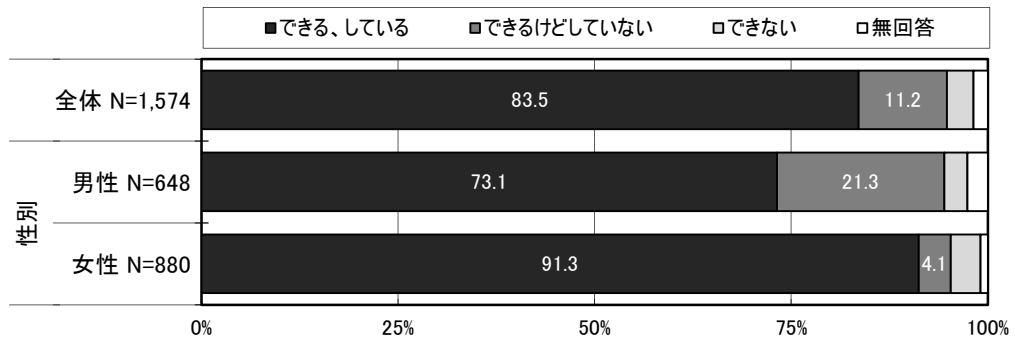
「できる、している」が83.5%を占めています。

(SA) N=1,574



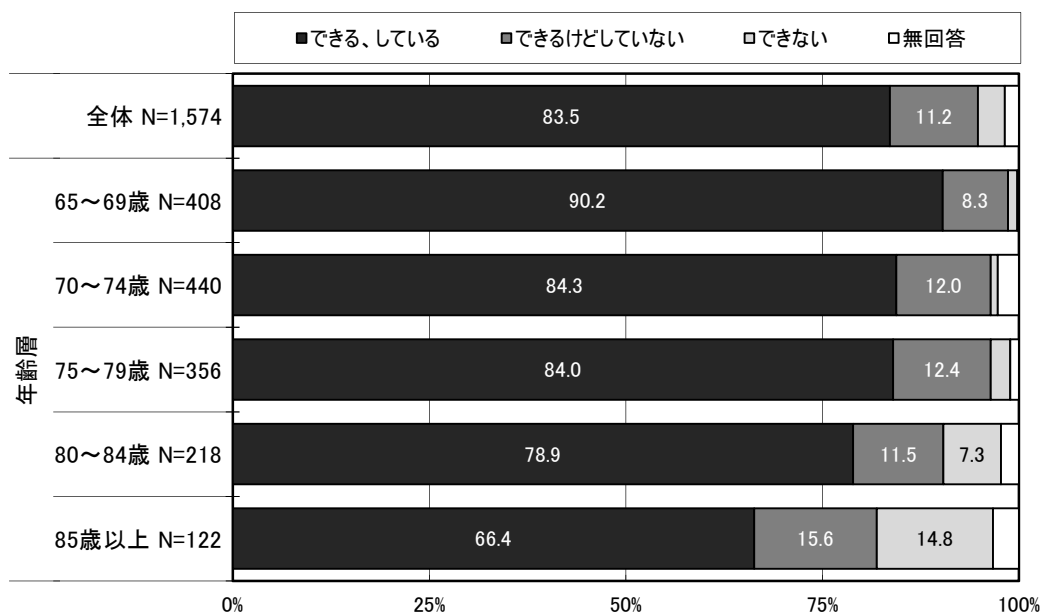
<問4 Q 3 と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



<問4 Q3 と年齢層別のクロス>

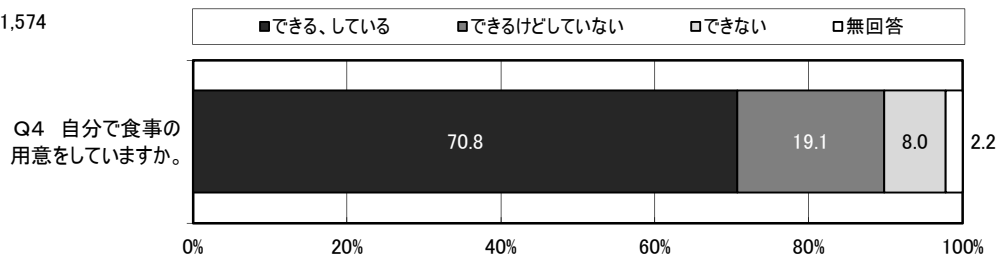
年齢層が高くなるほど「できる、している」の割合が低くなっています。



Q 4 自分で食事の用意をしていますか。(SA)

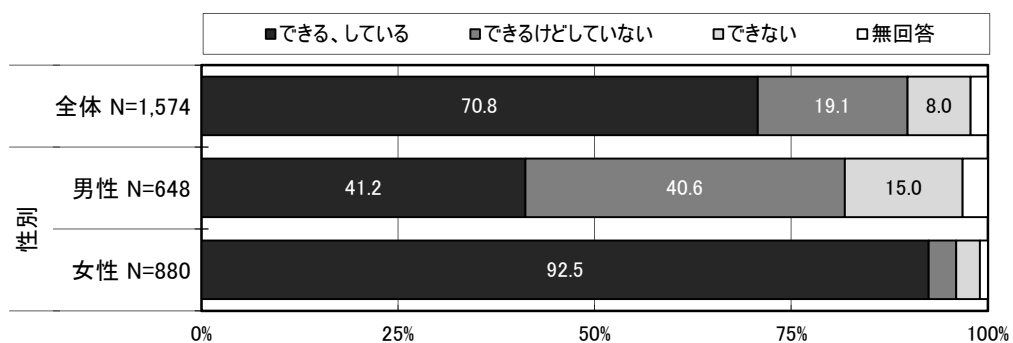
「できる、している」が70.8%を占めています。

(SA) N=1,574



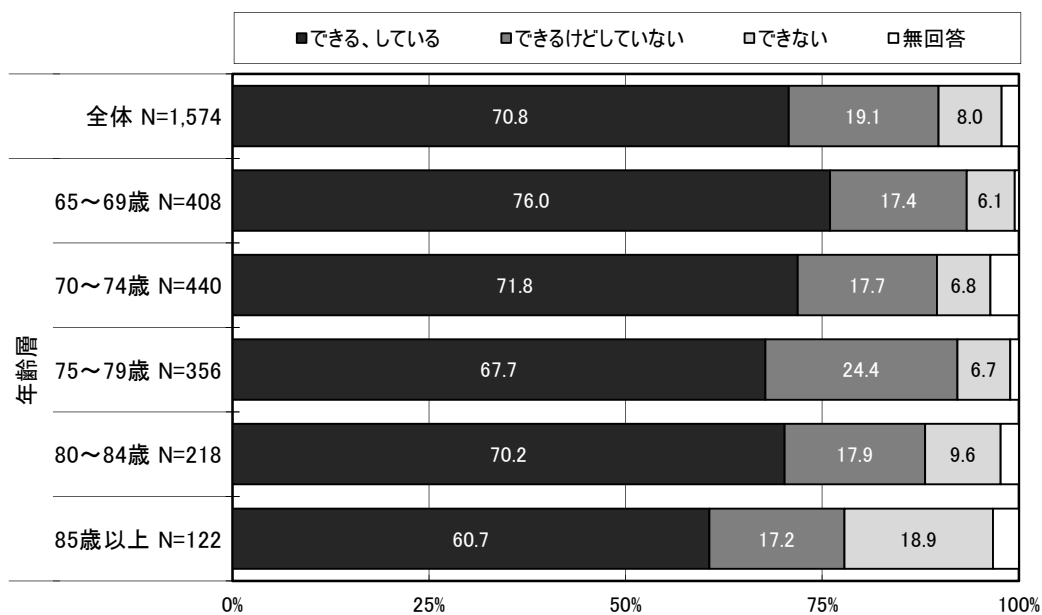
<問4 Q 4 と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「できるけどしていない」と「できない」の割合が高くなっています。



<問4 Q4 と年齢層別のクロス>

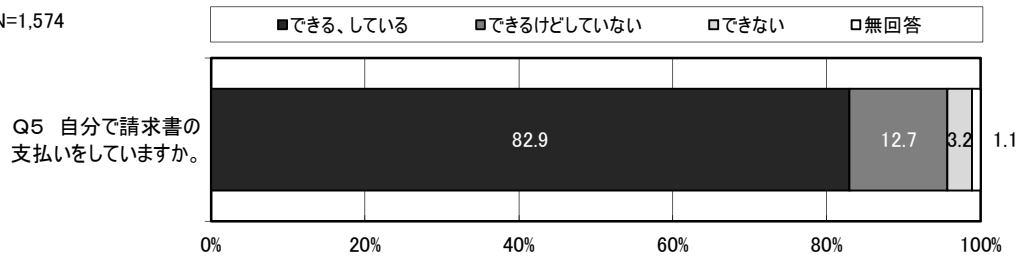
年齢層が高くなるほど「できる、している」の割合が低くなる傾向にあります。



Q 5 自分で請求書の支払いをしていますか。(SA)

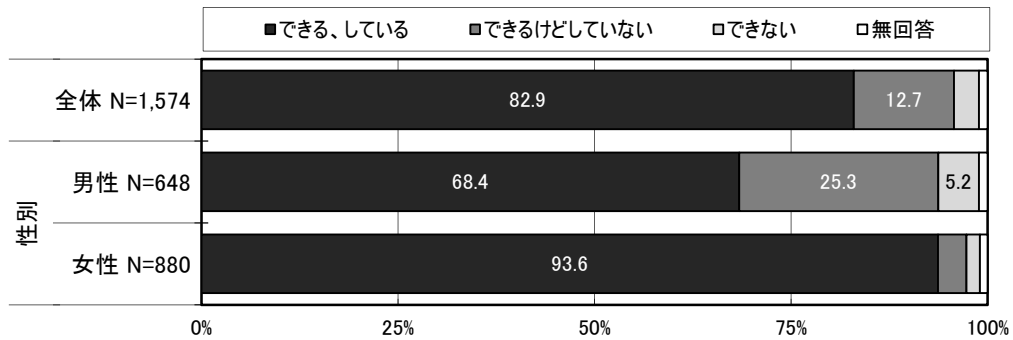
「できる、している」が82.9%を占めています。

(SA) N=1,574



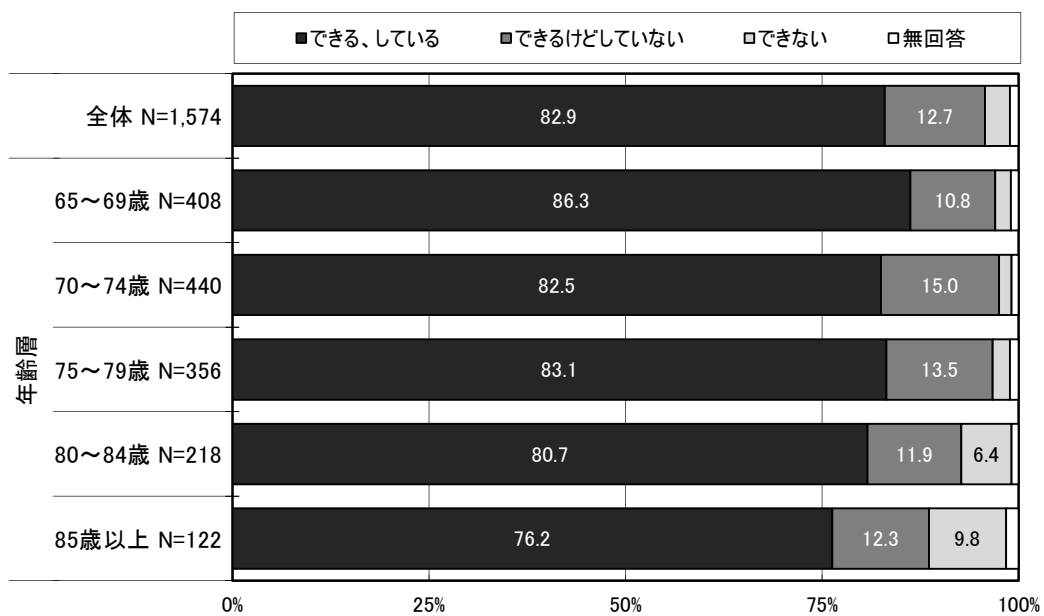
<問4 Q 5 と性別のクロス>

『男性』では『女性』に比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



<問4Q5と年齢層別のクロス>

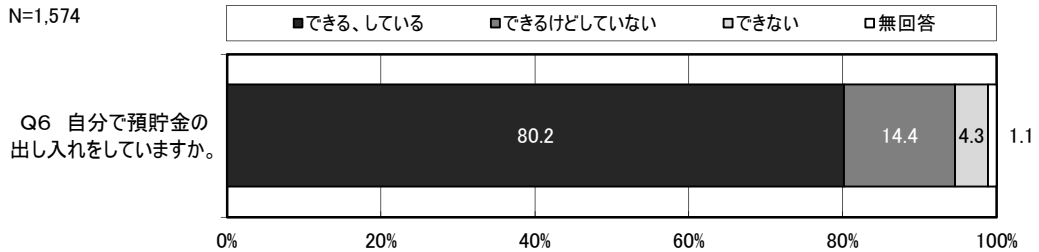
年齢層が高くなるほど「できる、している」の割合が低くなっています。『80歳以上』では「できない」の割合が高くなっています。



Q 6 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(SA)

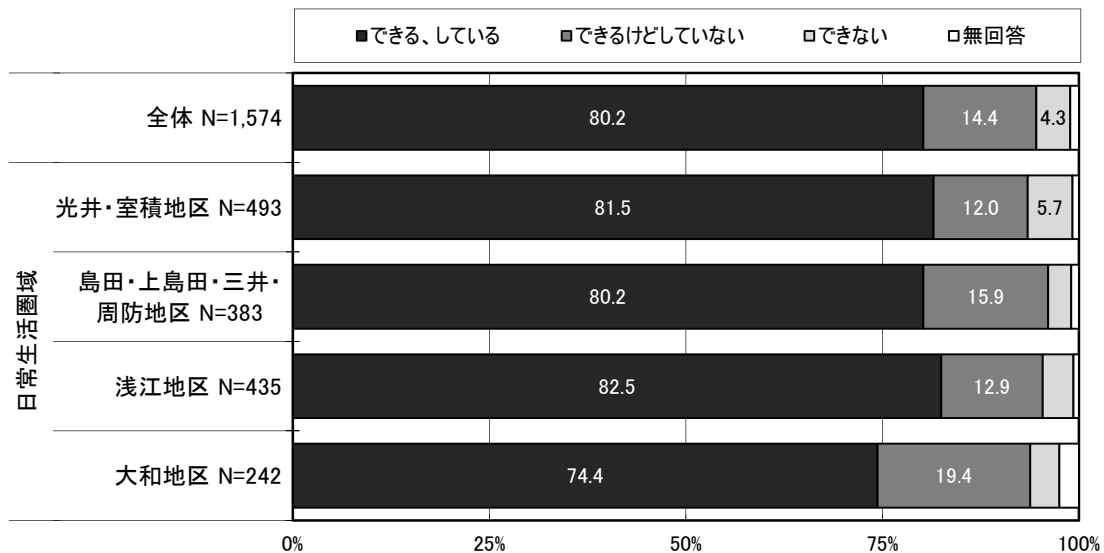
「できる、している」が80.2%を占めています。

(SA) N=1,574



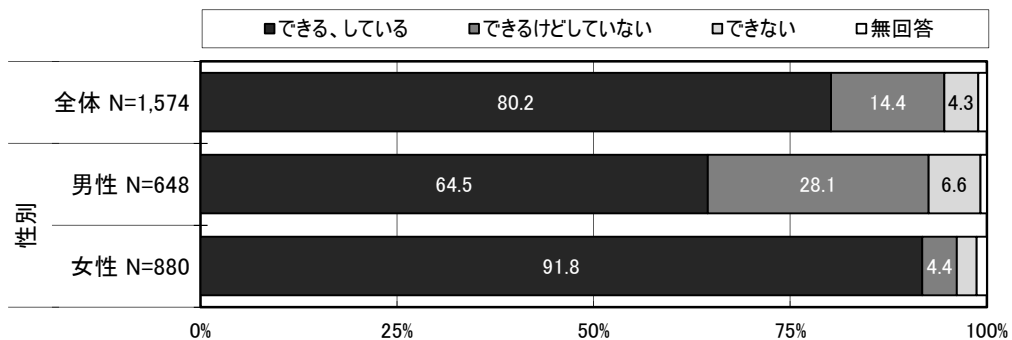
<問4 Q 6 と日常生活圏域別のクロス>

『大和地区』では他の圏域に比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



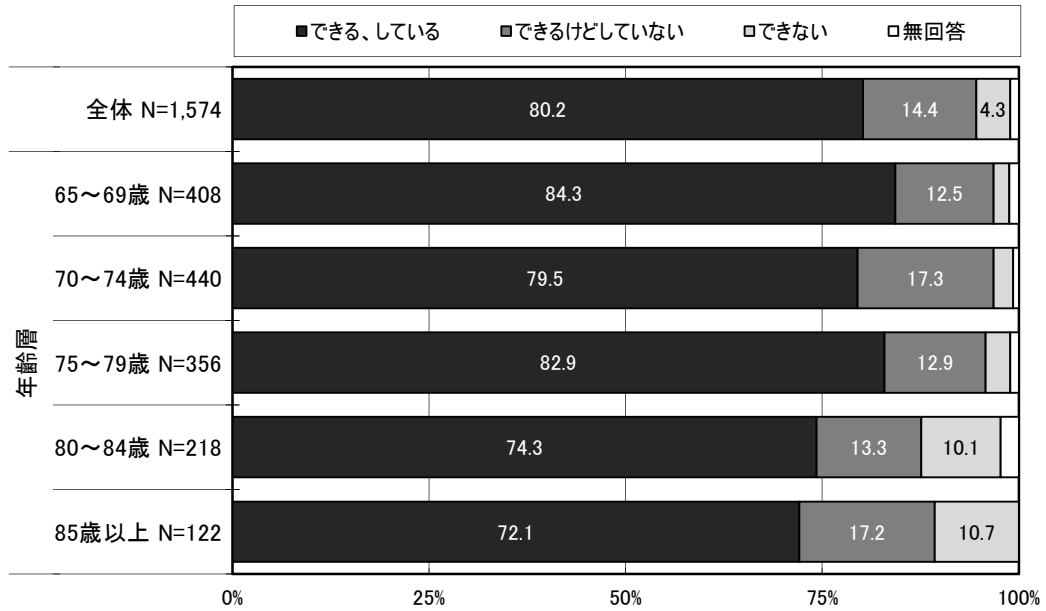
<問4 Q 6 と性別のクロス>

『男性』では『女性』に比べて「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



<問4 Q6 と年齢層別のクロス>

『80歳以上』では他の年齢層に比べて「できない」の割合が高くなっています。

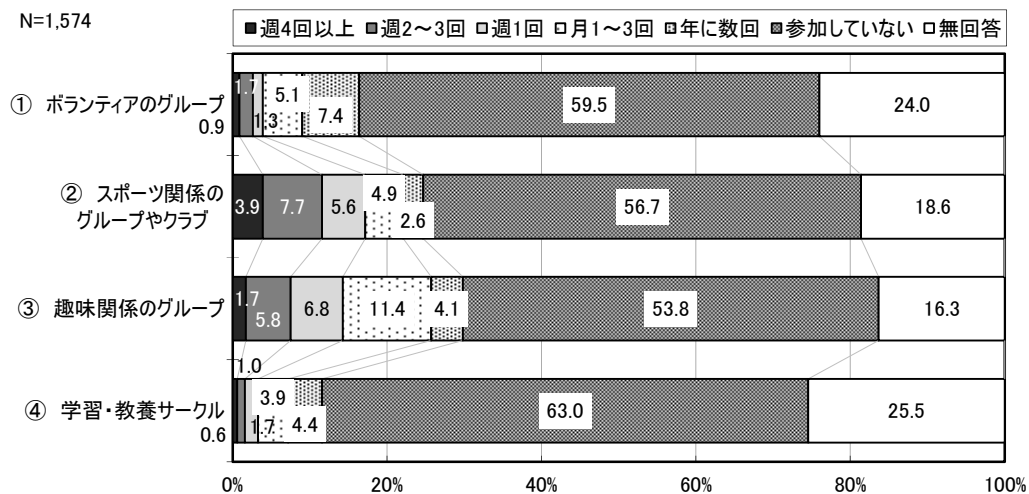


問5 地域での活動について

Q1 以下のようなグループ等にどのくらいの割合で参加していますか。(SA)

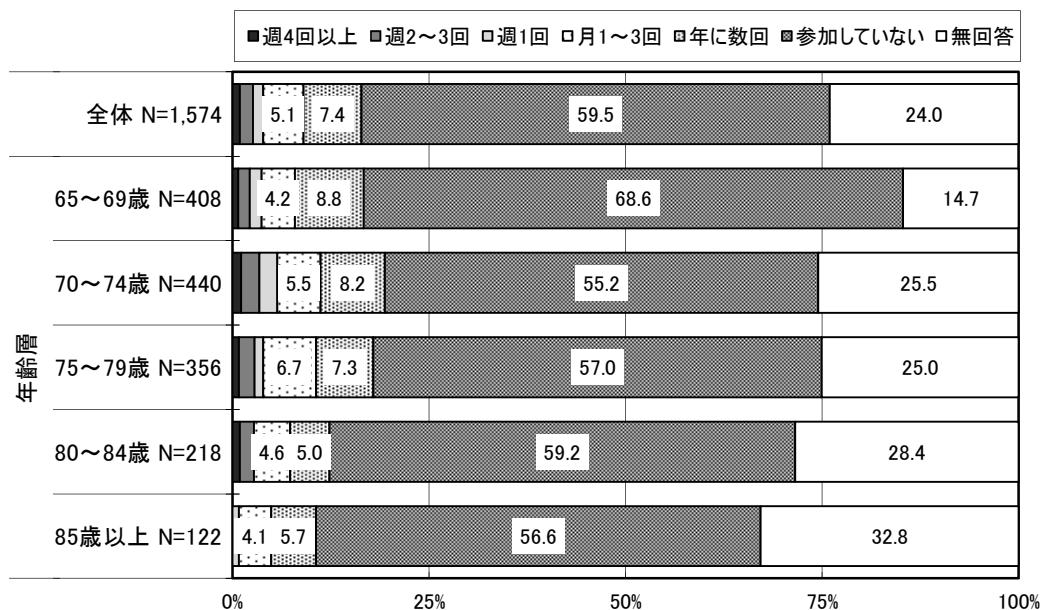
「参加していない」が全ての項目で半数以上となっています。その中でも特に「④ 学習・教養サークル」では63.0%となっています。参加（いずれかの参加）でもっとも高いのは「③ 趣味関係のグループ」で約3割となっています。次いで「② スポーツ関係のグループやクラブ」が2割以上で続いています。

(SA) N=1,574



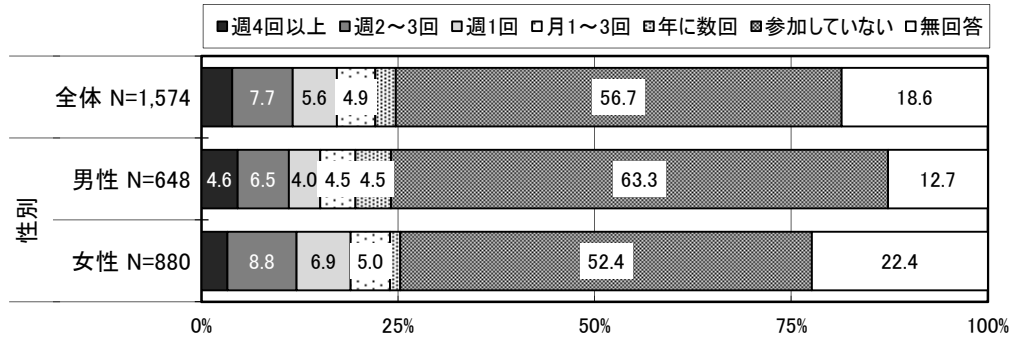
<問5 Q1 ①と年齢層別のクロス>

『65~69歳』では他の年齢層と比べて「参加していない」の割合が高くなっています。



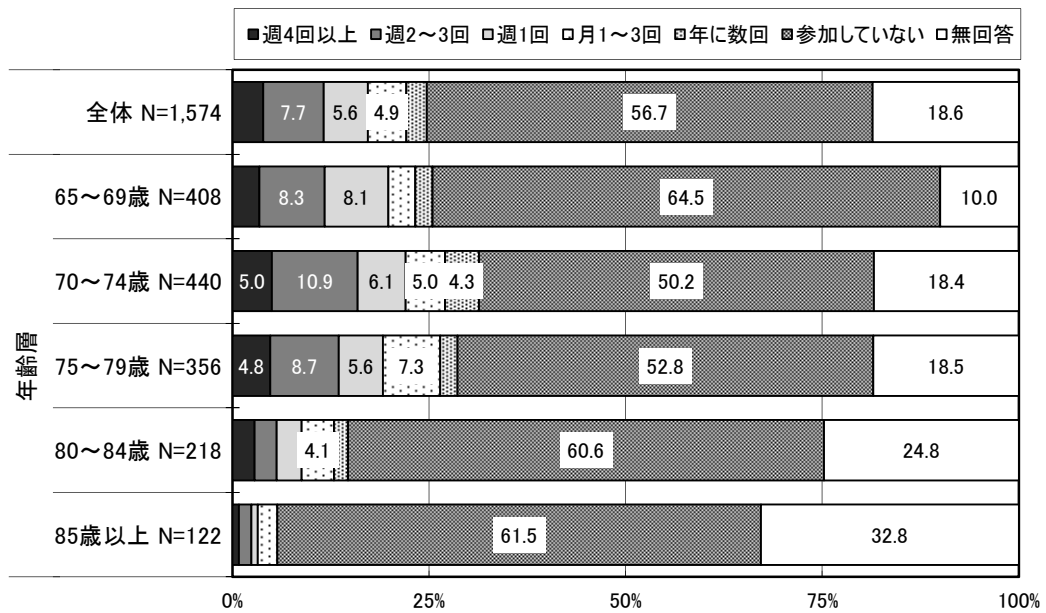
<問5 Q 1 ②と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「参加していない」の割合が高くなっています。



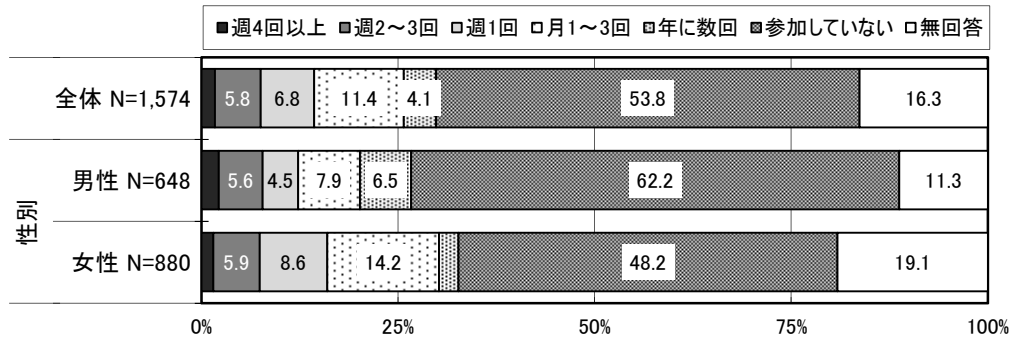
<問5 1 Q 1 ②と年齢層別のクロス>

『70~79歳』では他の年齢層に比べて「参加していない」の割合が低くなっています。



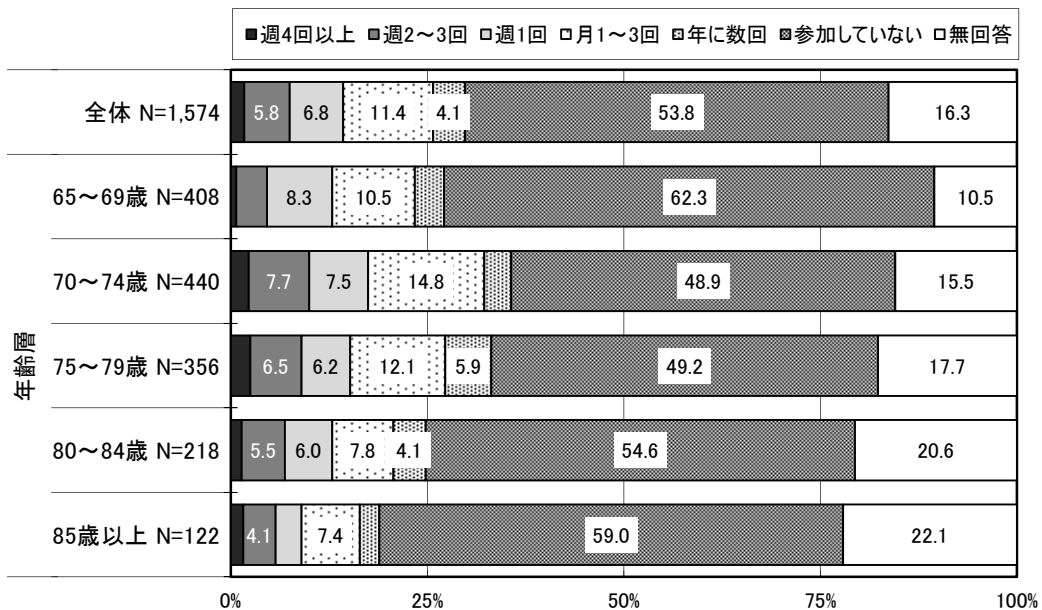
<問5 Q 1 ③と性別のクロス>

『男性』では『女性』に比べて「参加していない」の割合が高くなっています。



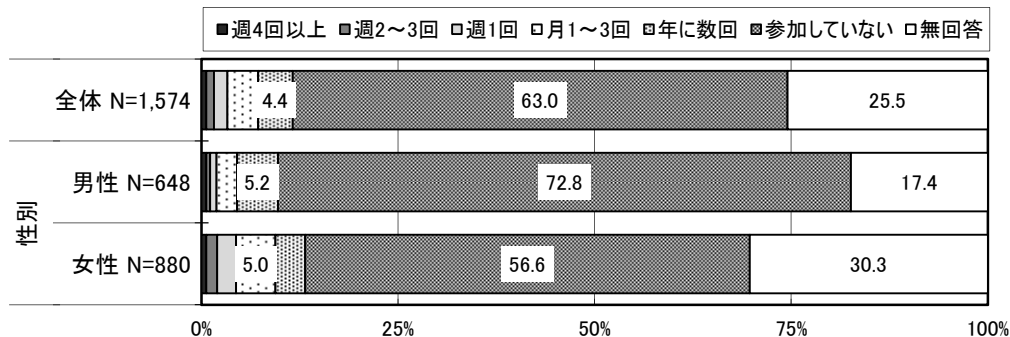
<問5 Q 1 ③と年齢層別のクロス>

『65~69歳』及び『85歳以上』では他の年齢層に比べて「参加していない」の割合が高くなっています。



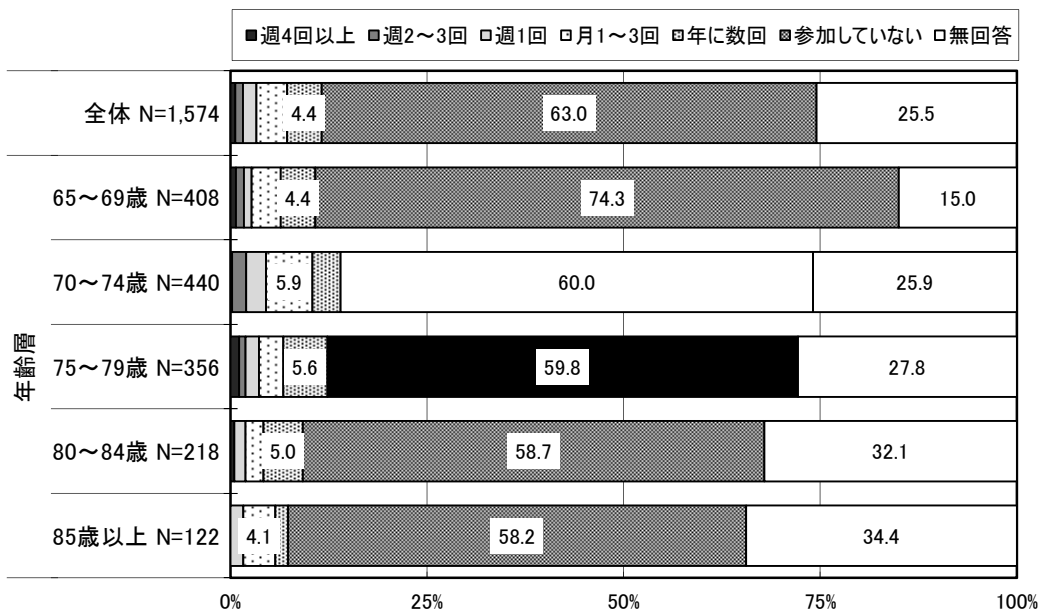
<問5 Q 1 ④と性別のクロス>

『男性』では『女性』に比べて「参加していない」の割合が高くなっています。



<問5 Q 1 ④と年齢層別のクロス>

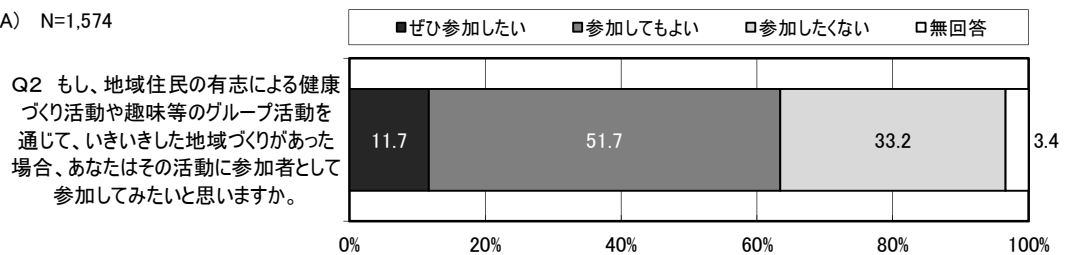
年齢層が高くなるほど「参加していない」の割合が低くなっています。



Q 2 もし、地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じて、いきいきした地域づくりがあった場合、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(SA)

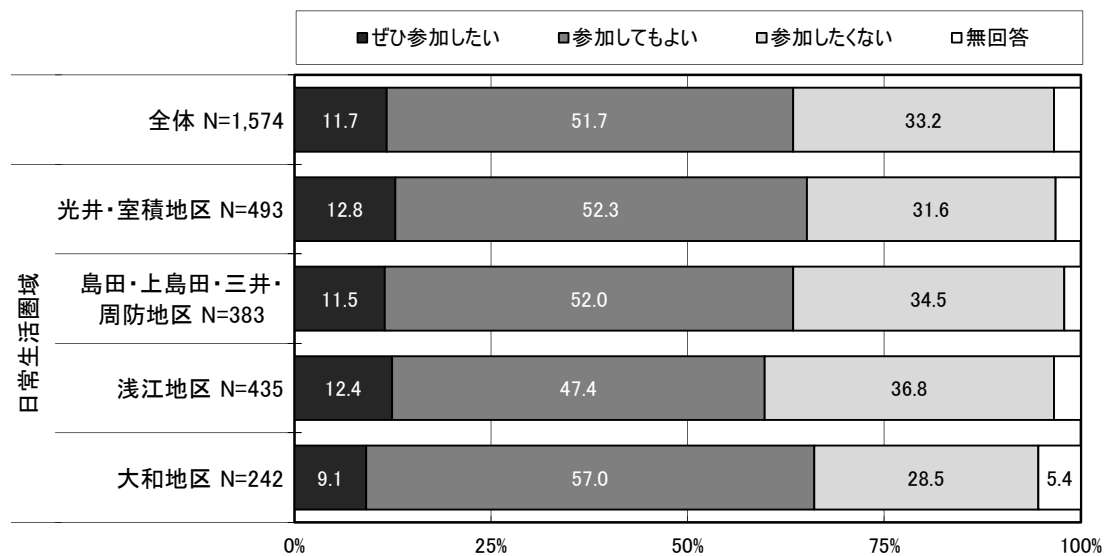
「参加してもよい」が51.7%を占めています。

(SA) N=1,574



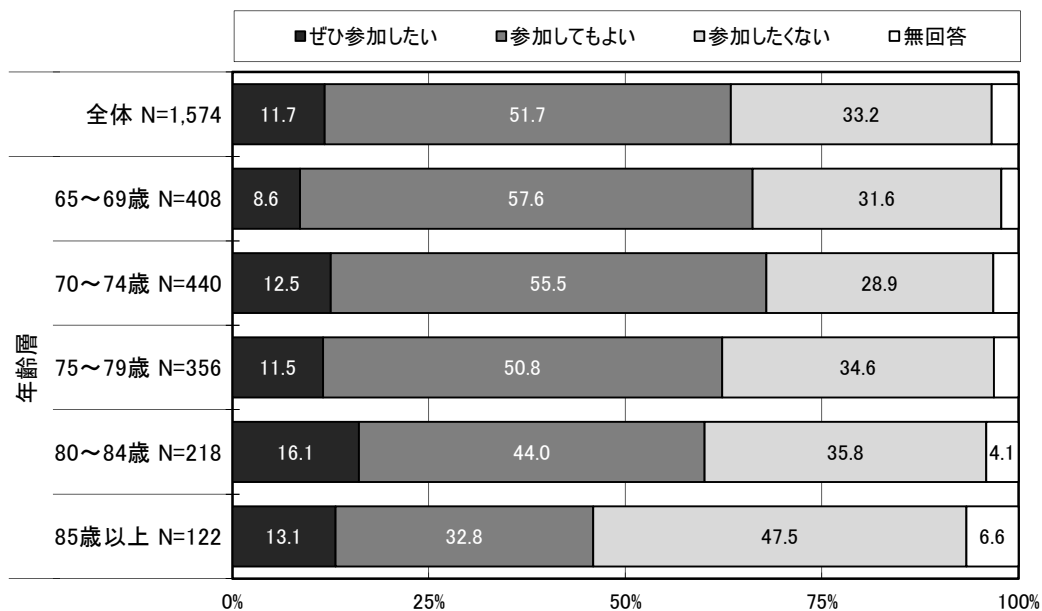
<問5 Q 2 と日常生活圏域別のクロス>

『光井・室積地区』及び『大和地区』では他の圏域と比べて「参加したいと考える人」（「ぜひ参加したい」＋「参加してもよい」）の割合が高くなっています。



<問5 Q2 と年齢層別のクロス>

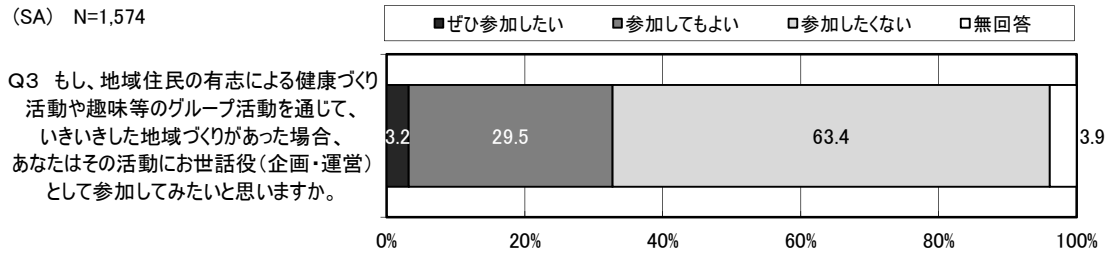
『65～74 歳』では他の年齢層に比べて「参加したいと考える人」（「ぜひ参加したい」＋「参加してもよい」）の割合が高くなっています。『85 歳以上』では「参加したくない」の割合が高く、「参加したいと考える人」と拮抗しています。



Q3 もし、地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動を通じて、いきいきした地域づくりがあった場合、あなたはその活動にお世話役（企画・運営）として参加してみたいと思いますか。（SA）

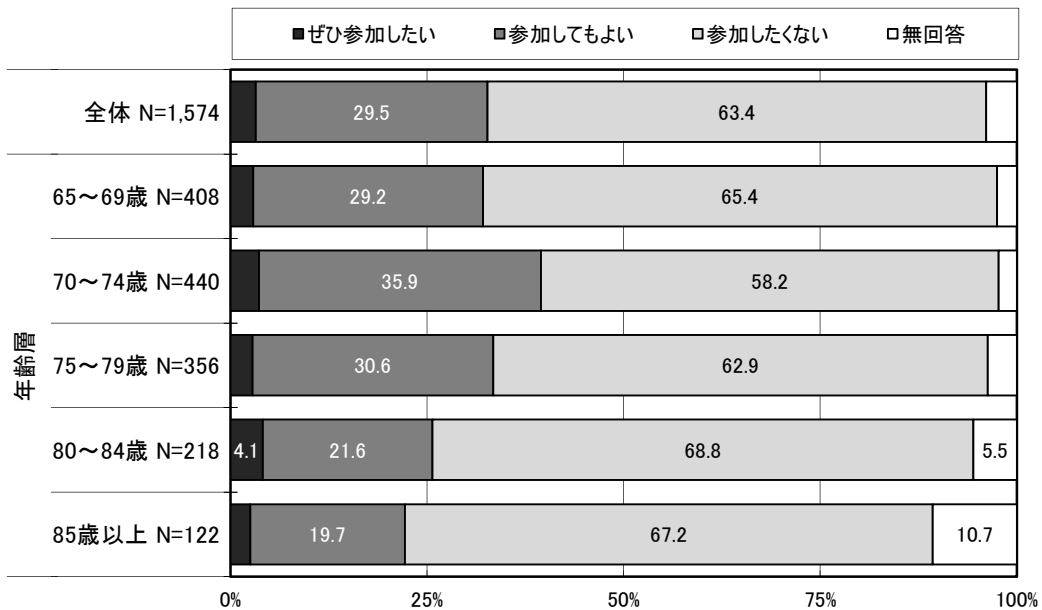
「参加したくない」が63.4%を占めています。

(SA) N=1,574



<問5 Q3 と年齢層別のクロス>

『70～74 歳』では他の年齢層に比べて「参加したいと考える人」（「ぜひ参加したい」＋「参加してもよい」）の割合が高くなっています。『80 歳以上』では「参加したくない」の割合が高くなっています。

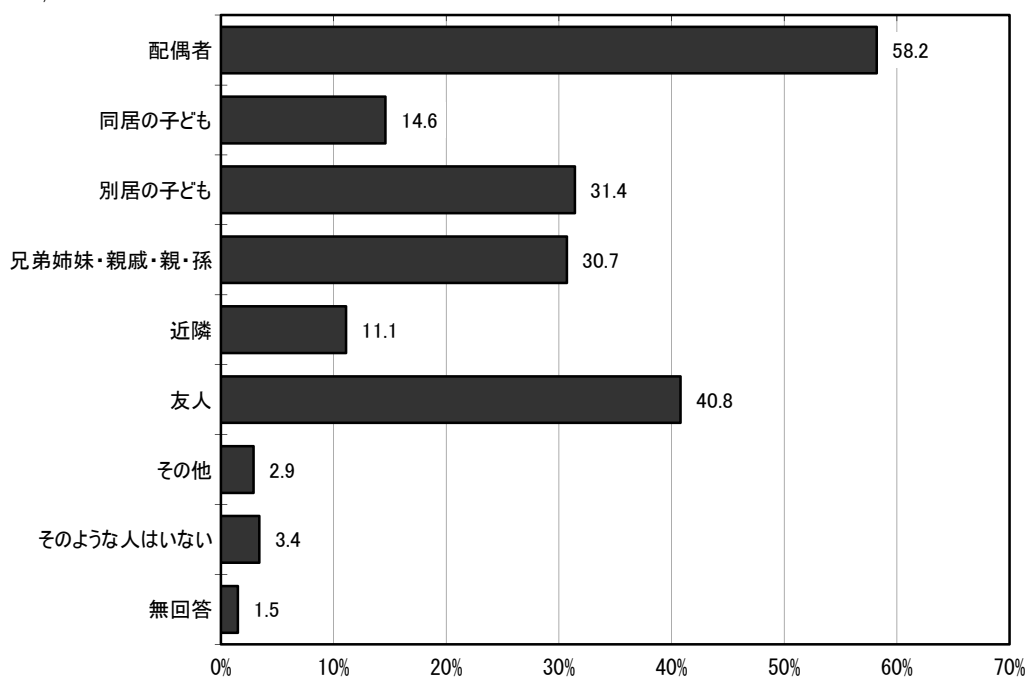


問6 たすけあいについて

Q1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。（MA）

「配偶者」が 58.2%で最も高くなっています。次いで「友人」が 40.8%、「別居の子ども」が 31.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 30.7%が続いています。

(MA) N=1,574



<問6 Q1と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「配偶者」の割合が高くなっています。『女性』では『男性』と比べて「同居の子ども」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「近隣」、「友人」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	男性 N=648	女性 N=880
配偶者	58.2	75.8	45.7
同居の子ども	14.6	9.7	18.3
別居の子ども	31.4	21.0	38.9
兄弟姉妹・親戚・親・孫	30.7	18.5	40.1
近隣	11.1	5.7	15.5
友人	40.8	25.9	51.9
その他	2.9	3.1	2.7
そのような人はいない	3.4	4.5	2.3
無回答	1.5	1.7	1.3

<問6Q1と年齢層別のクロス>

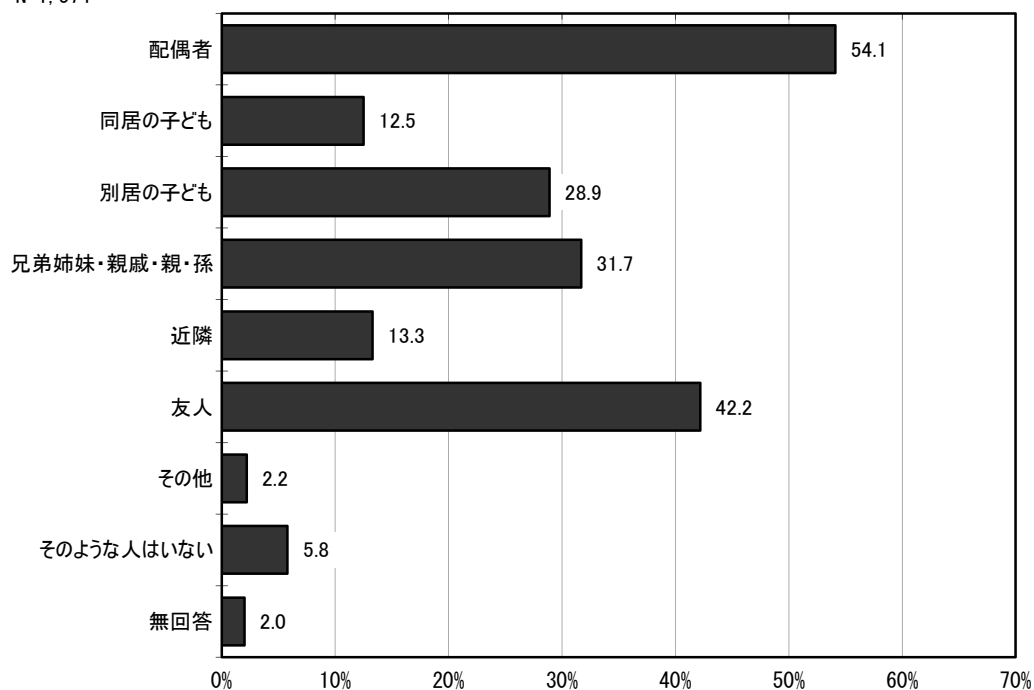
『65～74 歳』では他の年齢層に比べて「配偶者」の割合が高く、『70～74 歳』では「別居の子ども」の割合が高くなっています。『85 歳以上』では「同居の子ども」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	65～69歳 N=408	70～74歳 N=440	75～79歳 N=356	80～84歳 N=218	85歳以上 N=122
配偶者	58.2	68.1	68.4	53.7	42.7	33.6
同居の子ども	14.6	13.0	12.7	14.3	16.5	24.6
別居の子ども	31.4	27.0	36.8	31.2	31.2	27.9
兄弟姉妹・親戚・親・孫	30.7	32.8	30.7	31.5	32.1	22.1
近隣	11.1	7.6	13.6	12.9	13.8	4.9
友人	40.8	45.1	43.4	44.4	33.9	20.5
その他	2.9	2.5	2.7	2.5	4.6	4.1
そのような人はいない	3.4	2.7	2.0	3.7	3.2	7.4
無回答	1.5	1.5	0.7	2.0	1.8	1.6

Q 2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。（MA）

「配偶者」が 54.1%で最も高くなっています。次いで「友人」が 42.2%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 31.7%、「別居の子ども」が 28.9%で続いています。

(MA) N=1,574



<問6 Q 2 と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べ「配偶者」の割合が高くなっています。『女性』では『男性』と比べ「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」、「近隣」、「友人」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	男性 N=648	女性 N=880
配偶者	54.1	73.3	40.3
同居の子ども	12.5	10.3	14.0
別居の子ども	28.9	22.2	33.6
兄弟姉妹・親戚・親・孫	31.7	22.4	39.1
近隣	13.3	7.7	17.7
友人	42.2	26.2	54.1
その他	2.2	1.9	2.3
そのような人はいない	5.8	6.5	5.3
無回答	2.0	1.7	2.2

<問6Q2と年齢層別のクロス>

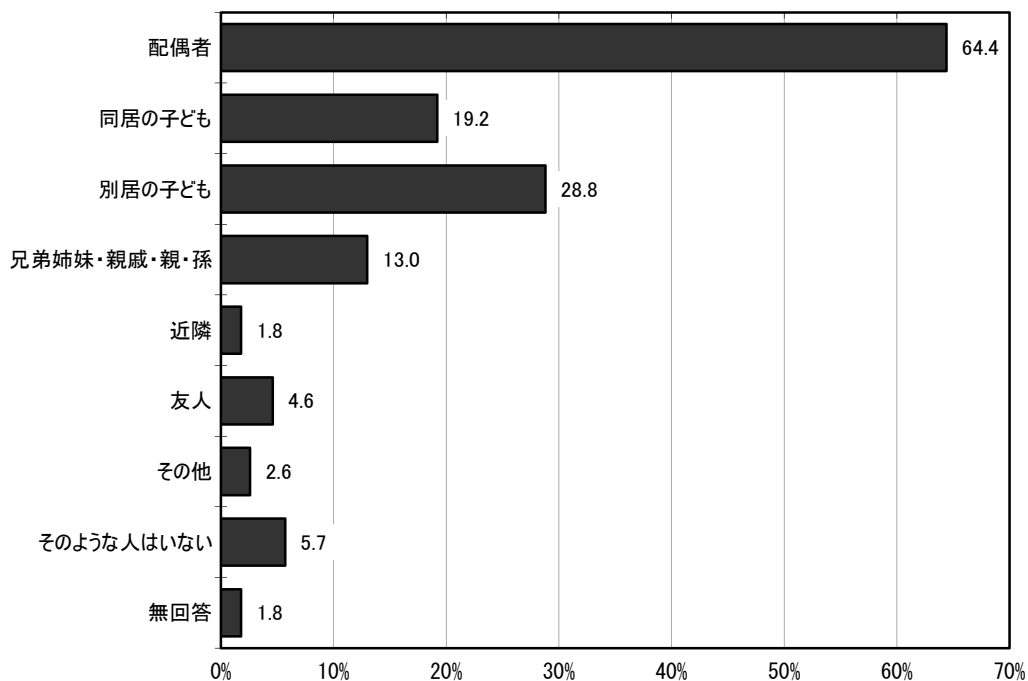
『65～74 歳』では他の年齢層に比べて「配偶者」の割合が高く、『70～74 歳』では「別居の子ども」の割合が高くなっています。『85 歳以上』では「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	65～69歳 N=408	70～74歳 N=440	75～79歳 N=356	80～84歳 N=218	85歳以上 N=122
配偶者	54.1	65.2	62.3	50.6	38.5	28.7
同居の子ども	12.5	14.5	10.9	10.4	13.8	13.9
別居の子ども	28.9	27.5	33.9	28.1	26.6	22.1
兄弟姉妹・親戚・親・孫	31.7	36.3	32.0	32.6	29.4	19.7
近隣	13.3	9.8	15.7	15.2	14.7	9.8
友人	42.2	45.8	43.6	45.5	38.1	25.4
その他	2.2	2.2	1.8	1.7	3.7	2.5
そのような人はいない	5.8	2.9	4.3	5.3	7.3	18.0
無回答	2.0	1.0	1.8	1.7	3.2	4.1

Q3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(MA)

「配偶者」が64.4%で突出しています。「別居の子ども」が28.8%、「同居の子ども」が19.2%で続いています。

(MA) N=1,574



<問6 Q3と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「配偶者」の割合が高くなっています。『女性』では『男性』と比べて「同居の子ども」、「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	男性 N=648	女性 N=880
配偶者	64.4	83.0	51.0
同居の子ども	19.2	13.6	23.2
別居の子ども	28.8	20.2	34.9
兄弟姉妹・親戚・親・孫	13.0	7.4	17.3
近隣	1.8	0.5	2.7
友人	4.6	2.0	6.3
その他	2.6	1.1	3.8
そのような人はいない	5.7	5.1	6.3
無回答	1.8	1.4	1.8

<問6Q3と年齢層別のクロス>

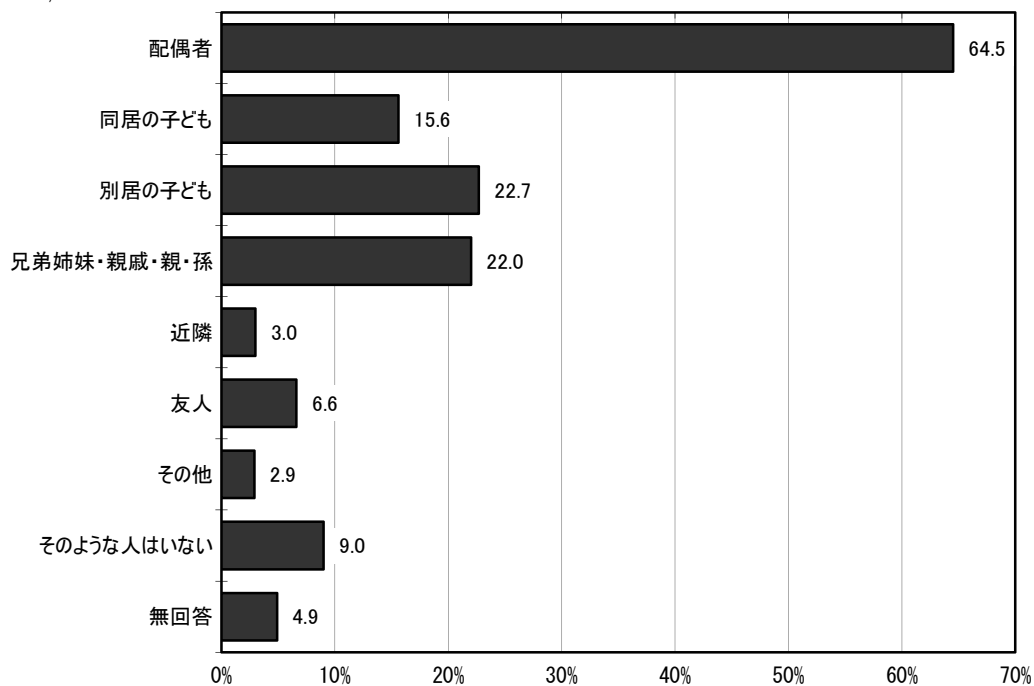
『65～74 歳』では他の年齢層に比べて「配偶者」の割合が高くなっています。『80 歳以上』では「同居の子ども」と「別居の子ども」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	65～69歳 N=408	70～74歳 N=440	75～79歳 N=356	80～84歳 N=218	85歳以上 N=122
配偶者	64.4	75.2	74.1	64.0	43.6	35.2
同居の子ども	19.2	16.2	15.7	18.8	24.3	32.0
別居の子ども	28.8	19.4	32.0	27.2	39.9	34.4
兄弟姉妹・親戚・親・孫	13.0	13.5	9.3	13.8	17.9	14.8
近隣	1.8	0.5	2.3	2.8	2.3	1.6
友人	4.6	4.4	4.1	7.6	3.2	0.8
その他	2.6	0.7	2.3	2.2	4.6	8.2
そのような人はいない	5.7	5.6	3.9	6.2	7.3	9.0
無回答	1.8	1.0	1.8	2.5	1.8	0.8

Q 4 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(MA)

「配偶者」が64.5%で突出しています。「別居の子ども」が22.7%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が22.0%で続いています。

(MA) N=1,574



<問6 Q 4 と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「配偶者」の割合が高くなっています。『女性』では『男性』と比べて「別居の子ども」と「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	男性 N=648	女性 N=880
配偶者	64.5	78.9	54.2
同居の子ども	15.6	12.8	17.3
別居の子ども	22.7	15.3	28.4
兄弟姉妹・親戚・親・孫	22.0	13.0	28.9
近隣	3.0	1.7	4.0
友人	6.6	3.1	9.0
その他	2.9	1.7	3.8
そのような人はいない	9.0	8.3	9.4
無回答	4.9	2.8	6.4

<問6Q4と年齢層別のクロス>

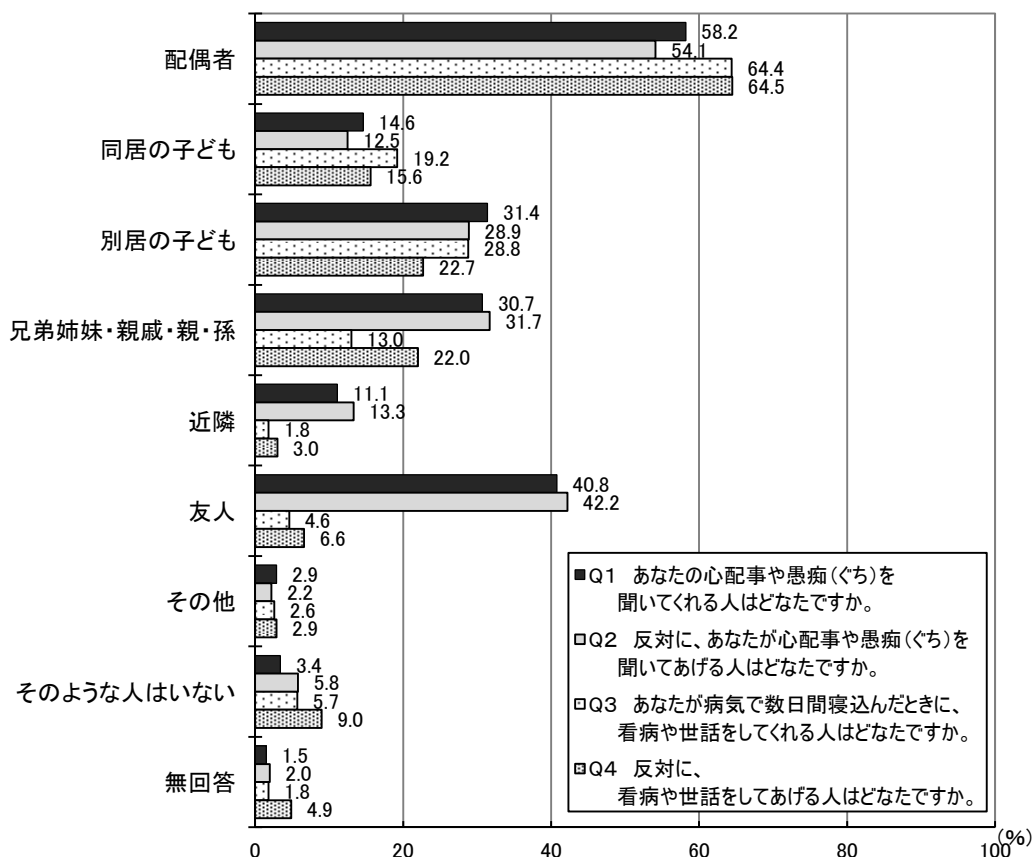
『65～74 歳』では他の年齢層に比べて「配偶者」の割合が高く、『65～69 歳』では「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。『85 歳以上』では「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	65～69歳 N=408	70～74歳 N=440	75～79歳 N=356	80～84歳 N=218	85歳以上 N=122
配偶者	64.5	74.3	75.0	63.5	43.6	36.9
同居の子ども	15.6	16.7	14.1	16.0	15.6	13.1
別居の子ども	22.7	23.0	25.9	22.8	23.4	10.7
兄弟姉妹・親戚・親・孫	22.0	29.9	20.9	21.3	17.0	11.5
近隣	3.0	1.2	3.2	5.3	3.7	1.6
友人	6.6	5.6	6.4	8.7	6.4	4.1
その他	2.9	1.5	1.1	2.0	6.9	10.7
そのような人はいない	9.0	5.6	6.6	9.0	13.3	21.3
無回答	4.9	2.5	4.3	4.2	7.3	11.5

※問6のまとめ

「配偶者」はすべての項目で高くなっています。「友人」は、『Q1 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はどなたですか。』と『Q2 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はどなたですか。』では高くなっていますが、『Q3 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。』及び『Q4 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。』では低くなっています。

(MA) N=1,574

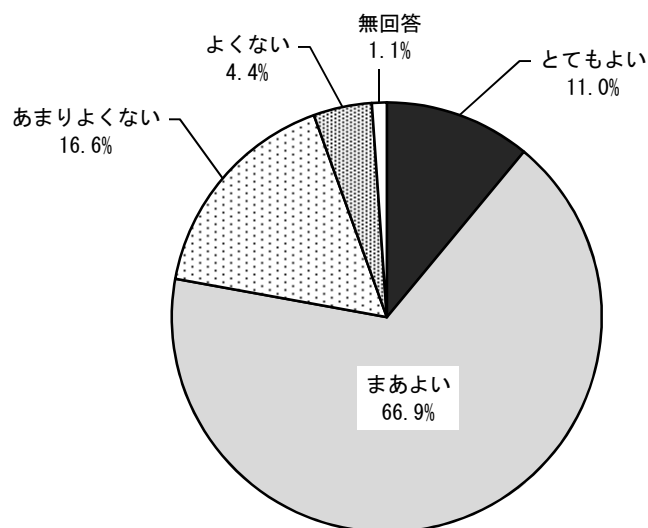


問7 健康について

Q1 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(SA)

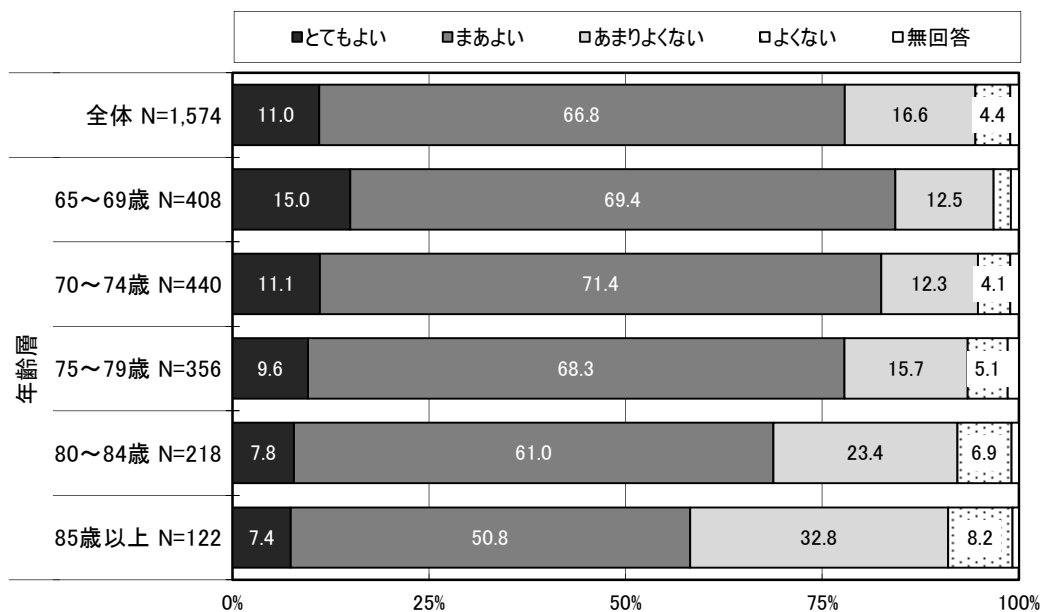
「まあよい」が66.9%を占めています。

(SA) N=1,574



<問7 Q1 と年齢層別のクロス>

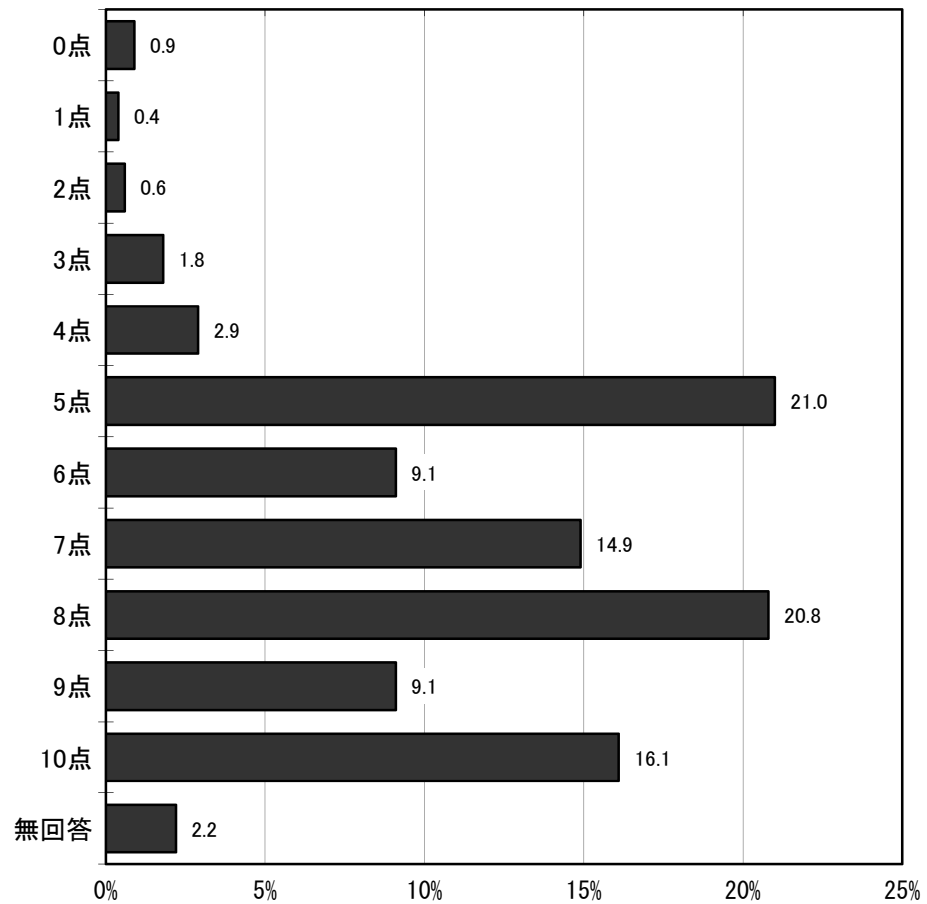
年齢層が高くなるほど「よくないと感じる人」（「あまりよくない」＋「よくない」）の割合が高くなっています。



Q 2 あなたは、現在どの程度幸せですか。（数量）

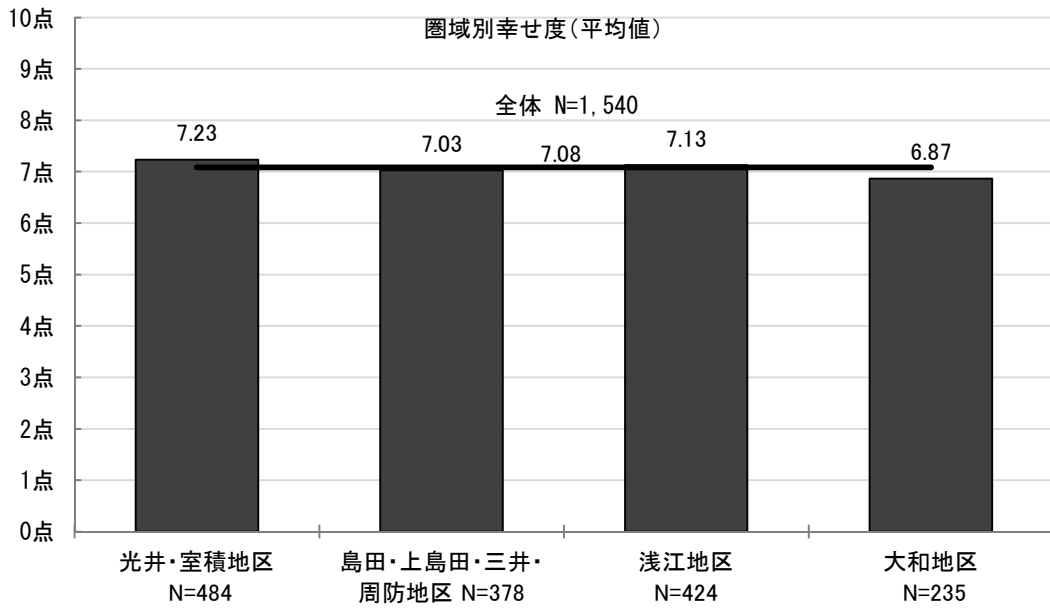
「5点」が21.0%で最も高くなっています。次いで「8点」が20.8%、「10点」が16.1%で続いています。平均値（回答者の平均）は7.08点でした。

（数量） N=1,574



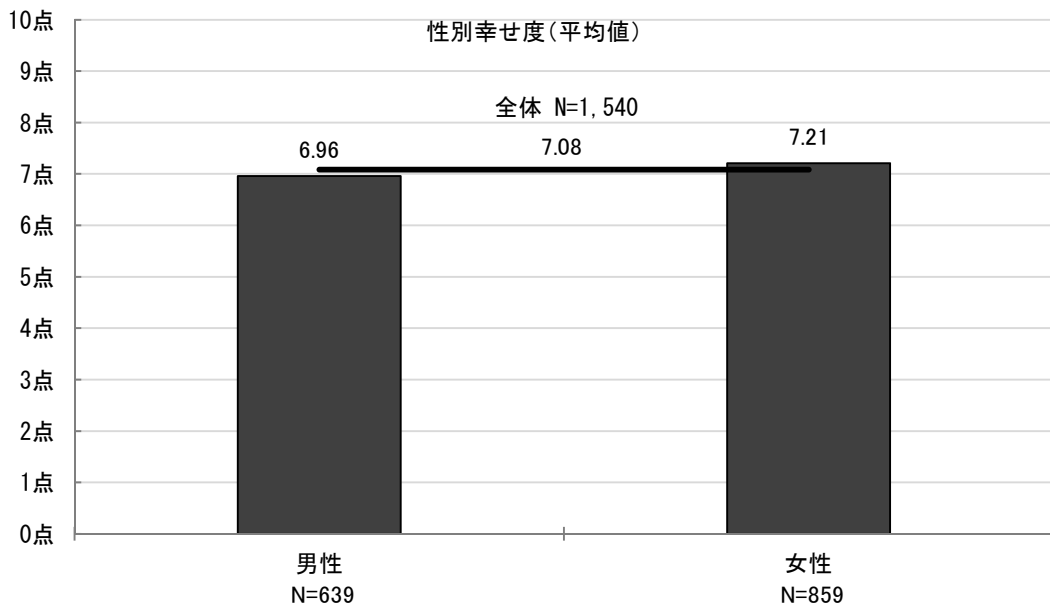
<問7 Q2と日常生活圏域別のクロス>

平均値は、『光井・室積地区』で高く、『大和地区』で低くなっています。



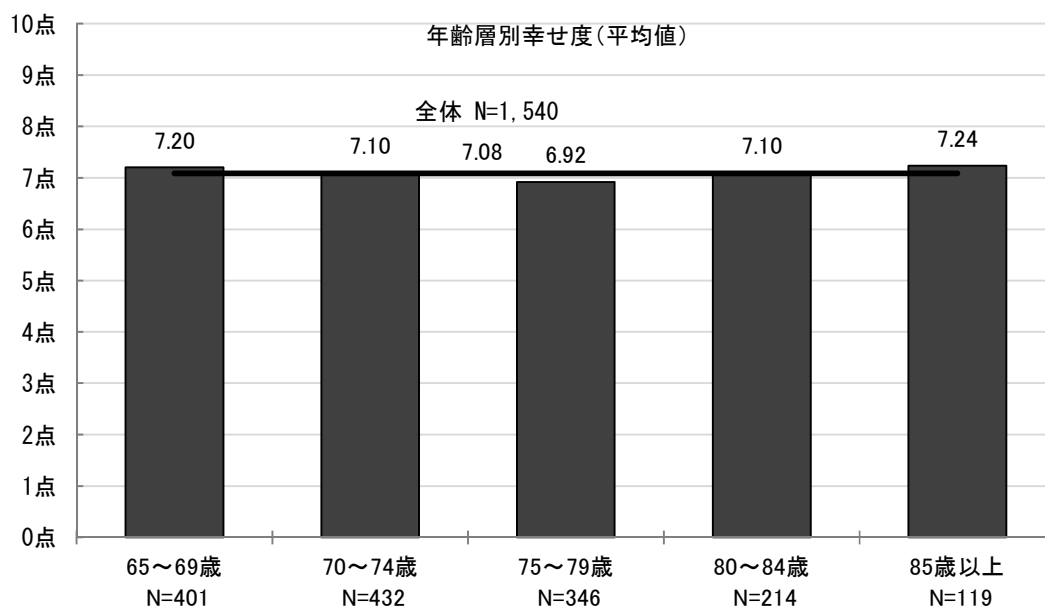
<問7 Q2と性別のクロス>

平均値は、『女性』で高く、『男性』で低くなっています。



<問7 Q2 と年齢層別のクロス>

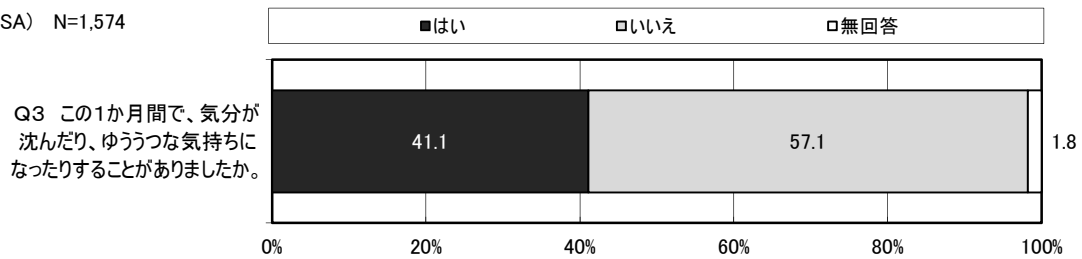
平均値は、『65～69歳』と『85歳以上』で高く、『75～79歳』で低くなっています。



Q3 この1か月間で、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(SA)

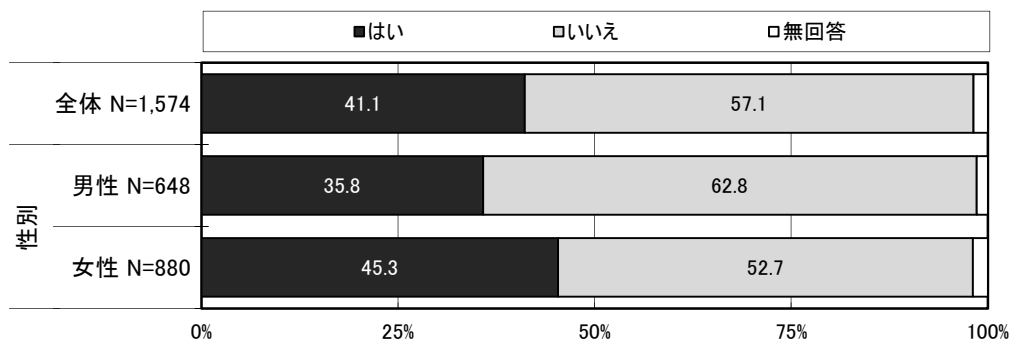
「いいえ」が57.1%を占めています。

(SA) N=1,574



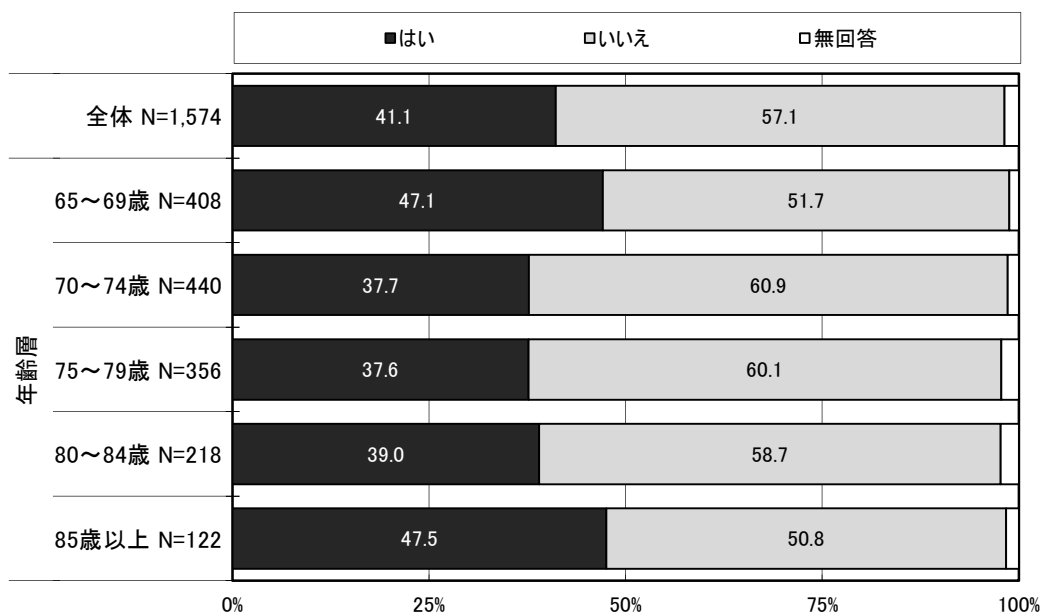
<問7 Q3 と性別のクロス>

『女性』では『男性』と比べて「はい」の割合が高くなっています。



<問7 Q3 と年齢層別のクロス>

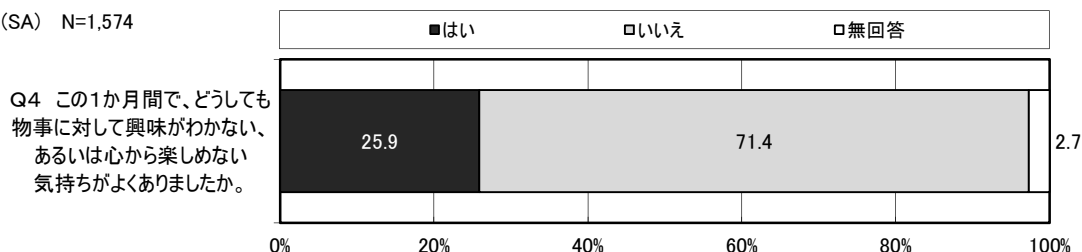
『65～69歳』及び『85歳以上』では他の年齢層と比べて「はい」の割合が高くなっています。



Q 4 この1か月間で、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない気持ちがよくありましたか。(SA)

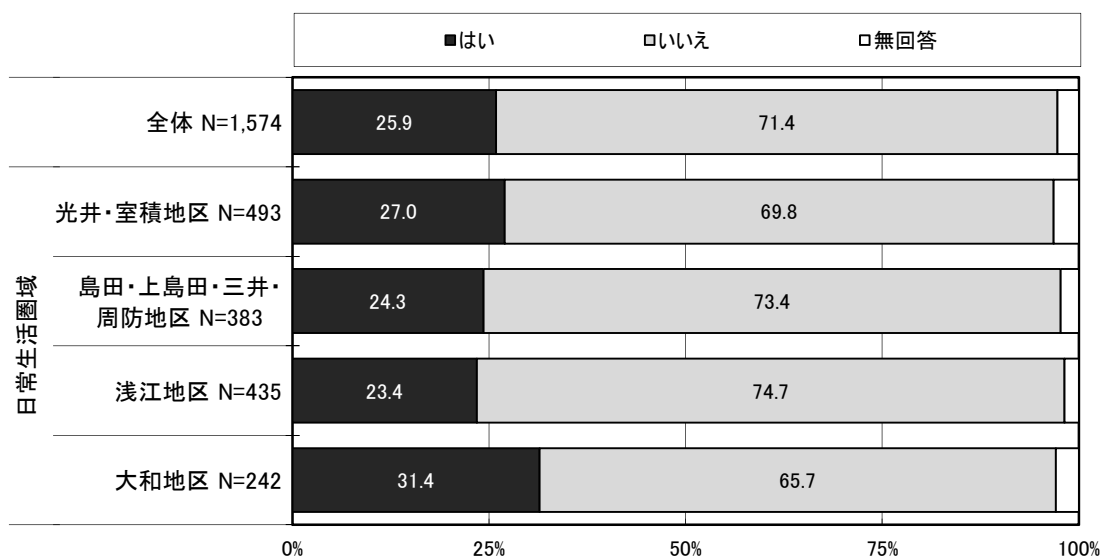
「いいえ」が71.4%を占めています。

(SA) N=1,574



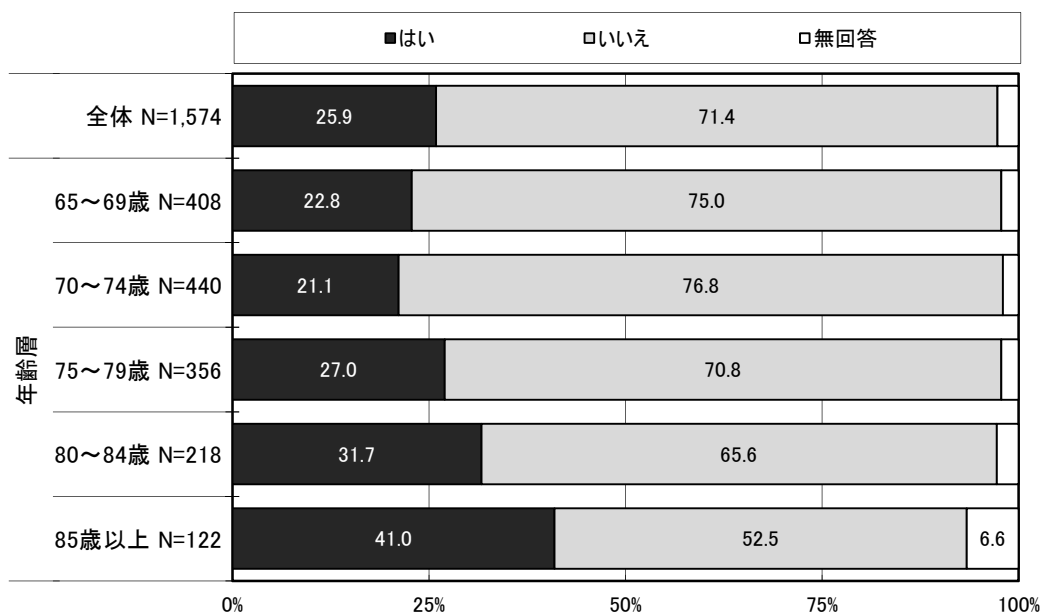
<問7 Q 4 と日常生活圏域別のクロス>

『大和地区』では他の圏域に比べて「はい」が高くなっています。



<問7 Q4 と年齢層別のクロス>

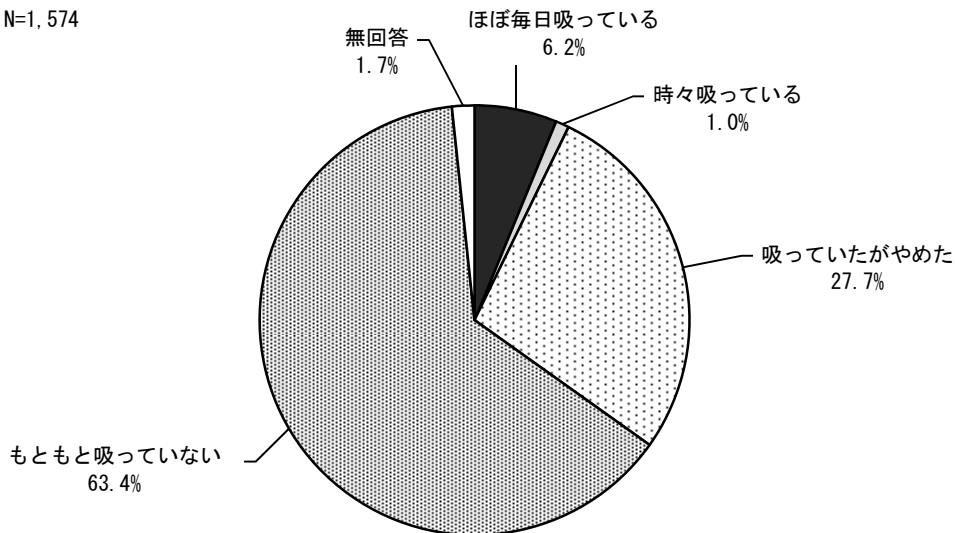
年齢層が高くなるほど「はい」の割合が高くなる傾向にあります。



Q 5 タバコは吸っていますか。(SA)

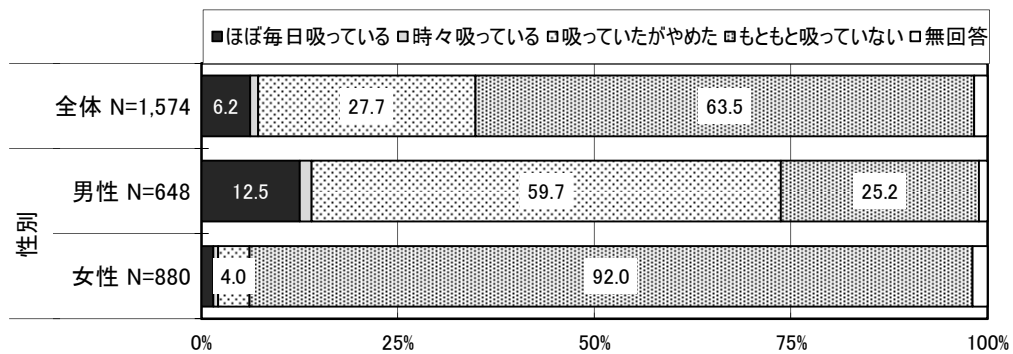
「もともと吸っていない」が63.4%を占めています。

(SA) N=1,574



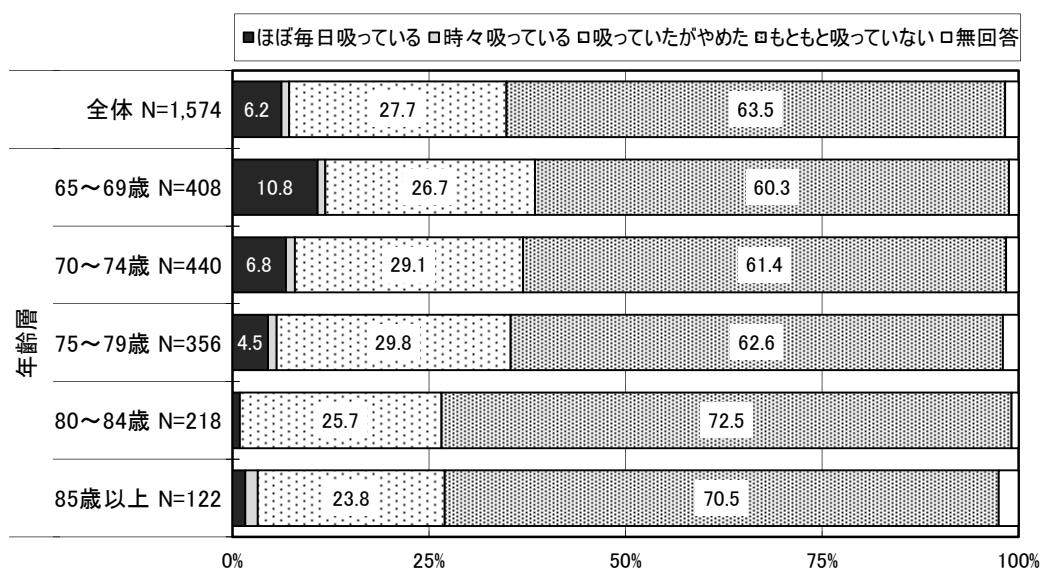
<問7 Q 5 と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「ほぼ毎日吸っている」と「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。



<問7Q5と年齢層別のクロス>

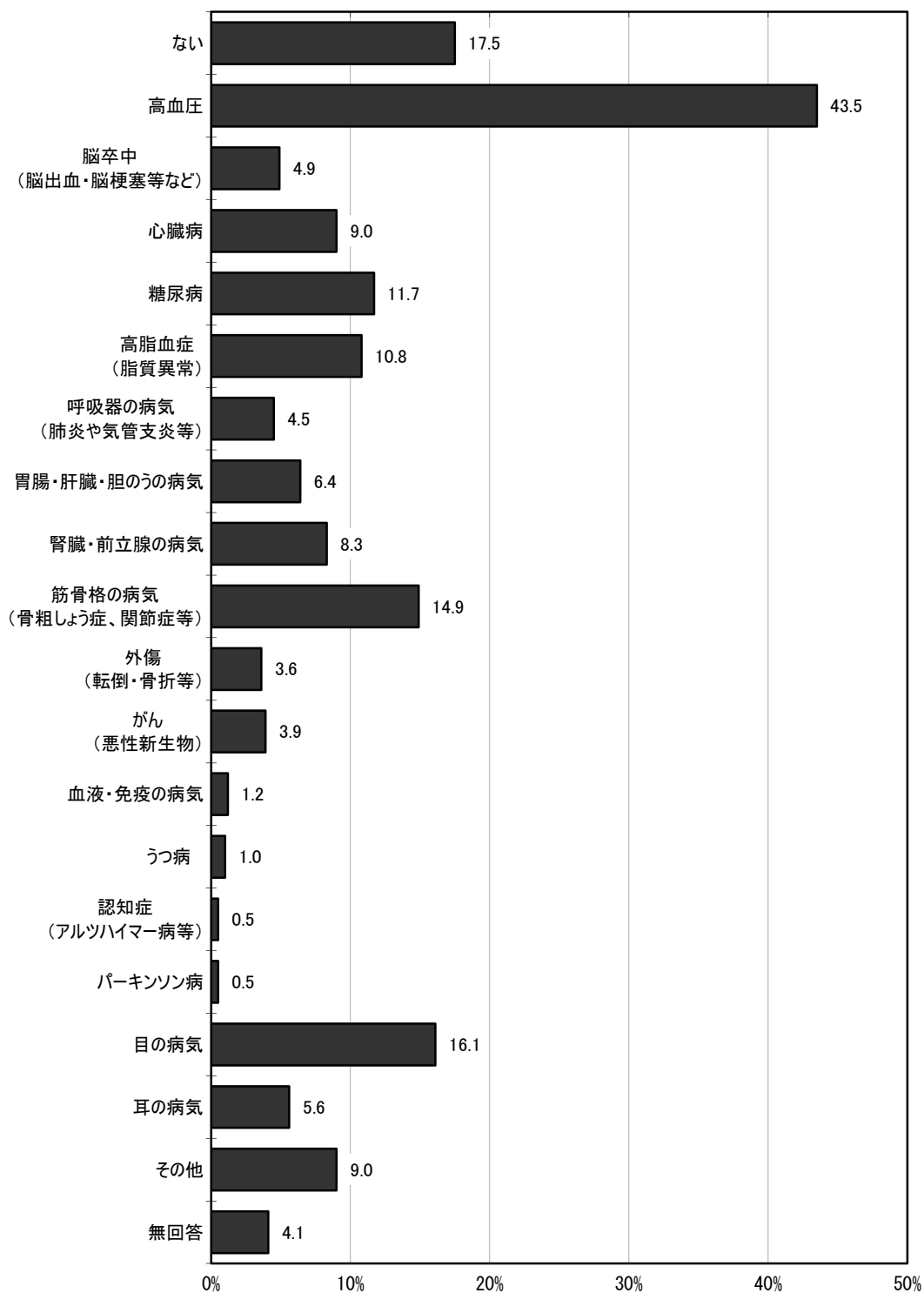
『80歳以上』では他の年齢層に比べて「もともと吸っていない」の割合が高く、『80～84歳』では「吸っている人」（「ほぼ毎日吸っている」＋「時々吸っている」）の割合が低くなっています。年齢層が高くなるほど「ほぼ毎日吸っている」の割合が低くなる傾向にあります。



Q 6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(MA)

「高血圧」が43.5%で突出しています。「ない」が17.5%、「目の病気」が16.1%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が14.9%が続いています。

(MA) N=1,574



<問7Q6と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「心臓病」、「糖尿病」、「腎臓・前立腺の病気」の割合が高くなっています。『女性』では『男性』と比べて「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」、「目の病気」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	男性 N=648	女性 N=880
ない	17.5	18.7	16.3
高血圧	43.5	44.4	43.0
脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	4.9	5.9	4.1
心臓病	9.0	12.2	7.0
糖尿病	11.7	15.6	8.8
高脂血症 (脂質異常)	10.8	9.0	12.6
呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	4.5	6.0	3.4
胃腸・肝臓・胆のうの病気	6.4	6.6	6.5
腎臓・前立腺の病気	8.3	17.7	1.5
筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	14.9	4.0	23.2
外傷 (転倒・骨折等)	3.6	1.9	4.9
がん (悪性新生物)	3.9	4.3	3.5
血液・免疫の病気	1.2	1.1	1.3
うつ病	1.0	0.9	1.1
認知症 (アルツハイマー病等)	0.5	0.5	0.6
パーキンソン病	0.5	0.5	0.6
目の病気	16.1	13.4	18.1
耳の病気	5.6	5.6	5.8
その他	9.0	7.3	10.0
無回答	4.1	2.9	5.0

<問7 Q6 と年齢層別のクロス>

『65～69歳』では他の年齢層と比べて「ない」の割合が高くなっています。『75歳以上』では「高血圧」の割合が高く、『80歳以上』では「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」と「目の病気」の割合が高くなっています。

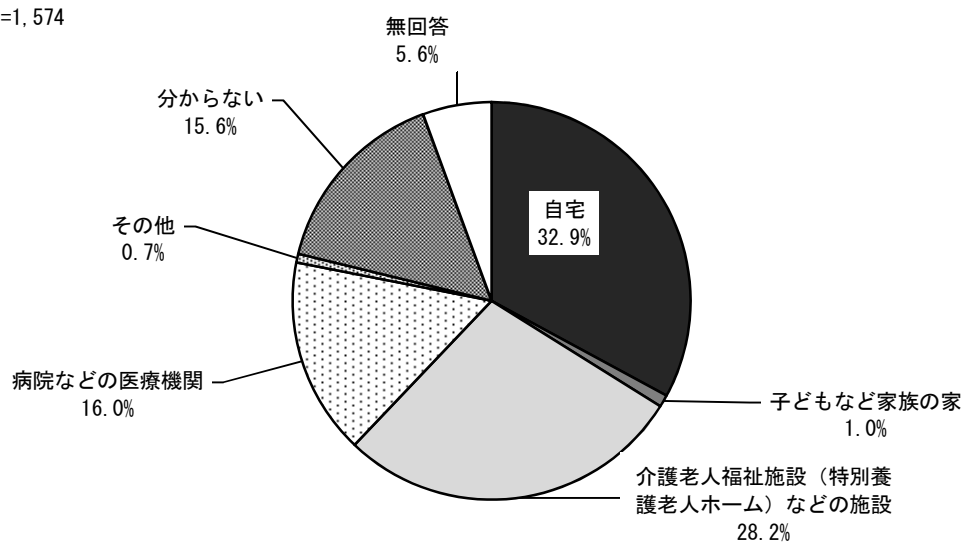
	全体 N=1,574	65～69歳 N=408	70～74歳 N=440	75～79歳 N=356	80～84歳 N=218	85歳以上 N=122
ない	17.5	28.4	17.3	11.2	12.8	9.0
高血圧	43.5	35.8	40.0	49.4	51.8	50.0
脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	4.9	2.9	5.2	5.6	5.0	7.4
心臓病	9.0	3.7	9.1	8.7	14.2	19.7
糖尿病	11.7	8.8	13.6	13.8	11.9	7.4
高脂血症 (脂質異常)	10.8	10.3	12.5	12.1	10.1	4.9
呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	4.5	4.7	2.7	4.2	6.9	6.6
胃腸・肝臓・胆のうの病気	6.4	3.2	6.8	7.3	8.7	9.8
腎臓・前立腺の病気	8.3	4.4	8.0	11.0	11.0	9.8
筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	14.9	9.6	11.6	17.4	22.9	21.3
外傷 (転倒・骨折等)	3.6	2.0	3.0	4.2	5.5	6.6
がん (悪性新生物)	3.9	4.9	3.9	2.5	5.0	2.5
血液・免疫の病気	1.2	1.2	0.2	2.5	1.8	-
うつ病	1.0	1.0	1.4	0.6	0.9	0.8
認知症 (アルツハイマー病等)	0.5	-	0.2	0.6	0.9	2.5
パーキンソン病	0.5	0.5	0.5	1.1	-	-
目の病気	16.1	11.8	13.9	16.9	23.4	22.1
耳の病気	5.6	4.9	4.8	4.8	7.8	9.0
その他	9.0	8.6	8.6	8.1	10.6	10.7
無回答	4.1	4.7	4.8	3.1	2.3	4.9

問8 その他

Q1 もし、あなたが日常生活を送る上で常時介護が必要になった場合（または現在必要としている場合）、どこで介護を受けたいですか。（受けていますか）（SA）

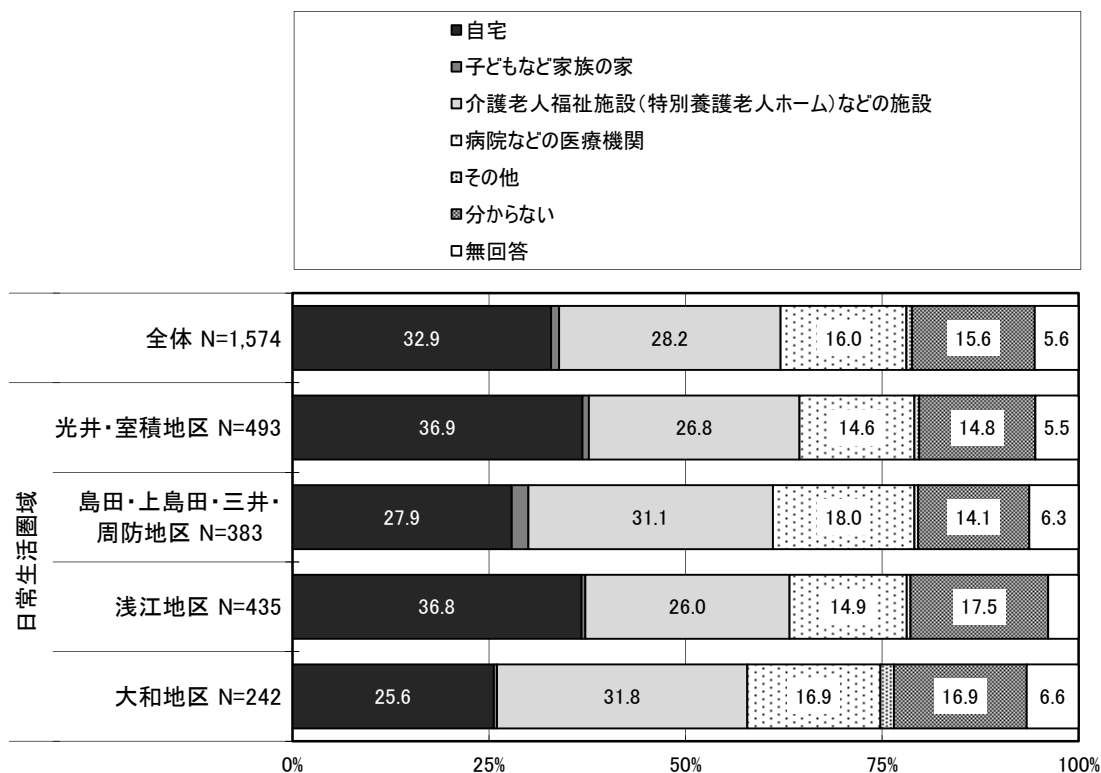
「自宅」が32.9%で最も高くなっています。次いで「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの施設」が28.2%、「病院などの医療機関」が16.0%が続いています。

(SA) N=1,574



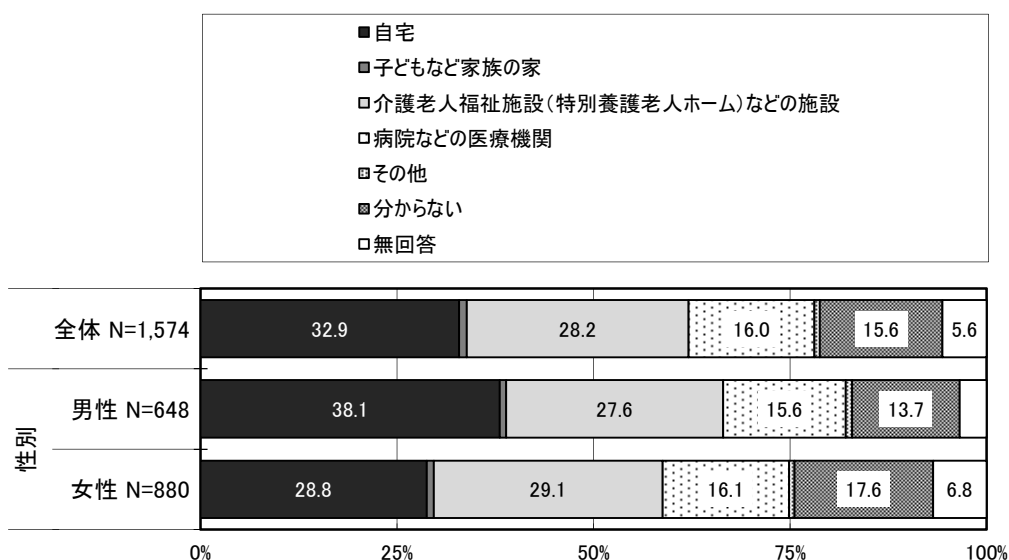
<問8 Q 1 と日常生活圏域別のクロス>

『光井・室積地区』と『浅江地区』では他の圏域と比べて「自宅」の割合が高くなっています。



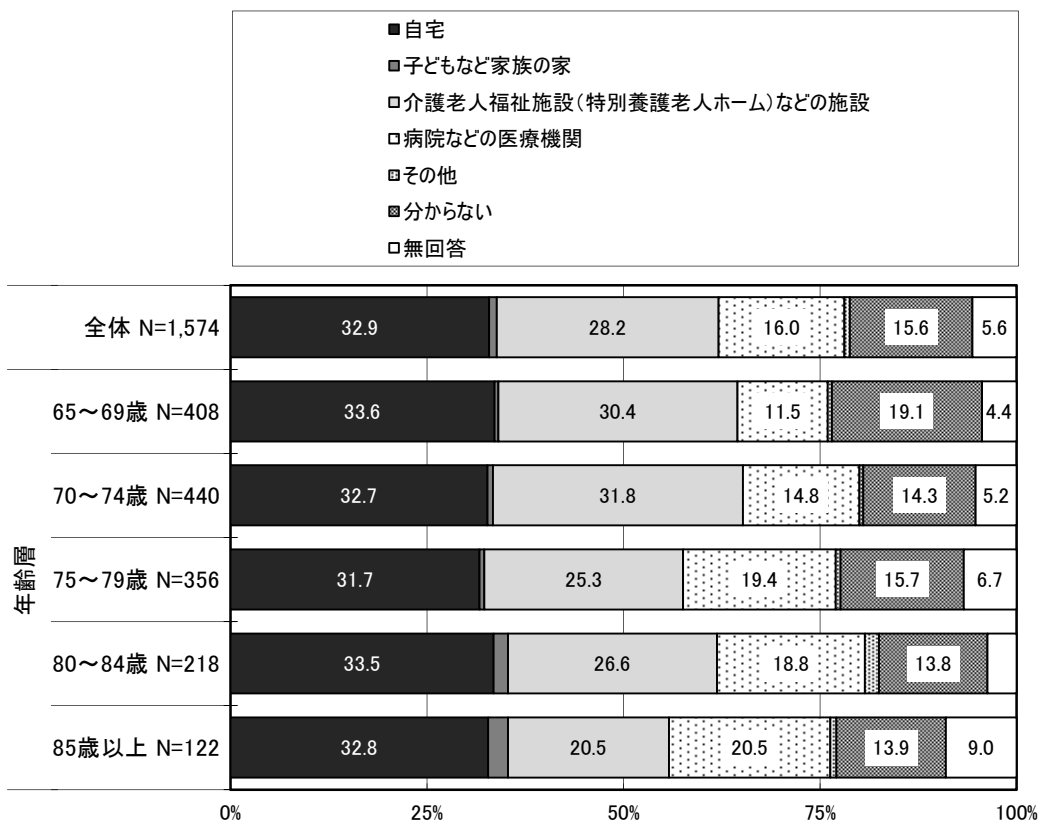
<問8 Q 1 と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「自宅」の割合が高くなっています。



<問8 Q1 と年齢層別のクロス>

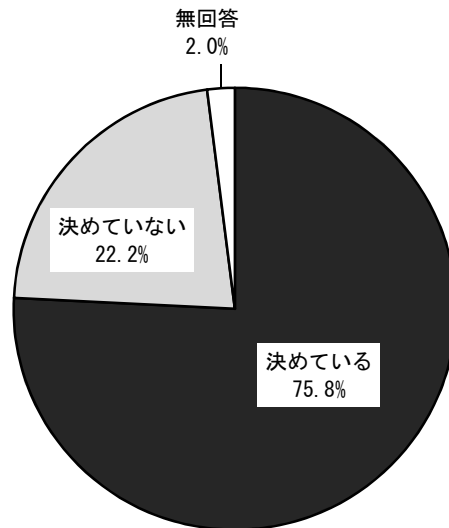
『65～74 歳』では他の年齢層と比べて「子どもなど家族の家」の割合が高くなっています。



Q 2 - 1 あなたは、診療や治療、健康相談をする「かかりつけ医」を決めていますか。(SA)

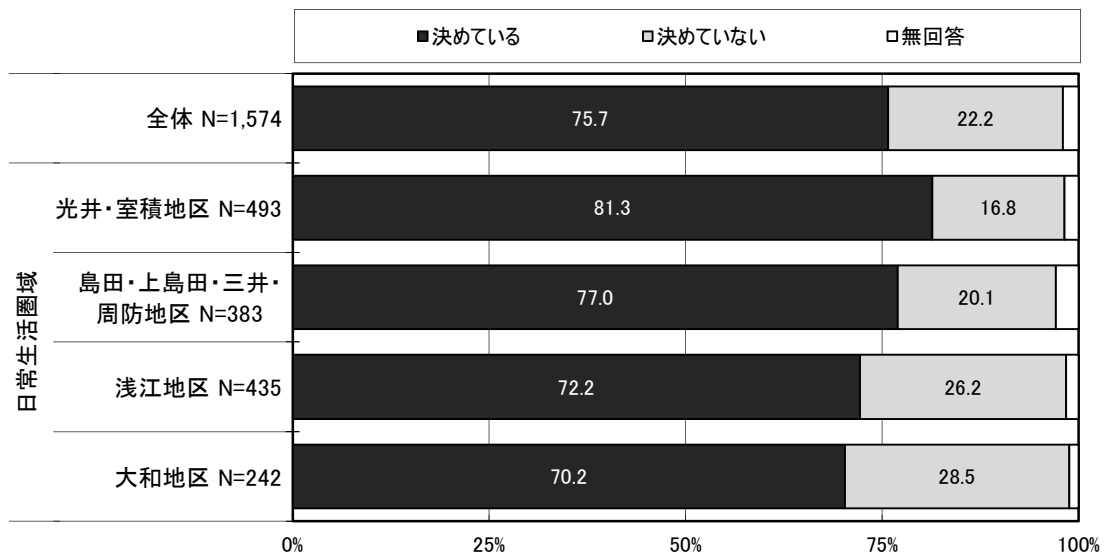
「決めている」が75.8%を占めています。

(SA) N=1,574



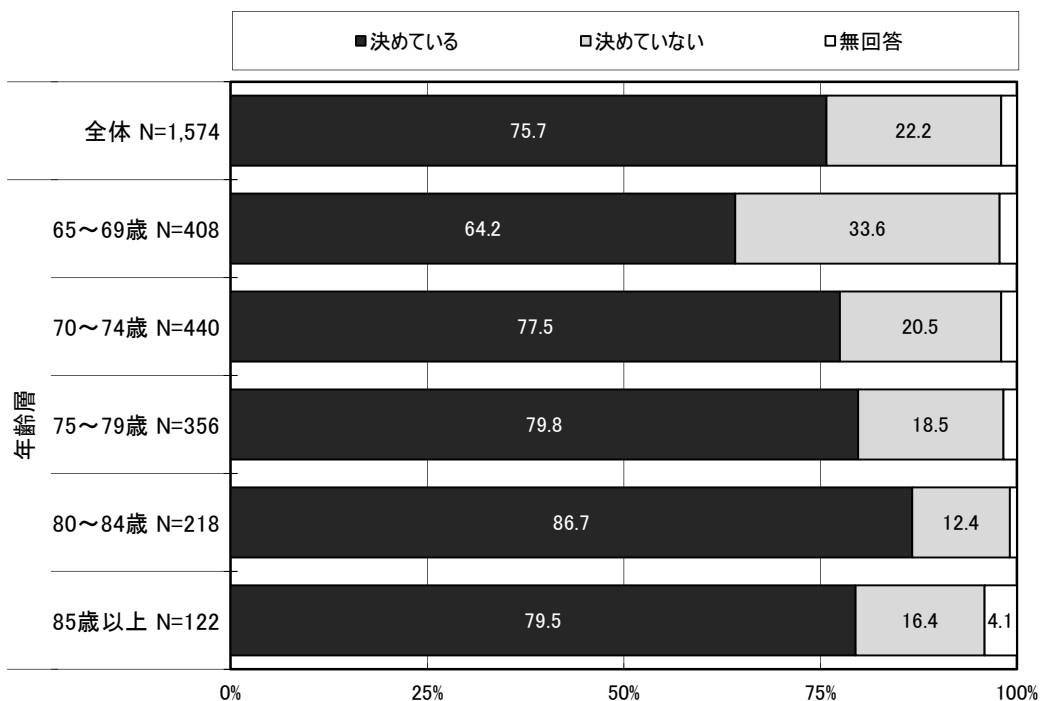
<問8 Q 2 - 1 と日常生活圏域別のクロス>

『光井・室積地区』では他の圏域と比べて「決めている」の割合が高くなっています。



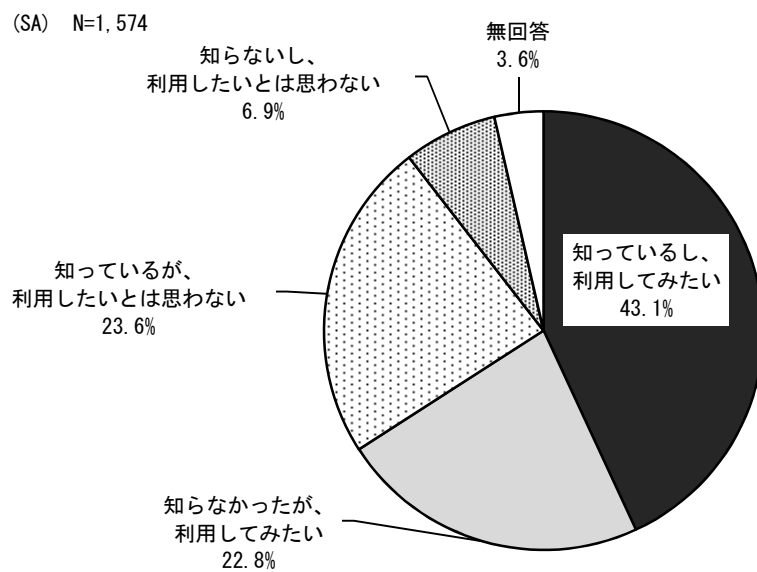
<問8Q2-1と年齢層別のクロス>

『65～69歳』では他の年齢層と比べて「決めていない」の割合が高くなっています。『80～84歳』では「決めている」の割合が高くなっています。



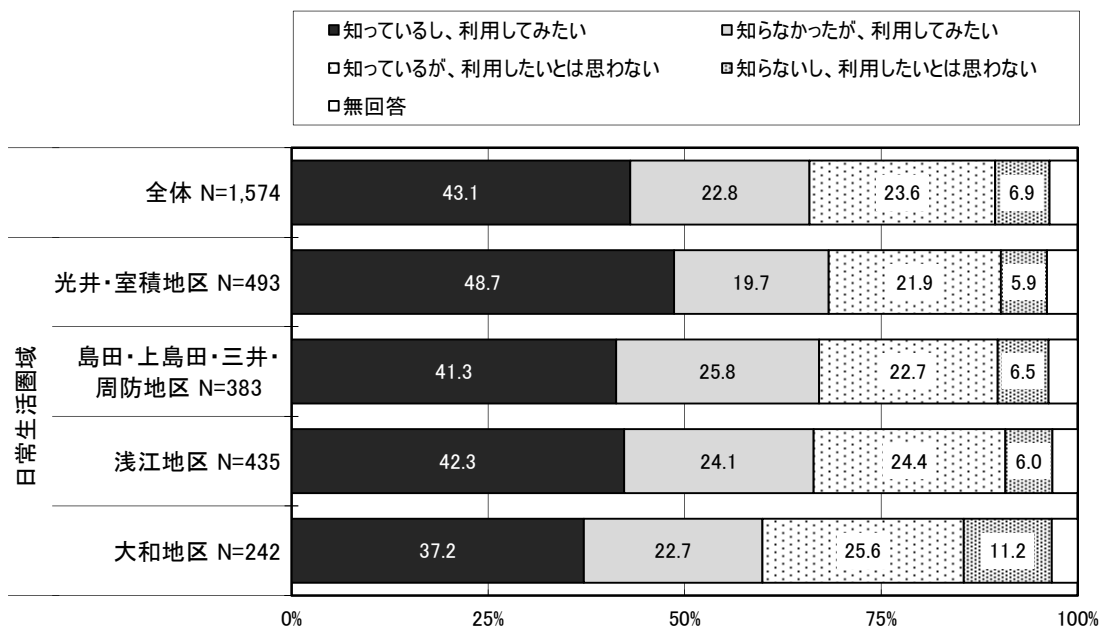
Q2-2 通院できなくなった場合などに、医師や看護師等の訪問を受けながら自宅で治療・療養する「在宅医療（訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療など）」という方法をご存じですか。また、利用してみたいと思いますか。
(SA)

「知っているし、利用してみたい」が 43.1%で最も高く、次いで「知っているが、利用したいとは思わない」が 23.6%、「知らなかったが、利用してみたい」が 22.8%で続いています。



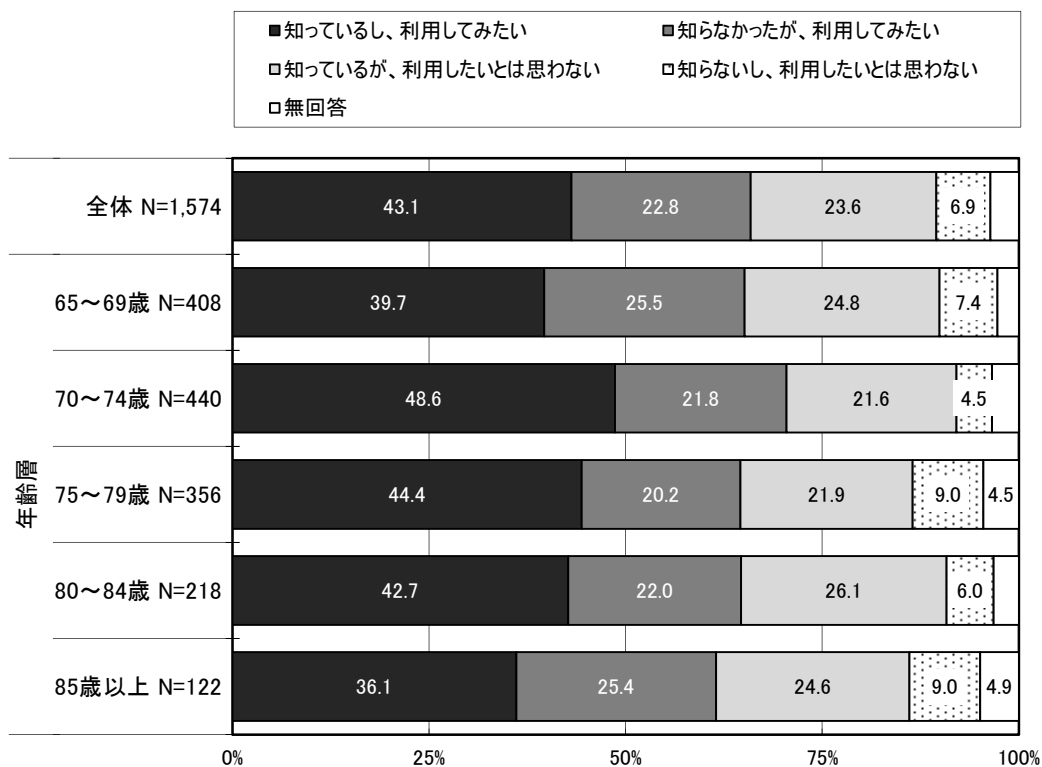
<問8 Q2-2と日常生活圏域別のクロス>

『光井・室積地区』では他の圏域と比べて「知っているし、利用してみたい」の割合が高くなっています。『大和地区』では「知らないし、利用したいとは思わない」の割合が高くなっています。



＜問8 Q2-2と年齢層別のクロス＞

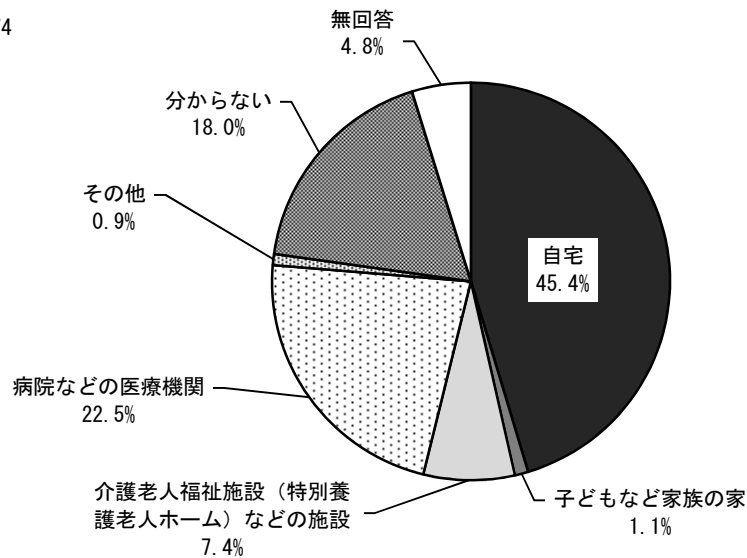
『70～74歳』では他の年齢層と比べて「知っているし、利用してみたい」の割合が高く、「利用したいと思う人」（「知っているし、利用してみたい」+「知らなかったが、利用してみたい」）の割合は7割以上となっています。



Q2-3 あなたは、どこで最期を迎えたいと考えていますか。(SA)

「自宅」が45.4%で突出しています。「病院などの医療機関」が22.5%、「分からない」が18.0%で続いています。

(SA) N=1,574

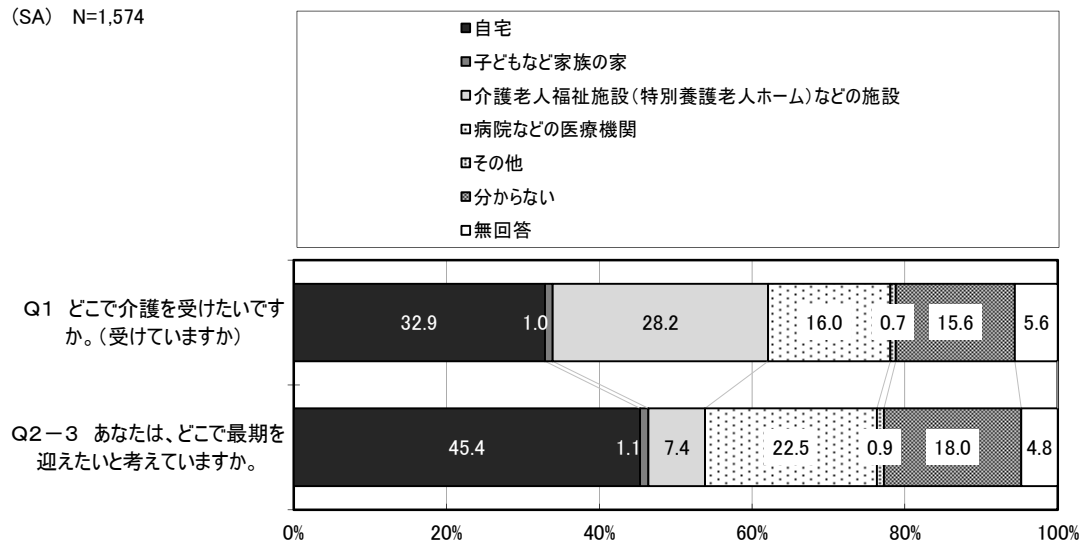


※Q1とQ2-3との比較

『治療を受けたい』のは「自宅」、「介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) などの施設」、「病院などの医療機関」の順ですが、『最期を迎えたい』のは「自宅」、「病院などの医療機関」、「分からない」の順となっています。「自宅」はどちらでも最もたくなっています。

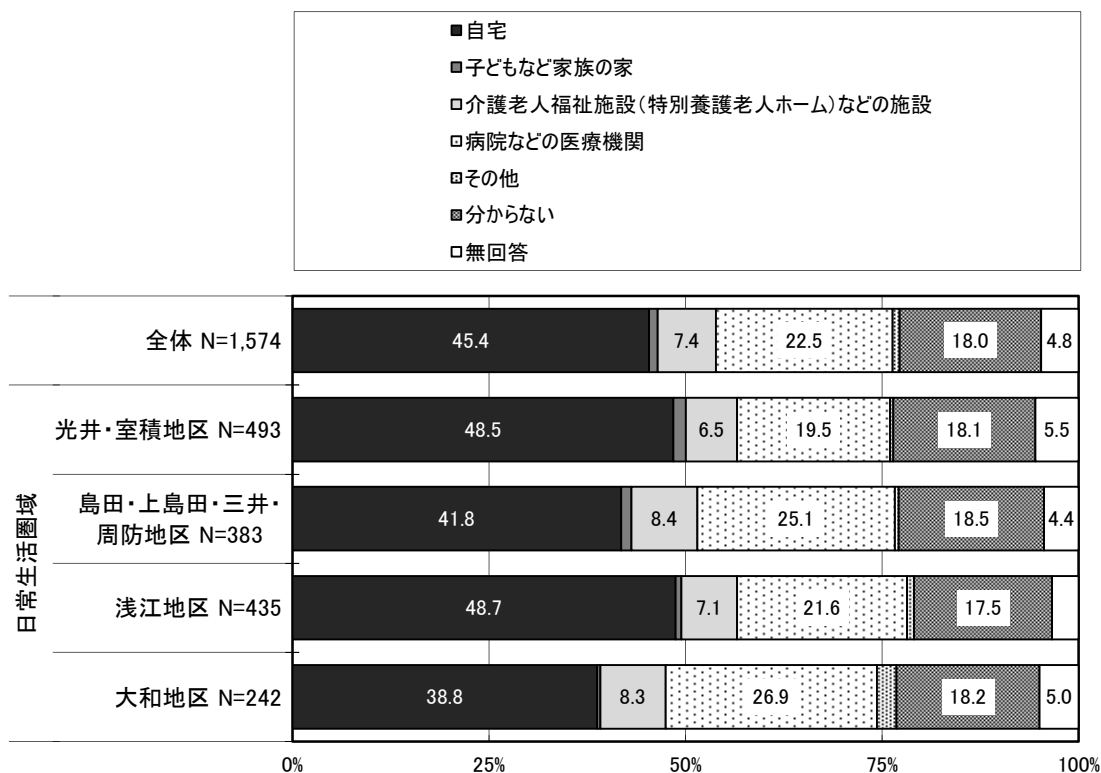
『治療を受けたい』に比べて『最期を迎えたい』の方が1.5倍近くになっています。

(SA) N=1,574



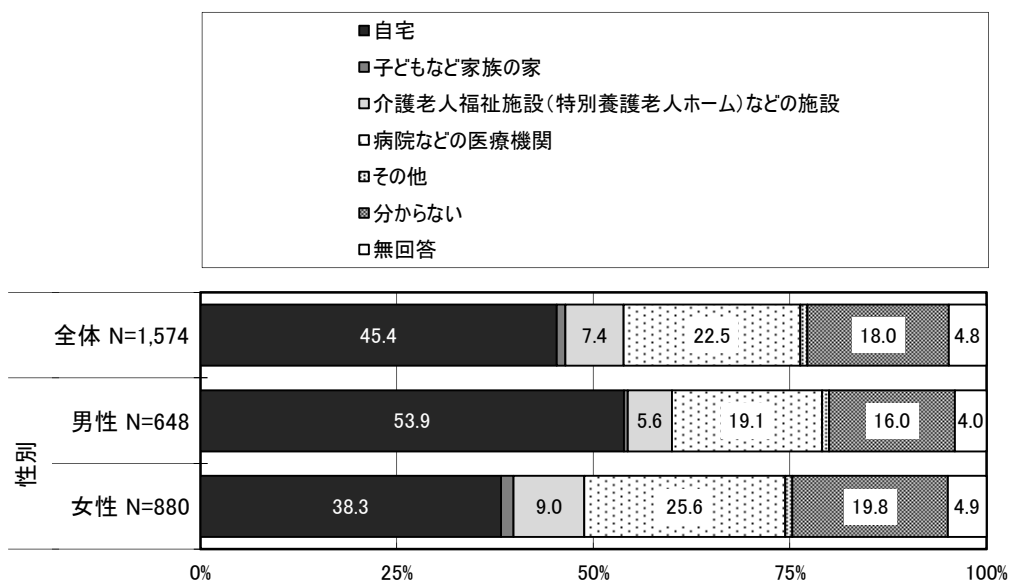
<問8Q2-3と日常生活圏域別のクロス>

『光井・室積地区』及び『浅江地区』では他の圏域と比べて「自宅」の割合が高くなっています。



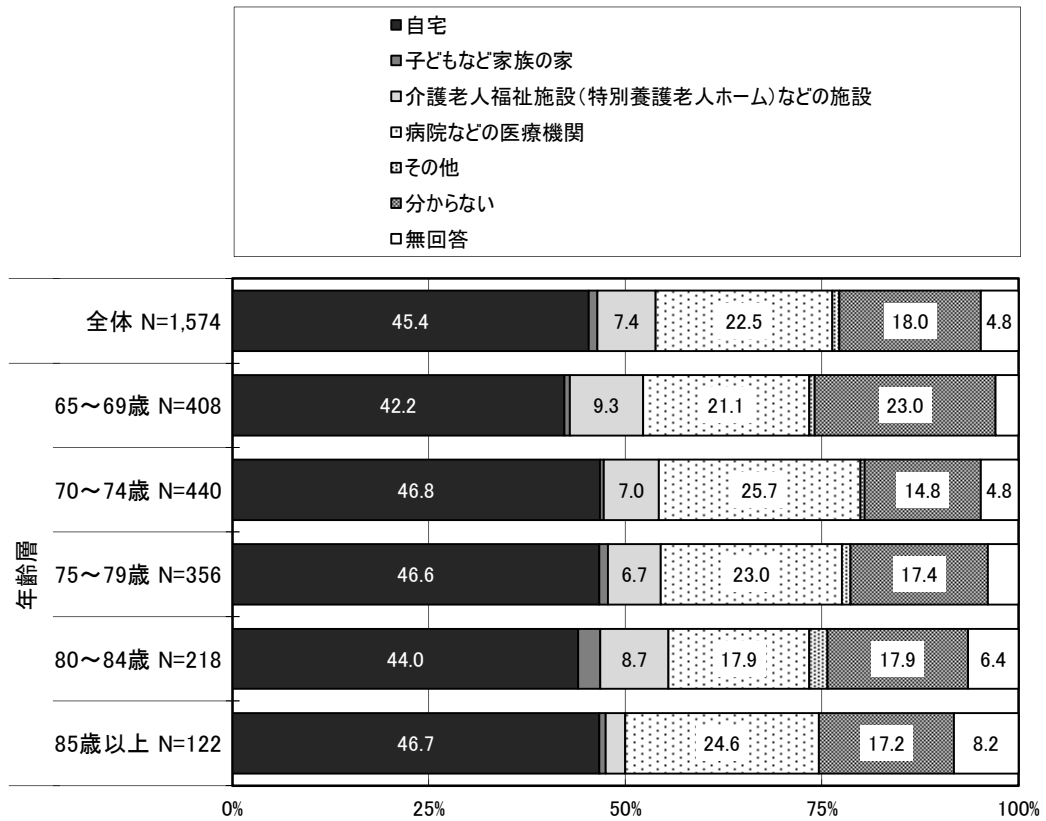
<問8Q2-3と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「自宅」の割合が高くなっています。



<問8 Q2-3と年齢層別のクロス>

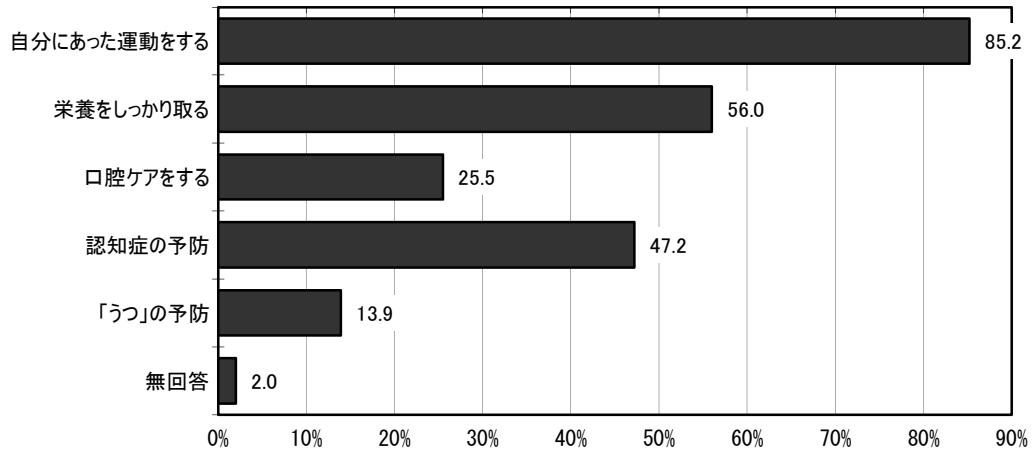
『65～69歳』では他の年齢層と比べて「分からない」の割合が高くなっています。



Q3 介護が必要な状態にならないために、あなた自身どのようなことを予防したいと考えますか。(MA)

「自分にあつた運動をする」が85.2%で最も高くなっています。次いで「栄養をしっかり取る」が56.0%、「認知症の予防」が47.2%で続いています。

(MA) N=1,574



<問8 Q3 と日常生活圏域別のクロス>

『大和地区』では他の圏域と比べて「口腔ケアをする」と「「うつ」の予防」の割合が低くなっています。

	全体 N=1,574	光井・室積 地区 N=493	島田・上島 田・三井・ 周防地区 N=383	浅江地区 N=435	大和地区 N=242
自分にあつた運動をする	85.2	85.4	84.3	86.4	85.1
栄養をしっかり取る	56.0	58.2	56.1	57.2	50.4
口腔ケアをする	25.5	28.2	27.2	24.6	20.2
認知症の予防	47.2	48.3	47.8	48.0	44.6
「うつ」の予防	13.9	15.8	14.9	14.3	8.7
無回答	2.0	1.8	2.6	0.9	2.5

<問8Q3と性別のクロス>

『女性』では『男性』と比べて「栄養をしっかり取る」、「口腔ケアをする」、「認知症の予防」、「うつ」の予防」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	男性 N=648	女性 N=880
自分にあつた運動をする	85.2	87.2	83.9
栄養をしっかり取る	56.0	44.3	65.3
口腔ケアをする	25.5	17.1	32.2
認知症の予防	47.2	38.9	53.6
「うつ」の予防	13.9	7.6	18.5
無回答	2.0	1.5	2.0

<問8Q3と年齢層別のクロス>

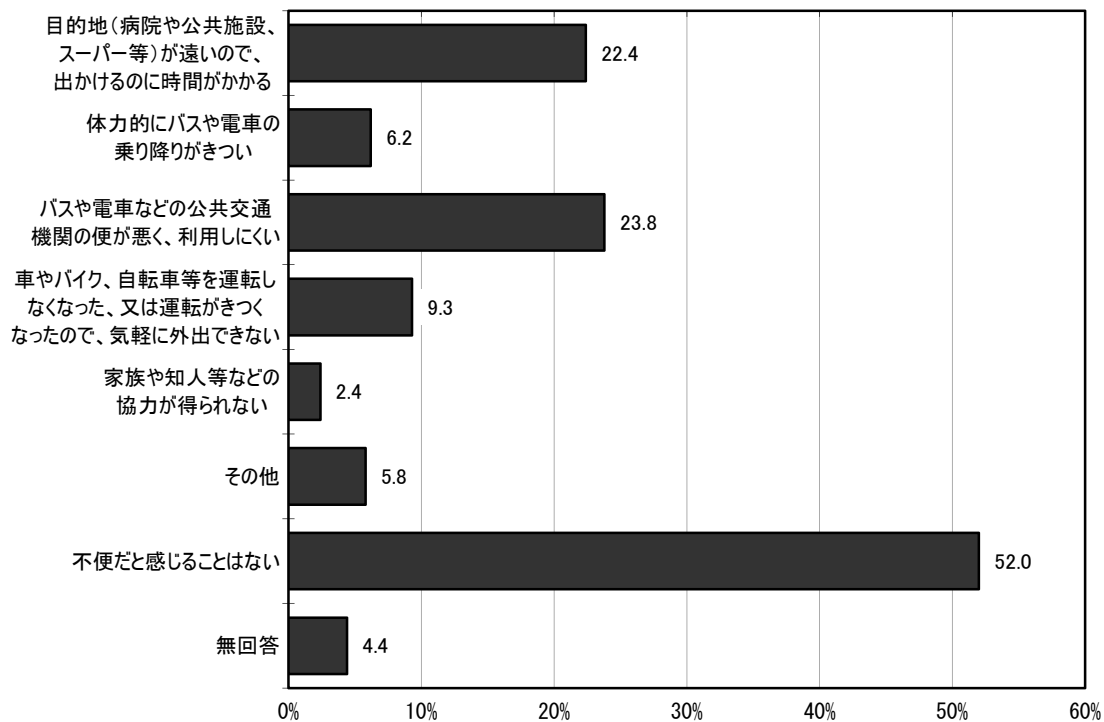
『85歳以上』では他の年齢層と比べて「栄養をしっかり取る」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	65～69歳 N=408	70～74歳 N=440	75～79歳 N=356	80～84歳 N=218	85歳以上 N=122
自分にあつた運動をする	85.2	86.5	86.8	87.9	82.6	75.4
栄養をしっかり取る	56.0	58.3	53.4	53.9	58.3	62.3
口腔ケアをする	25.5	28.7	26.1	25.3	23.9	19.7
認知症の予防	47.2	50.5	48.4	46.6	45.0	41.8
「うつ」の予防	13.9	13.5	14.5	12.6	14.7	17.2
無回答	2.0	2.7	0.9	1.7	1.4	3.3

Q 4 - 1 あなたが外出の際、不便だと感じることは何ですか。(MA)

「不便だと感じることはない」が52.0%で突出しています。「バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい」が23.8%、「目的地（病院や公共施設、スーパー等）が遠いので、出かけるのに時間がかかる」が22.4%で続いています。

(MA) N=1,574



<問8Q4-1と日常生活圏域別のクロス>

『光井・室積地区』では他の圏域と比べて「バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい」の割合が高くなっています。『大和地区』では「目的地（病院や公共施設、スーパー等）が遠いので、出かけるのに時間がかかる」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	光井・室積 地区 N=493	島田・上島 田・三井・ 周防地区 N=383	浅江地区 N=435	大和地区 N=242
目的地（病院や公共施設、スーパー等）が遠いので、出かけるのに時間がかかる	22.4	26.0	24.0	11.0	33.9
体力的にバスや電車の乗り降りがきつい	6.2	5.7	8.1	5.3	5.8
バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい	23.8	29.0	27.9	13.3	26.0
車やバイク、自転車等を運転しなくなった、又は運転がきつくなったので、気軽に外出できない	9.3	8.5	8.4	10.8	10.3
家族や知人等などの協力が得られない	2.4	1.0	3.4	2.8	2.5
その他	5.8	5.9	6.8	5.1	6.2
不便だと感じることはない	52.0	49.3	48.3	63.7	41.3
無回答	4.4	4.5	4.7	3.7	5.0

<問8Q4-1と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「不便だと感じることはない」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	男性 N=648	女性 N=880
目的地（病院や公共施設、スーパー等）が遠いので、出かけるのに時間がかかる	22.4	18.4	25.3
体力的にバスや電車の乗り降りがきつい	6.2	4.0	7.5
バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい	23.8	20.5	26.6
車やバイク、自転車等を運転しなくなった、又は運転がきつくなったので、気軽に外出できない	9.3	8.5	9.9
家族や知人等などの協力が得られない	2.4	2.5	2.0
その他	5.8	3.7	7.5
不便だと感じることはない	52.0	60.8	45.6
無回答	4.4	2.8	5.2

<問8Q4-1と年齢層別のクロス>

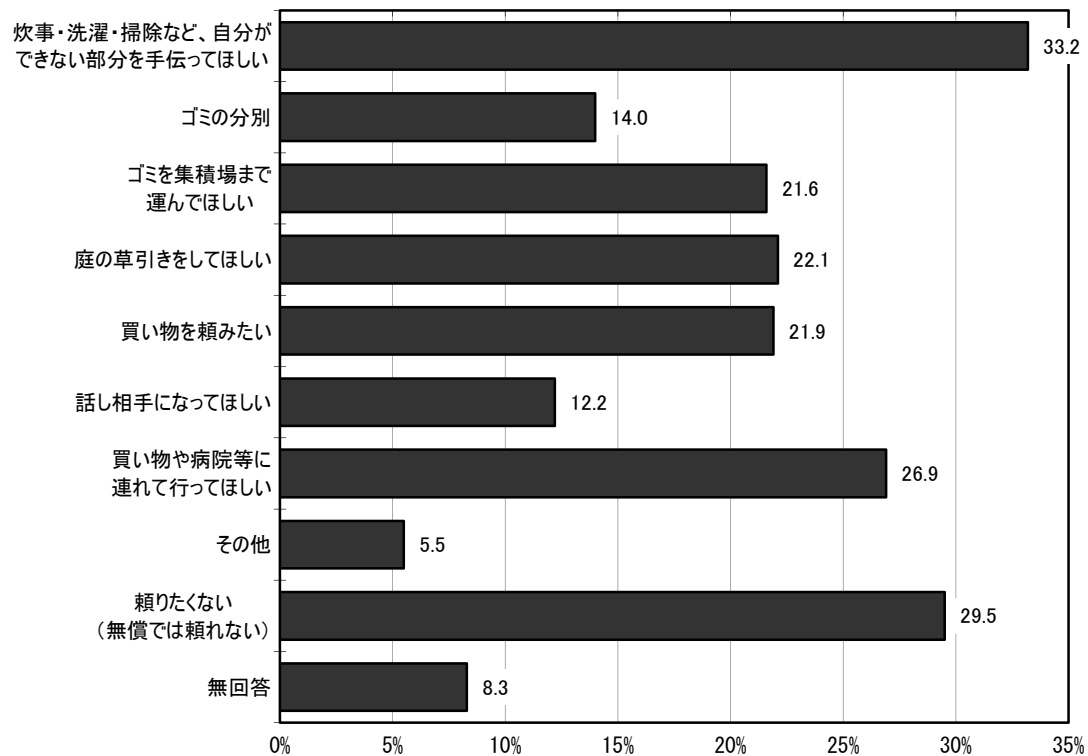
『65～69歳』では他の年齢層と比べて「不便だと感じることはない」の割合が高くなっています。『80歳以上』では「目的地（病院や公共施設、スーパー等）が遠いので、出かけるのに時間がかかる」と「体力的にバスや電車の乗り降りがきつい」の割合が高く、『85歳以上』では「バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい」、「車やバイク、自転車等を運転しなくなった、又は運転がきつくなったので、気軽に外出できない」、「家族や知人等などの協力が得られない」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	65～69歳 N=408	70～74歳 N=440	75～79歳 N=356	80～84歳 N=218	85歳以上 N=122
目的地（病院や公共施設、スーパー等）が遠いので、出かけるのに時間がかかる	22.4	17.2	18.2	22.8	32.6	37.7
体力的にバスや電車の乗り降りがきつい	6.2	2.5	1.1	5.6	13.8	23.8
バスや電車などの公共交通機関の便が悪く、利用しにくい	23.8	22.5	21.4	23.0	28.0	31.1
車やバイク、自転車等を運転しなくなった、又は運転がきつくなったので、気軽に外出できない	9.3	3.7	6.1	13.2	13.8	20.5
家族や知人等などの協力が得られない	2.4	1.2	0.7	3.4	2.8	8.2
その他	5.8	5.1	5.2	6.5	6.9	8.2
不便だと感じることはない	52.0	61.5	60.0	50.6	36.7	21.3
無回答	4.4	2.9	5.7	2.8	5.5	7.4

Q 4 - 2 もし、あなたが在宅生活を送る中で、自身では解決できない困りごとを地域の人に頼ることができるとしたら、どんなことを頼みたいですか。
(MA)

「炊事・洗濯・掃除など、自分ができない部分を手伝ってほしい」が 33.2%で最も高くなっています。次いで「頼りたくない（無償では頼れない）」が 29.5%、「買い物や病院等に連れて行ってほしい」が 26.9%が続いています。

(MA) N=1,574



<問8Q4-2と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「頼りたくない（無償では頼れない）」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	男性 N=648	女性 N=880
炊事・洗濯・掃除など、自分 ができない部分を手伝ってほ しい	33.2	36.4	31.0
ゴミの分別	14.0	14.4	13.9
ゴミを集積場まで運んでほし い	21.6	19.6	23.4
庭の草引きをしてほしい	22.1	18.2	24.9
買い物を頼みたい	21.9	19.4	24.3
話し相手になってほしい	12.2	11.1	13.2
買い物や病院等に 連れて行ってほしい	26.9	24.8	28.6
その他	5.5	5.2	5.8
頼りたくない (無償では頼れない)	29.5	34.6	25.8
無回答	8.3	5.9	9.8

<問8Q4-2と年齢層別のクロス>

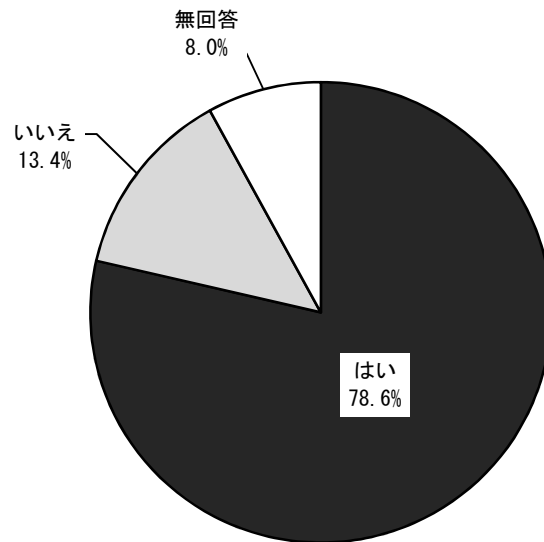
『65～69歳』では他の年齢層と比べて「頼りたくない（無償では頼れない）」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	65～69歳 N=408	70～74歳 N=440	75～79歳 N=356	80～84歳 N=218	85歳以上 N=122
炊事・洗濯・掃除など、自分 ができない部分を手伝ってほ しい	33.2	33.1	33.9	37.4	31.7	23.8
ゴミの分別	14.0	12.3	17.3	13.5	14.2	9.8
ゴミを集積場まで運んでほし い	21.6	20.6	24.8	20.5	20.2	21.3
庭の草引きをしてほしい	22.1	21.6	22.5	22.5	21.1	23.0
買い物を頼みたい	21.9	22.1	23.4	22.2	20.6	19.7
話し相手になってほしい	12.2	13.0	12.7	10.7	10.6	14.8
買い物や病院等に 連れて行ってほしい	26.9	25.0	26.6	28.1	27.1	30.3
その他	5.5	4.4	5.2	7.0	7.3	4.1
頼りたくない (無償では頼れない)	29.5	36.5	27.7	25.6	27.5	25.4
無回答	8.3	5.9	7.3	9.0	9.2	14.8

Q 4 - 3 近くに住む人が身体的な理由から日常生活の中に困りごとがあるとき、あなたは手をかしてあげようと思いますか。(SA)

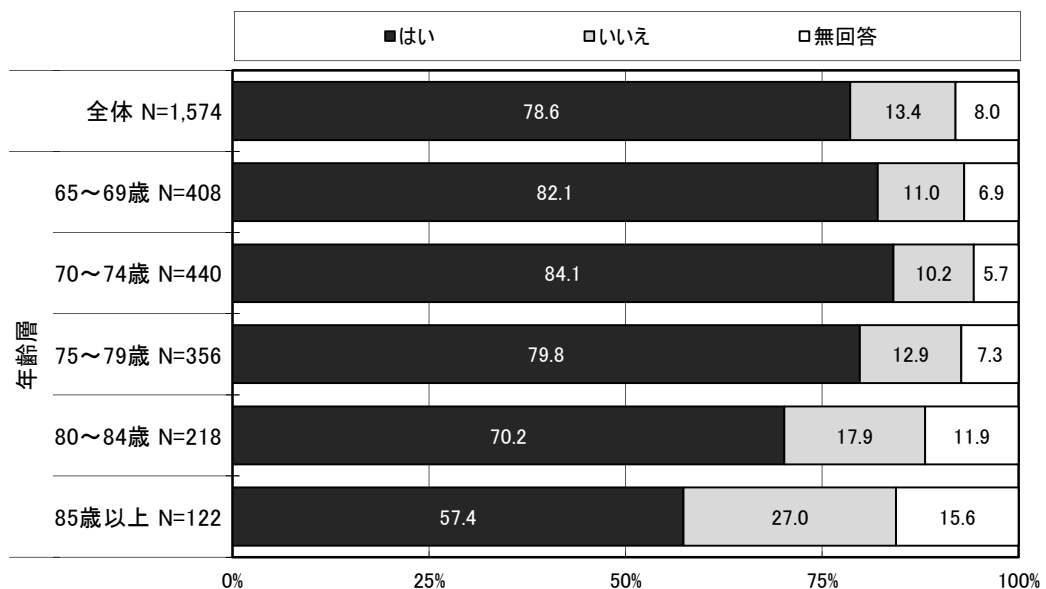
「はい」が78.6%を占めています。

(SA) N=1,574



<問8 Q 4 - 3 と年齢層別のクロス>

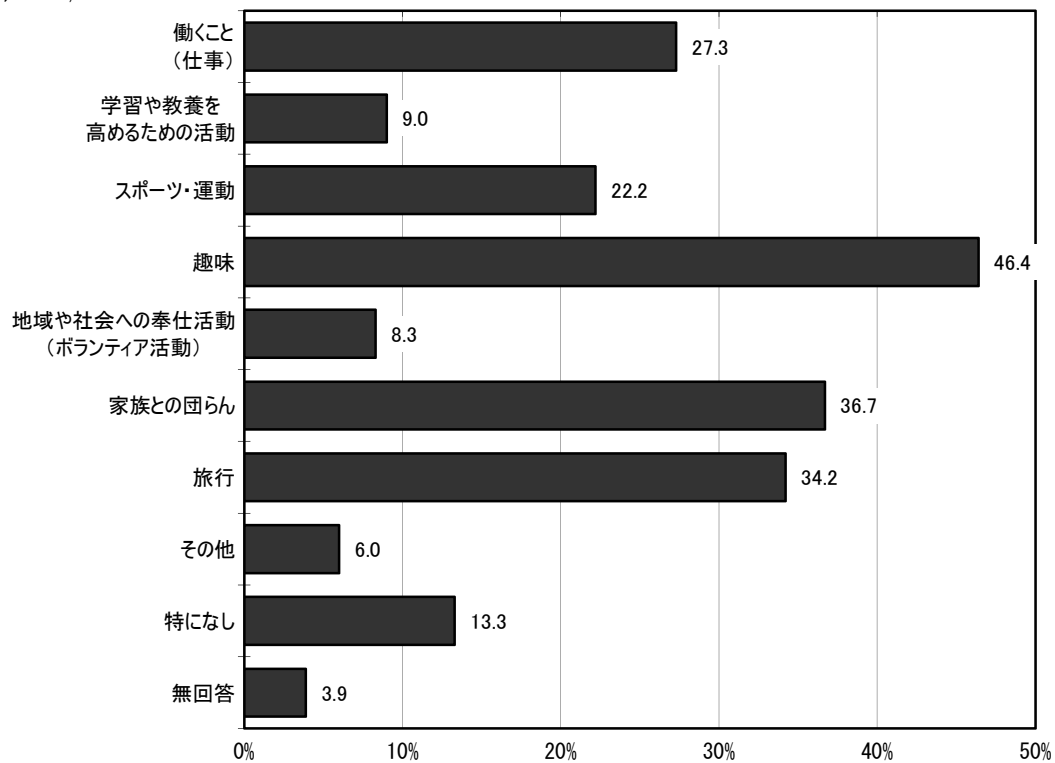
年齢層が高くなるほど「はい」の割合が低くなる傾向にあります。



Q5-1 あなたが現在、生きがいを感じることは何ですか。(MA)

「趣味」が46.4%で最も高くなっています。次いで「家族との団らん」が36.7%、「旅行」が34.2%、「働くこと（仕事）」が27.3%が続いています。

(MA) N=1,574



<問8Q5-1と日常生活圏域別のクロス>

『浅江地区』では他の圏域と比べて「働くこと（仕事）」の割合が低くなっています。『大和地区』では「働くこと（仕事）」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	光井・室積 地区 N=493	島田・上島 田・三井・ 周防地区 N=383	浅江地区 N=435	大和地区 N=242
働くこと (仕事)	27.3	30.4	27.2	20.9	33.5
学習や教養を高めるための活動	9.0	8.9	10.4	9.9	6.2
スポーツ・運動	22.2	21.7	21.4	24.4	20.2
趣味	46.4	45.8	49.3	45.5	45.0
地域や社会への奉仕活動 (ボランティア活動)	8.3	8.5	11.0	7.4	5.8
家族との団らん	36.7	37.3	37.6	36.1	36.8
旅行	34.2	35.1	30.3	36.1	36.4
その他	6.0	6.9	5.2	6.0	5.8
特になし	13.3	11.4	11.7	16.3	13.6
無回答	3.9	3.4	4.2	4.6	3.3

<問8Q5-1と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「働くこと（仕事）」と「スポーツ・運動」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	男性 N=648	女性 N=880
働くこと (仕事)	27.3	32.3	24.1
学習や教養を高めるための活動	9.0	9.3	9.3
スポーツ・運動	22.2	27.2	18.9
趣味	46.4	48.5	45.1
地域や社会への奉仕活動 (ボランティア活動)	8.3	9.4	7.7
家族との団らん	36.7	36.3	37.5
旅行	34.2	32.4	36.4
その他	6.0	5.7	6.4
特になし	13.3	12.8	13.4
無回答	3.9	3.4	4.1

<問8Q5-1と年齢層別のクロス>

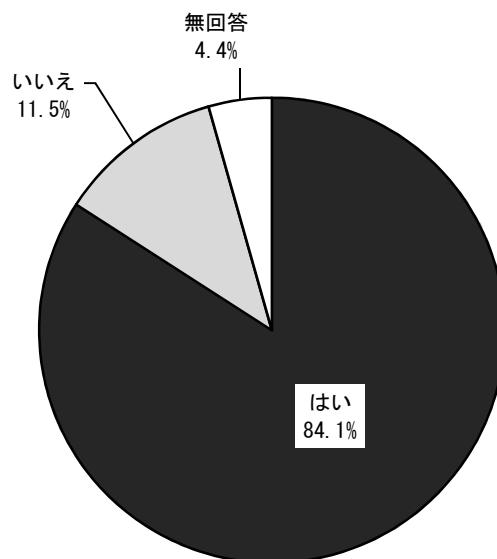
『65～69歳』では他の年齢層と比べて「働くこと（仕事）」の割合が高くなっています。
 『70～74歳』では「家族との団らん」の割合が高くなっています。『85歳以上』では「特になし」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	65～69歳 N=408	70～74歳 N=440	75～79歳 N=356	80～84歳 N=218	85歳以上 N=122
働くこと （仕事）	27.3	32.6	25.9	26.1	25.2	23.8
学習や教養を高めるための活動	9.0	12.0	10.0	7.0	8.3	4.9
スポーツ・運動	22.2	23.5	26.6	28.7	11.9	3.3
趣味	46.4	47.8	50.9	45.5	47.2	28.7
地域や社会への奉仕活動 （ボランティア活動）	8.3	8.1	10.7	9.6	5.5	2.5
家族との団らん	36.7	38.5	42.3	32.9	33.5	29.5
旅行	34.2	37.5	37.7	37.1	27.1	18.9
その他	6.0	5.9	6.1	4.5	9.2	4.9
特になし	13.3	10.0	11.8	13.2	15.6	24.6
無回答	3.9	2.7	3.4	4.5	4.1	8.2

Q5-2 あなたは、最寄りの自治会館、老人憩いの家又はコミュニティセンター（旧公民館）など、普段、自治会活動が行われる場所へ一人で歩いて行くことができますか。（SA）

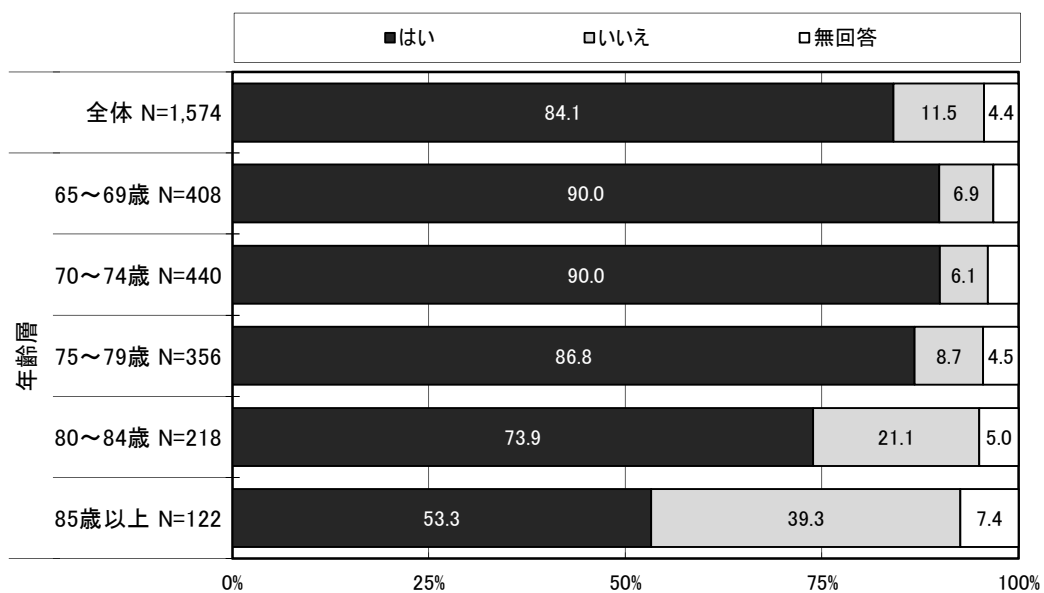
「はい」が84.1%を占めています。

(SA) N=1,574



<問8 Q5-2 と年齢層別のクロス>

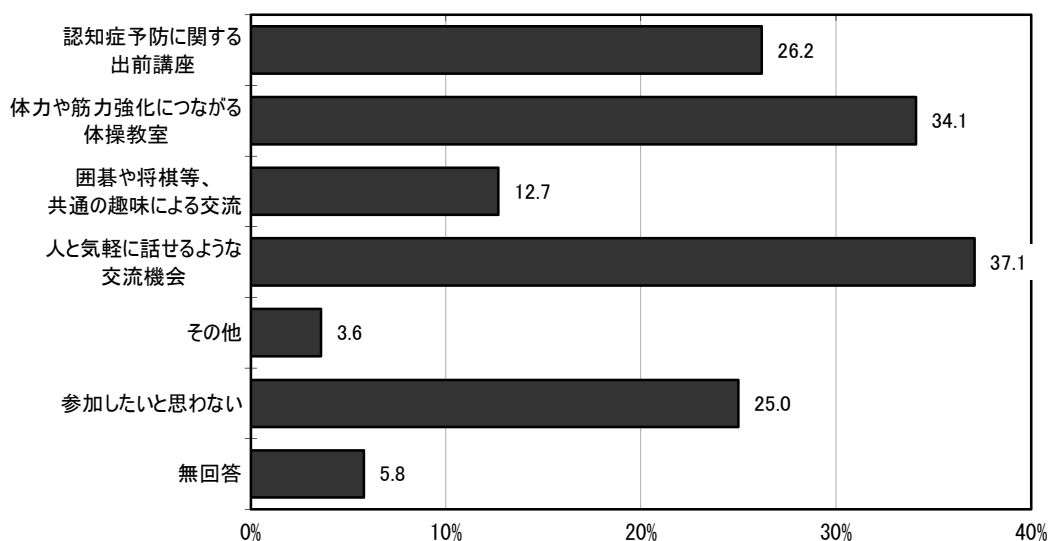
年齢層が高くなるほど「はい」の割合が低くなる傾向にあります。



Q5-3 あなたは、最寄りの自治会館、老人憩いの家又はコミュニティセンター（旧公民館）などで開催される催しへ参加するとしたら、どんなものに参加したいですか。（MA）

「人と気軽に話せるような交流機会」が37.1%で最も高くなっています。次いで「体力や筋力強化につながる体操教室」が34.1%、「認知症予防に関する出前講座」が26.2%で続いています。

(MA) N=1,574



<問8 Q5-3 と日常生活圏域別のクロス>

『大和地区』では他の圏域と比べて「人と気軽に話せるような交流機会」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	光井・室積 地区 N=493	島田・上島 田・三井・ 周防地区 N=383	浅江地区 N=435	大和地区 N=242
認知症予防に関する出前講座	26.2	28.6	26.6	23.0	27.3
体力や筋力強化につながる体操教室	34.1	37.7	33.2	33.3	30.2
囲碁や将棋等、共通の趣味による交流	12.7	14.0	11.0	13.3	12.0
人と気軽に話せるような交流機会	37.1	37.9	35.5	33.6	44.2
その他	3.6	3.7	4.7	3.2	2.9
参加したいと思わない	25.0	23.5	25.6	28.7	20.7
無回答	5.8	5.3	5.7	5.3	7.0

<問8Q5-3と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「囲碁や将棋等、共通の趣味による交流」と「参加したいと思わない」の割合が高くなっています。『女性』では『男性』と比べて「体力や筋力強化につながる体操教室」と「人と気軽に話せるような交流機会」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	男性 N=648	女性 N=880
認知症予防に関する出前講座	26.2	21.9	29.4
体力や筋力強化につながる体操教室	34.1	25.9	39.9
囲碁や将棋等、共通の趣味による交流	12.7	20.1	7.6
人と気軽に話せるような交流機会	37.1	31.3	41.5
その他	3.6	4.2	3.4
参加したいと思わない	25.0	30.7	21.0
無回答	5.8	4.5	6.4

<問8Q5-3と年齢層別のクロス>

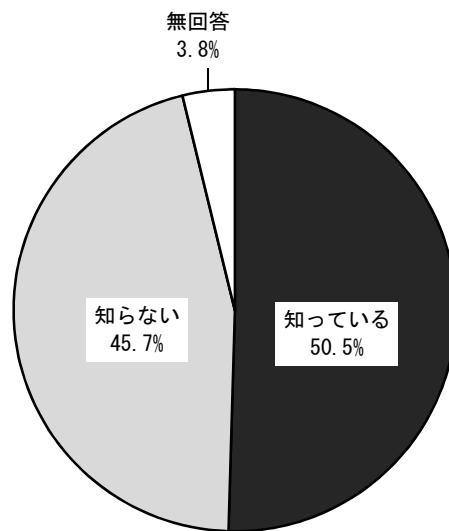
『85歳以上』では「人と気軽に話せるような交流機会」と「参加したいと思わない」の割合が高くなっています。

	全体 N=1,574	65~69歳 N=408	70~74歳 N=440	75~79歳 N=356	80~84歳 N=218	85歳以上 N=122
認知症予防に関する出前講座	26.2	23.8	28.6	27.2	28.0	19.7
体力や筋力強化につながる体操教室	34.1	38.5	36.6	33.7	31.7	15.6
囲碁や将棋等、共通の趣味による交流	12.7	13.2	13.6	15.7	8.3	6.6
人と気軽に話せるような交流機会	37.1	33.3	37.0	36.5	40.8	43.4
その他	3.6	2.9	3.9	3.1	3.7	7.4
参加したいと思わない	25.0	28.4	24.3	19.4	26.6	30.3
無回答	5.8	4.4	4.8	6.2	6.0	11.5

Q 6 あなたは、住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、介護、医療、福祉、健康など様々な支援や相談業務を行う「地域包括支援センター」を知っていますか。(SA)

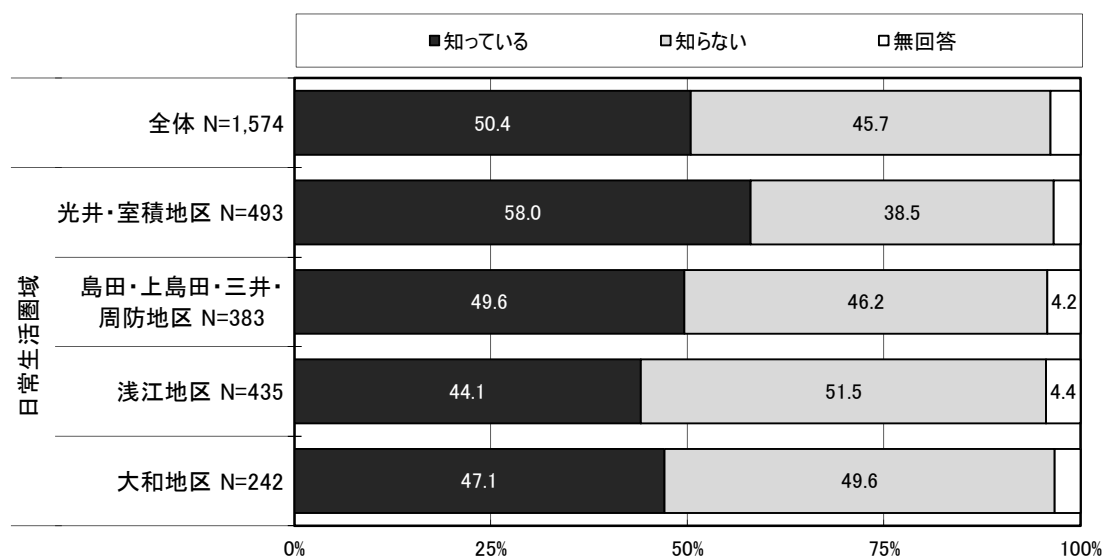
「知っている」が50.5%、「知らない」が45.7%で拮抗しています。

(SA) N=1,574



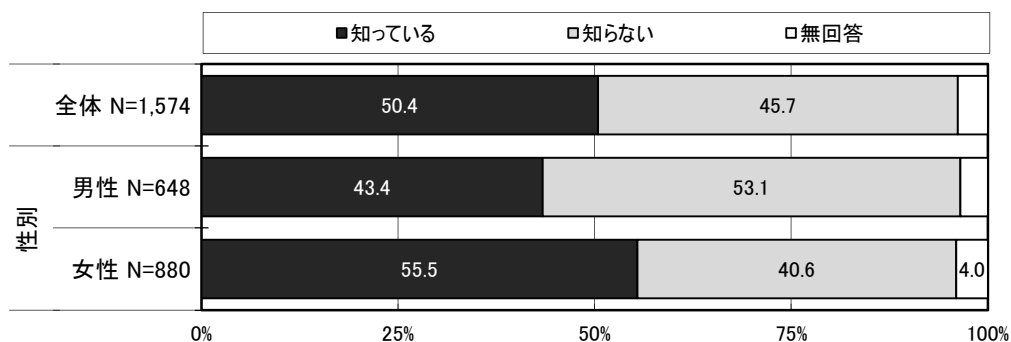
<問8 Q 6 と日常生活圏域別のクロス>

『光井・室積地区』では他の圏域と比べて「知っている」の割合が高くなっています。『浅江地区』では他の圏域と比べて「知らない」の割合が高く、半数以上となっています。また『浅江地区』と『大和地区』では「知らない」の割合が「知っている」の割合より高くなっています。



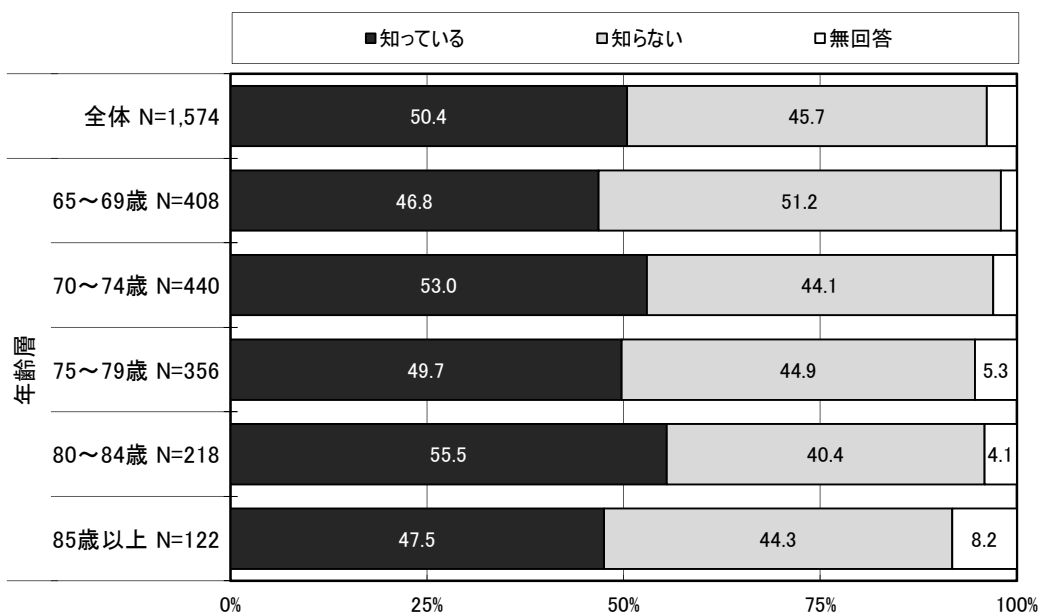
<問8 Q6 と性別のクロス>

『男性』では『女性』と比べて「知らない」の割合が高く、半数以上となっています。



<問8 Q6 と年齢層別のクロス>

『65～69 歳』では他の年齢層と比べて「知らない」の割合が高く、半数以上となっています。



3. 生活支援に関する指標評価

■運動器の機能低下

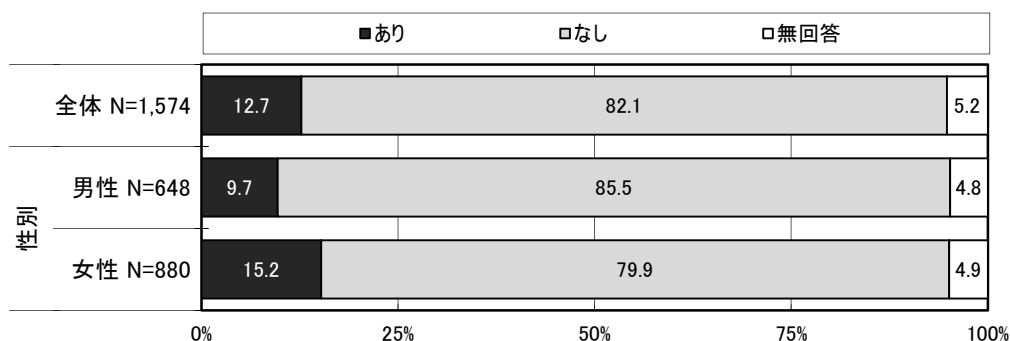
下記の設問で3問以上、該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、運動器の機能低下している高齢者になります。

該当設問 体を動かすことについて

項目	設問	選択肢
Q 1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
Q 2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
Q 3	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
Q 4	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
Q 5	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

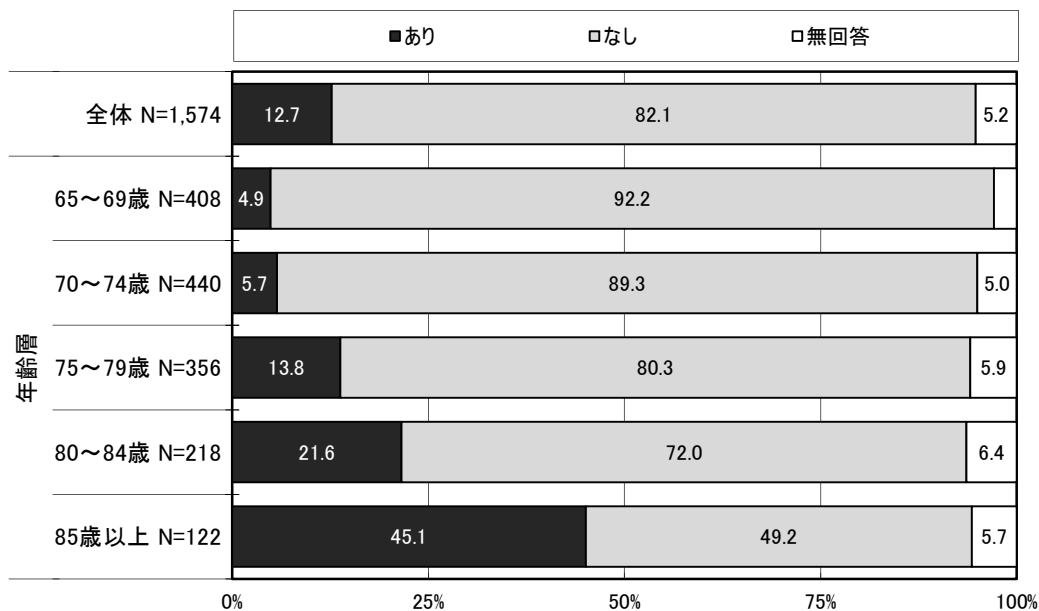
【性別のクロス】

性別で見ると、『女性』の「あり」の割合が高くなっています。



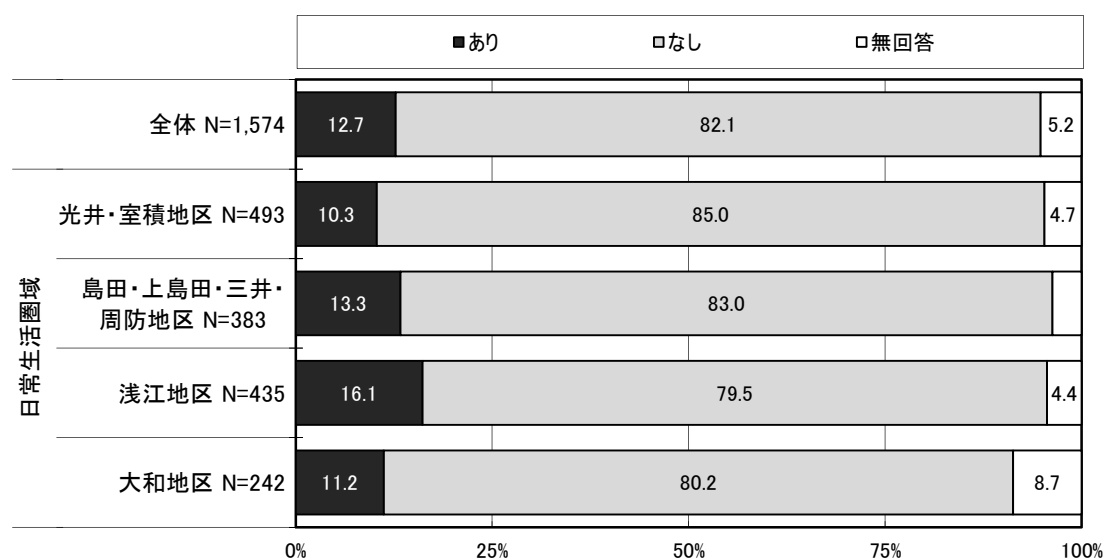
【年齢別のクロス】

年齢別でみると、年齢層が高くなるほど「あり」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別のクロス】

日常生活圏域別でみると、『浅江地区』の「あり」の割合が他圏域と比べて高くなっています。



■転倒リスク

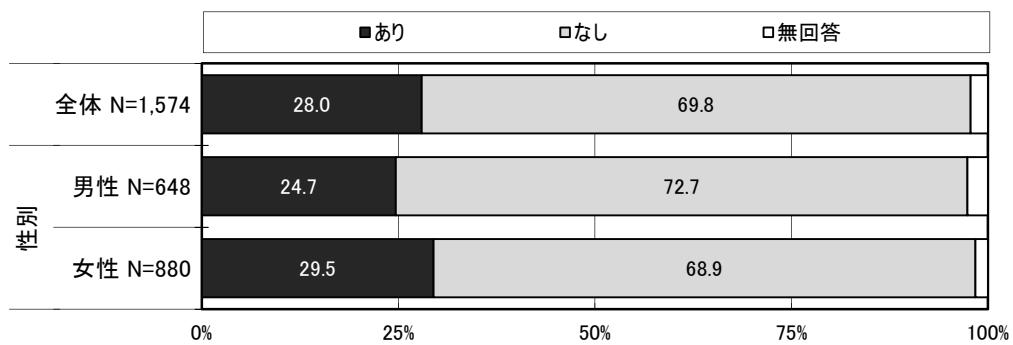
下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、転倒リスクのある高齢者になります。

該当設問 体を動かすことについて

項目	設問	選択肢
Q 5	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある 3. ない

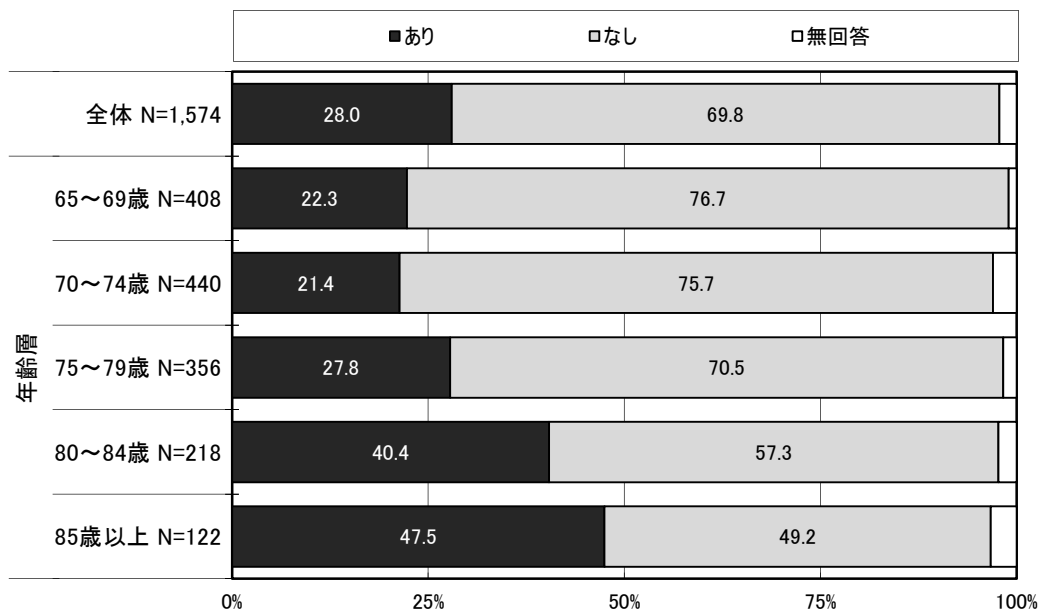
【性別のクロス】

性別で見ると、『女性』の「あり」の割合が高くなっています。



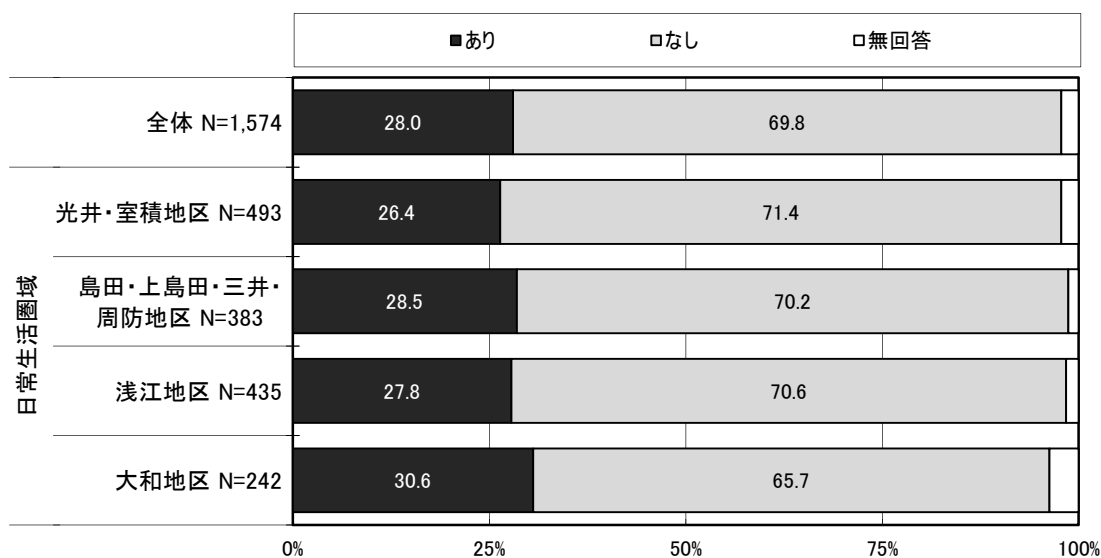
【年齢別のクロス】

年齢別でみると、年齢層が高くなるほど「あり」の割合が高くなる傾向にあります。



【日常生活圏域別のクロス】

日常生活圏域別でみると、『光井・室積地区』の「あり」の割合が他圏域と比べて若干低くなっています。



■閉じこもり傾向

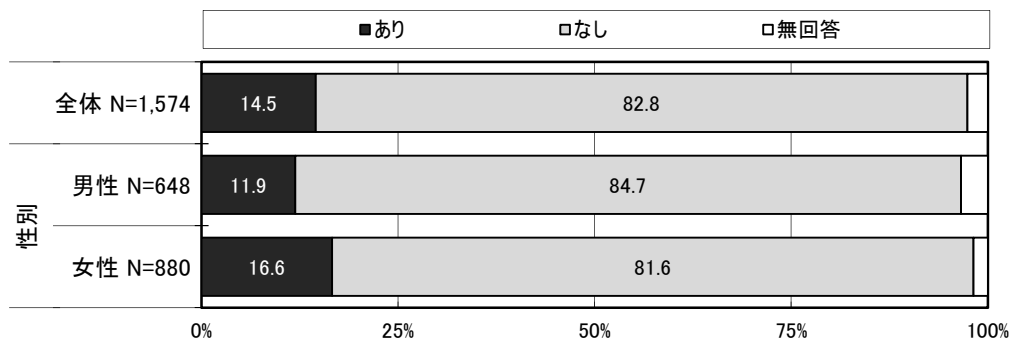
下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、閉じこもり傾向のある高齢者になります。

該当設問 体を動かすことについて

項目	設問	選択肢
Q 6	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

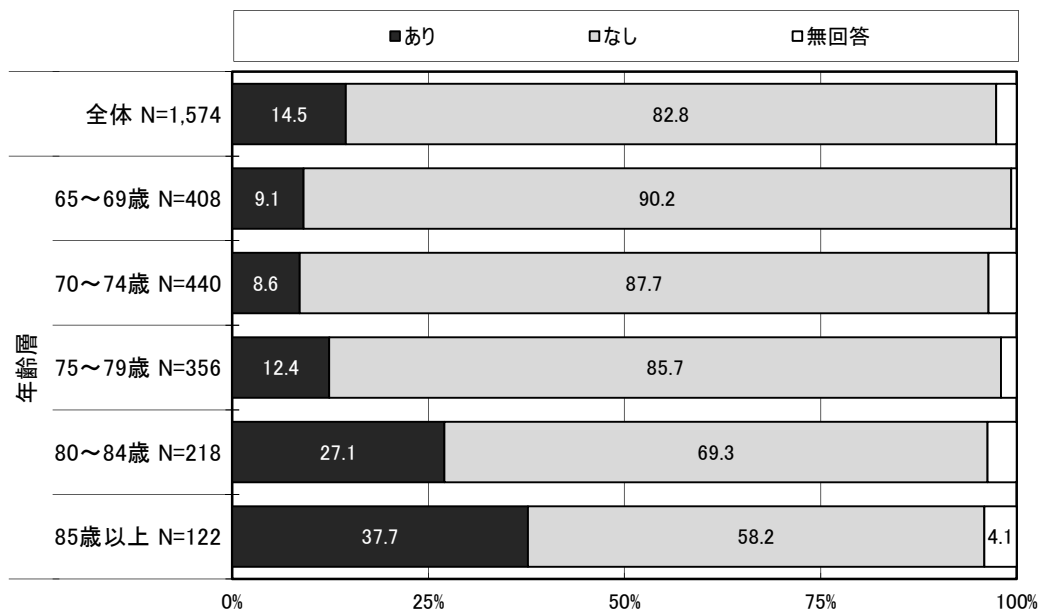
【性別のクロス】

性別で見ると、“女性”の「あり」の割合が高くなっています。



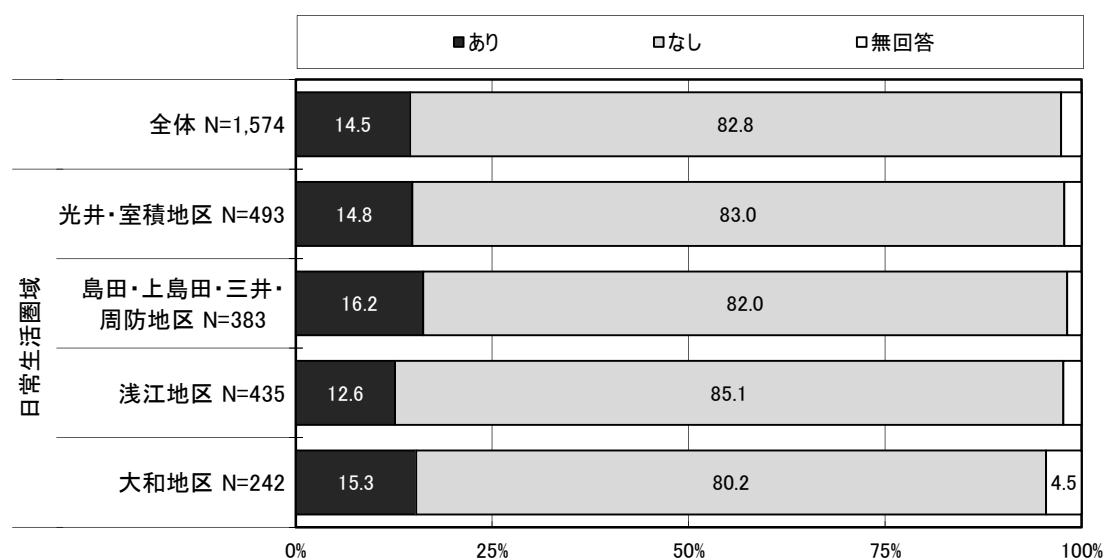
【年齢別のクロス】

年齢別でみると、年齢層が高くなるほど「あり」の割合が高くなる傾向にあります。



【日常生活圏域別のクロス】

日常生活圏域別でみると、『島田・上島田・三井・周防地区』の「あり」の割合が他圏域と比べて若干高くなっています。



■咀嚼機能の低下

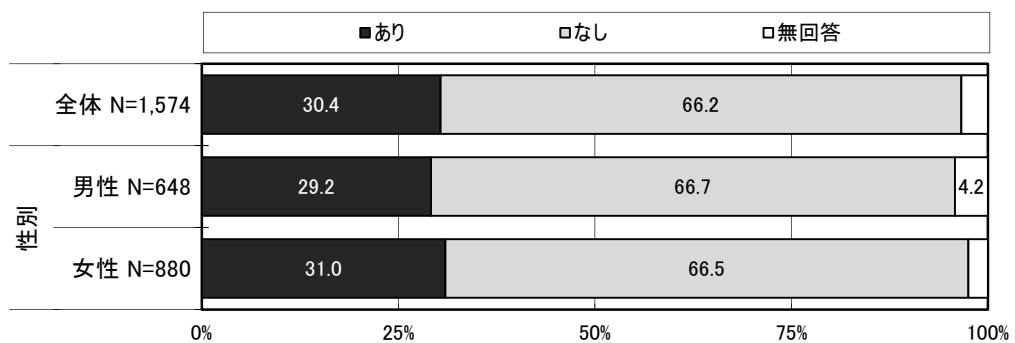
下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者になります。

該当設問 食べることについて

項目	設問	選択肢
Q 2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ

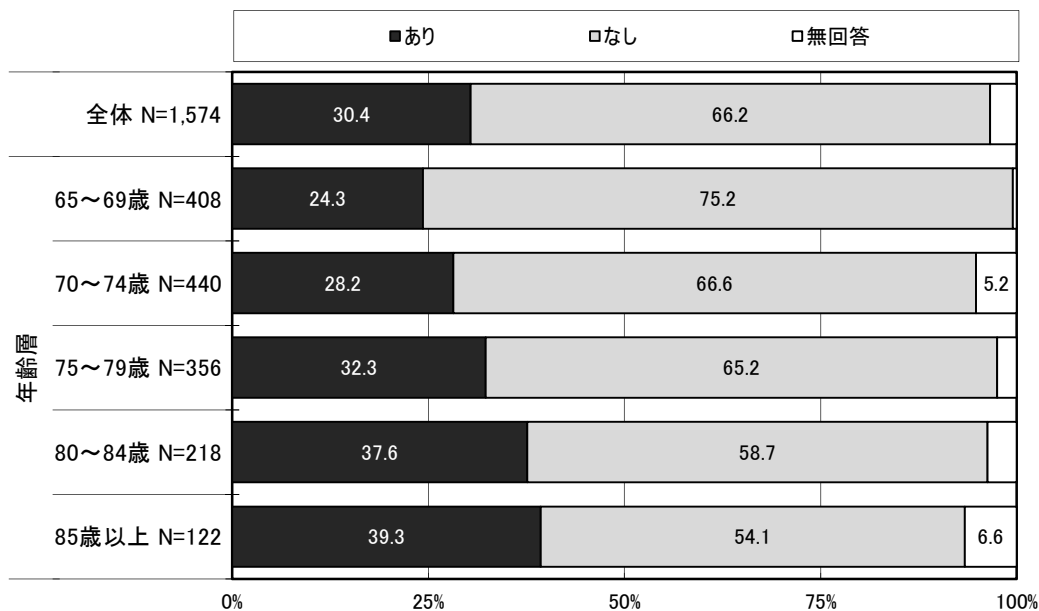
【性別のクロス】

性別で見ると、男女ともに市全体と同様の傾向となっていますが、『女性』の方が『男性』より「あり」の割合が若干高くなっています。



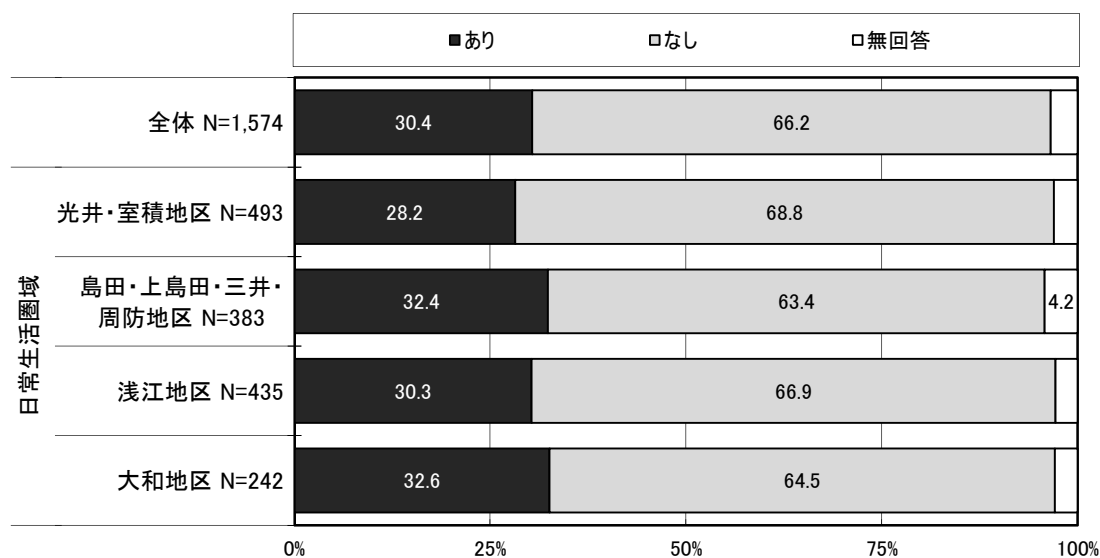
【年齢別のクロス】

年齢別でみると、年齢層が高くなるほど「あり」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別のクロス】

日常生活圏域別でみると、『島田・上島田・三井・周防地区』及び『大和地区』の「あり」の割合が他圏域と比べて若干高くなっています。



■認知機能の低下

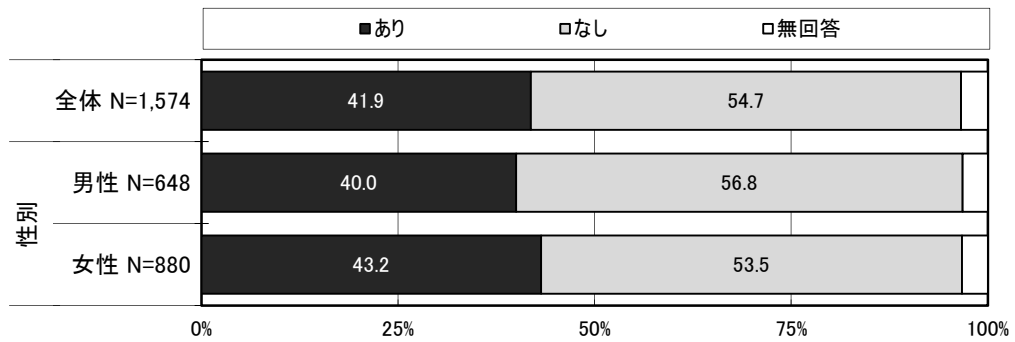
下記の設問で該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、認知機能の低下がみられる高齢者になります。

該当設問 毎日の生活について

項目	設問	選択肢
Q 1	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

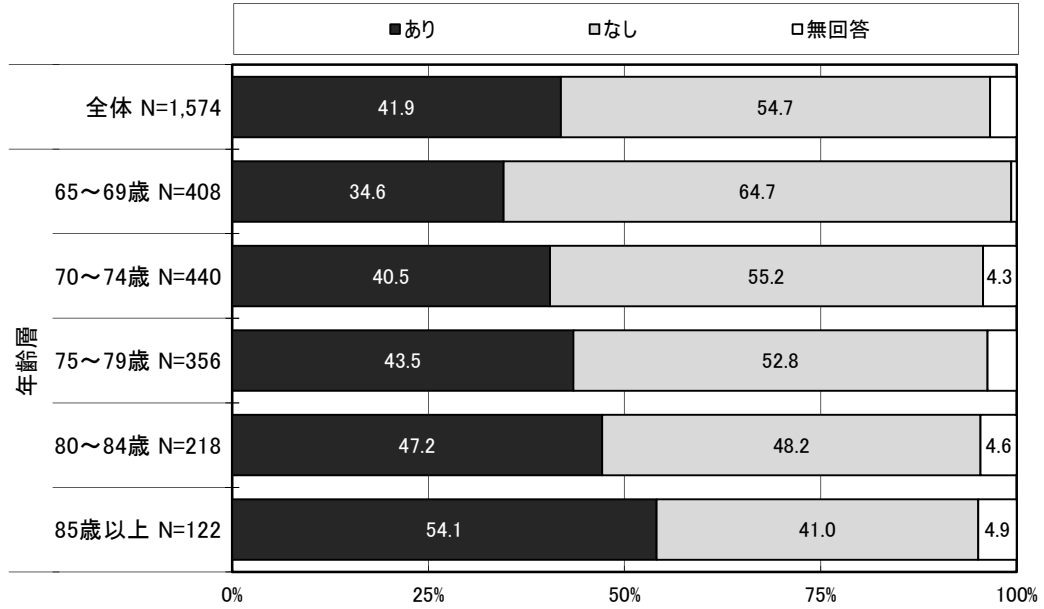
【性別のクロス】

性別でみると、“女性”の「あり」の割合が高くなっています。



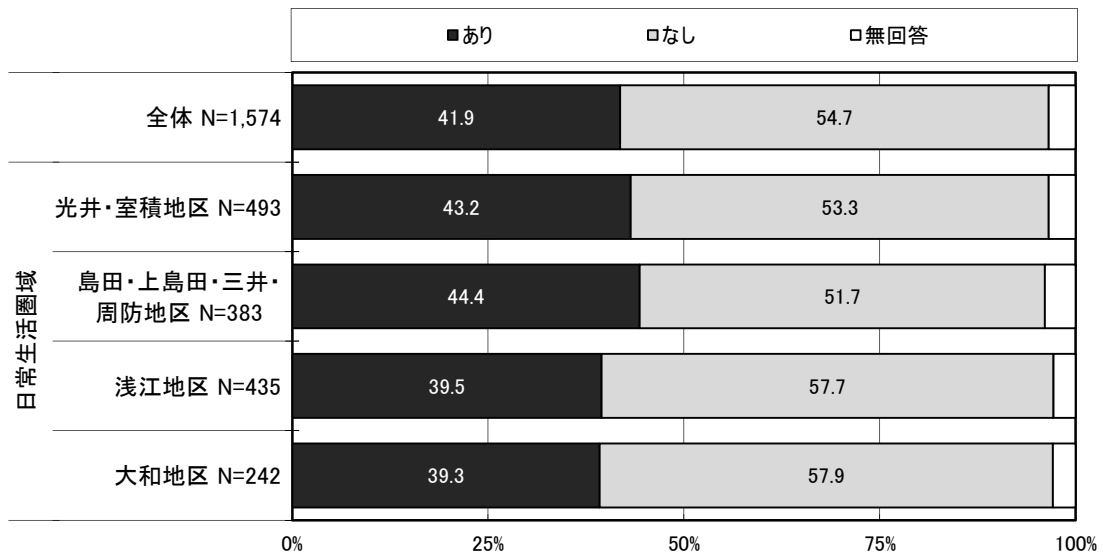
【年齢別のクロス】

年齢別でみると、年齢層が高くなるほど「あり」の割合が高くなっています。



【日常生活圏域別のクロス】

日常生活圏域別でみると、『光井・室積地区』と『島田・上島田・三井・周防地区』の「あり」の割合が高くなっています。



■うつ傾向

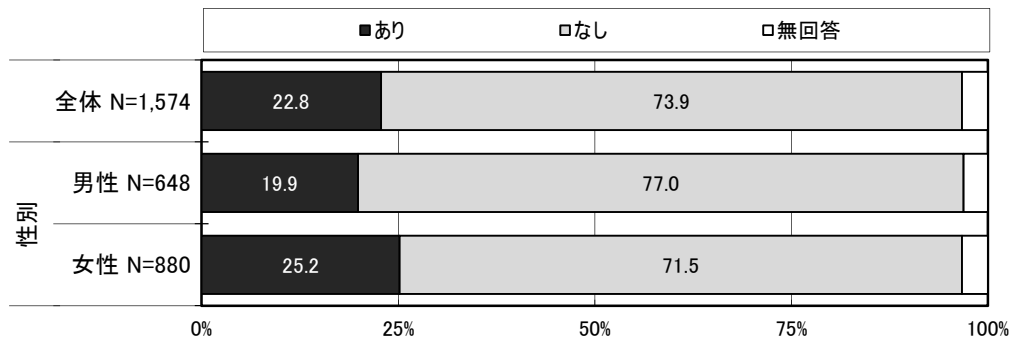
下記の設問で、いずれかひとつでも該当する選択肢（表の網掛け箇所）を回答された場合は、うつ傾向の高齢者になります。

該当設問 毎日の生活について

項目	設問	選択肢
Q 2	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
Q 3	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

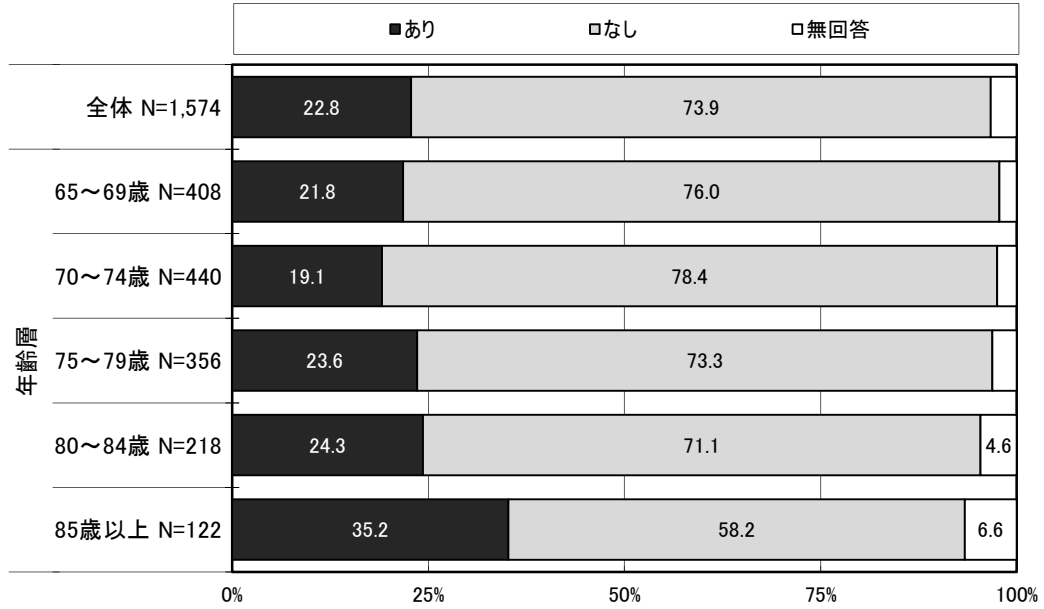
【性別のクロス】

性別でみると、『女性』の「あり」の割合が高くなっています。



【年齢別のクロス】

年齢別でみると、年齢層が高くなるほど「あり」の割合が高くなる傾向にあります。



【日常生活圏域別のクロス】

日常生活圏域別でみると、『大和地区』の「あり」の割合が他圏域と比べて若干高くなっています。

